

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人 福陽会

特別養護老人ホーム サンシャインビラ

短期入所生活介護 (ショートステイ)

目 次

1、事業報告（総括）	1
2、職員構成	3
3、主な会議・委員会等開催状況報告	4
4、職員健康管理・労働環境の整備等労働衛生管理	4
5、利用者外出・外泊・面会状況	5
6、保険者別入退所状況	6
7、看護	7
8、生活相談員	9
9、介護支援専門員	10
10、1階・2階・3階フロアー	11
11、リハビリ	15
12、栄養	16
13、職員外部研修参加状況	17
14、内部研修	17
15、苦情・事故・排泄・委員会報告	18
16、忘年会・職員旅行報告	21
17、クラブ活動	22
18、防災・使用物品等	25
19、シーツ等リネン類の発注管理・おむつ等管理	26
20、年間行事の実施状況	27
21、ボランティア・実習生・研修生受け入れ	28
22、地域交流参加等の状況	28
令和5年度短期入所生活介護事業報告	29

事業報告(総括)

理事長、統括施設長、施設顧問医師、副理事長のご指導の下、「その人らしく生活できる環境づくり」という法人理念に基づいて「笑顔の絶えない大きな家庭」の実現に向けて努力を重ねました。

特に令和5年度は「笑顔あふれる介護」という合言葉の下に職員一同それぞれの業務に取り組みました。

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の格付けが5類に移行しましたが、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ、その他の感染症は引き続き注意が必要でした。

毎月感染症対策会議と衛生委員会を開催し、施設顧問医師の指導により、職員の感染に対する意識、知識の向上を図りました。職員は年間を通して感染症の標準感染予防策を実施しました。

また、引きつづき職員は自分自身だけでなく自分の家族も含めての健康管理を行い、その上で自分や家族の体調不良時には、出勤前に施設に連絡をして相談し出勤を見合わせる等の対策を講じていました。

入所退所に関しては、年度の始めは退所者等があり不安定な状況が続きましたが、ホームページや西多摩特養ガイドをご覧になった方々からの申込みや、市や区の担当者、また病院や様々な事業所とのやり取りの中、問い合わせ・入所相談もあり、その後入所に結びつけることが多くできました。

1年間の延べ利用者数は35,629人、1日平均97.3人の利用者様にケアを提供させていただいた結果になりました。

令和6年3月31日時点での要介護度については、要介護3の方が15名、要介護者様の割合は4の方が32名、要介護5の方が53名と要介護5の利用約半数を占めており、利用者様の重度化は今年度においてもみられていました。その為、平均要介護は4.38でした。利用者様の重度化が進む中、施設顧問医師の指導を受け、多職種連携し利用者様の体調変化に早く気づき、その後の適切な対応につなげる事ができるようになったと感じています。

看取り介護(ターミナルケア)に関しては、その方の気持ちやご家族の思いに寄り添ったケアを心を込めて行いました。年間を通して19名の方を看取らせて頂きました。

ご家族様からは「サンシャインビラで良かった」等、感謝の言葉をたくさん頂く事が出来ました。

職員のやる気向上については、法人の資格取得制度を利用し職員が新たな資格取得に挑戦することが出来るようになりました。

職員それぞれの資質の向上を図るべく、内部研修を1ヶ月に2回定期的に行いました。職員一人一人がより深い知識と実践的な技術の習得に努めました。

また、感染対策を徹底した上で、今年度も様々な「季節に合わせた行事」を実施しました。5類以降コロナ感染対策の緩和に伴い、感染対策を行いながら、年末には行事の一環で外部の方々に参加して頂きました。利用者様の笑顔が多く見られ、利用者様も職員も共に楽しい時間を持つことができました。

引きつづき感染症に気を付けながら、利用者様の笑顔があふれる季節感のある行事を行ってまいります。

地域との交流については、中学生の職場体験や介護福祉士養成校の実習を感染予防策の徹底を図りながら受けることができました。

また、副理事長には人員の補充にご尽力を頂いておりますが、職員の退職等により人員不足が生じた時期がありました。

職員の定着が重要と考え、働きやすい環境づくりに向けて今後も努力致します。次年度もより良い施設づくりを、職員一丸となって取り組んで参ります。

・各月の利用者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2815	2843	2793	2945	3025	2982	3096	2964	3091	3103	2881	3091	35629

職 員 構 成

令和5年3月31日現在

担 当 職	職 名	職 員	非 常 勤	
運 営 管 理	設 顧 問 医	—	1	
	産 業 医	—	1 (外部委託)	
	施 設 長	1	—	
	相 談 役	1	—	
経 理	事 務 主 任	1	—	
	事 務 員	1	1	
保 守 管 理	介 助 員	—	2	
介 護	生 活 相 談 員	1 1 (兼務)	1	
	ケアマネージャー	2 (兼務)	1 (兼務)	
	1 F	リーダー	1	7
		サブリーダー	1	
		担 当 者	4	
	2 F	リーダー	1	5
		サブリーダー	1	
		担 当 者	5	
	3 F	リーダー	1	7
		サブリーダー	1	
担 当 者		6		
医 務	医 師	—	1 (施設顧問医師) 2 (外部委託医師)	
	看 護 リーダー	1	—	
	看 護 師	4	—	
	准 看 護 師	—	1	
調 理	管 理 栄 養 士	1	—	
	栄 養 士	1	—	
	調 理 リーダー	1	2	
	調 理 員	4		
機 能 訓 練	柔 道 整 復 師	1	—	
	理 学 療 法 士	—	1	

主な会議・委員会等開催状況報告

・運営会議	12回	・衛生委員会	12回
・行事計画会議	12回	・褥そう防止委員会	12回
・感染症対策会議	21回	・厨房委員会	12回
・ケアプラン会議	98回	・排泄委員会	4回
・全体会議	12回	・利用者懇談会	6回
・入所判定会議	29回	・事故防止委員会	12回
・事故防止会議	43回	・看護と介護の連携委員会	12回
・看取り介護会議	63回	・業務継続委員会	12回
・虐待防止会議	12回	・科学的介護推進委員会	12回
・苦情対策会議	12回	・拘束廃止委員会	12回
・栄養会議	43回	・エコ委員会	12回
・防災会議	12回		

職員の健康管理・労働環境の整備等労働衛生管理

(1) 定期健康診断の実施

従前より、対象となる全職員に対し、労働安全衛生法上の定期健康診断を行っています。令和5年度は5月に65名、11月に3名、令和5年5月に夜勤業務を行う職員等24名でした。

(2) 定期健康診断後の面接と結果に基づく保健指導等

定期健康診断の結果が明らかになる時期に、日本医師会認定産業医 高妻雅和医師により 有所見者を対象に面接を行い、個別に健康教育・保健指導等が実施されました。

(3) 衛生会議の実施

月に一度、施設顧問医師の指導・助言により、衛生管理者が有所見の改善に向けた食生活等に関するものや感染症の防止に関する情報・食中毒やストレスに関する情報等のプリントを配布し、健康管理に関する情報の提供を継続的に実施していただいています。

(4) 館内の労働環境整備

① 年間を通じて空調整備を行い、コロナ感染症等の感染症対策・利用者及び職員の体調管理の為に、温湿度管理やカビ対策を行っています。感染症が発生した場合は、蔓延防止の為に指針やマニュアルを踏まえ各職員が「即」行動できるように取り組みました。

インフルエンザ予防接種はアレルギーで接種の出来ない職員以外の54名名行いました。65歳以上の職員は12名行いました。

② 労働災害について対策を立て、職員全員で努力を継続し、職員に危険が及ぶ状態にあると思われる備品・設備は、早めの報告により事故発生の防止に努めています。職員の事故防止の為に設備備品の点検を行い不備や不具合の改善にできる限り迅速に対応しました。

また、施設内の巡視を定期的に行いました。

(5) メンタルヘルスについて

外部委託により、対象となる職員令和5年5月に65名全員にストレスチェックを実施し、結果を集計しました。今後も産業医からの指導を全職員に周知する為の努力をはじめとし、職員一人一人が施設内の変化を拾い上げる視野で状態を把握し、先見性を持った対応による労働環境改善ができるよう、実践的な労働衛生管理計画の作成をしていきます。

利用者外出・外泊・面会状況

	外 出		外 泊		面 会		
	人 数	延回数	人 数	延日数	対利用者	延人数	1日平均
4	7	2	0	0	24	48	1.6
5	19	3	0	0	30	61	2.0
6	11	1	0	0	26	56	1.9
7	0	0	0	0	21	55	1.8
8	6	1	0	0	17	40	1.3
9	2	1	0	0	17	40	1.7
10	9	2	0	0	27	63	2.0
11	28	6	0	0	33	75	2.5
12	9	2	0	0	39	88	2.8
1	7	1	0	0	37	103	3.3
2	0	0	0	0	22	39	1.4
3	0	0	0	0	22	39	1.3
合 計	98	19	0	0	322	717	

コロナ感染症の感染防止の観点から面会方法を工夫したりとしながらの面会でした。
 面会時に施設の状況を理解していただき面会方法に協力していただいたことに感謝
 いたします。

保険者別入退所状況

市区町村	入 所		退 所 (含死亡)		合 計	
	男	女	男	女	入 所	退 所
昭島市	1		2		1	2
あきる野市		1			1	0
府中市		1			1	0
国立市	1		1		1	1
日野市		1			1	0
台東区	1		1		1	1
調布市	1				1	0
瑞穂町	1		1		1	1
町田市				1	0	1
立川市		1		2	1	2
品川区		2			2	0
福生市	2	10	3	5	12	8
志木市		1			1	0
目黒区				1	0	1
中野区	1				1	0
練馬区				1	0	1
八王子市				1	0	1
東村山市		1		1	1	1
西東京市				1	0	1
合計	8	18	8	13	26	11

看 護

1、 医務診察 定期的な医務診察時、医師の診療を補助し健康管理・内服管理・処置等を迅速かつ適正に処理の実施。

- ① 内科 金曜日 青山美穂医師 内科（施設顧問医師） 木曜日 若杉 優子医師 内科
- ② 精神科 月曜日 高妻雅和医師 精神科
- ③ 歯科 火・金曜日 若林偵子歯科医師 歯科
- ④ 週末や病院の休みの時は病棟に繋げていただき当直医に指示をいただく。

2、 利用者の健康管理

- ① 月 1 回は医師の診察を受け、バイタルサインを測定し、経過報告実施。
- ② 年一回の利用者健康診断を 92 名の利用者様が受けました。
- ③ 新入所の利用者様には入所時健診を、ご家族様等に説明し同意のもとで受けていただきました。健康診断の結果は施設顧問医師がご家族等へ説明していただきました。
また、入所時にご家族様等は「緊急時・看取り介護時の医療行為等に関する意思確認書」「看取り介護についての同意書」の説明を施設顧問医師から受け、同意の書類を作成しました。
- ④ 外部の医療機関受診や入院等は、ご家族様等の意向を尊重し相談しながら進めました。
- ⑤ 利用者様・ご家族等の希望を確認し、インフルエンザ予防接種を実施しました。(96 名)
- ⑥ 利用者様・ご家族様の希望を確認し、新型コロナウイルス予防接種 を実施しました。
(7 回目 2023 年 10 月 19 日 94 名実施。 未接種 6 名)
- ⑦ 利用者様の薬の管理と内服薬の服薬介助を行い、ナース不在時の朝薬等の服薬介助は介護職に指導し依頼しています。

3、 口腔ケアの実施 利用者様の健康を保持増進するため、歯科医師・歯科衛生士と連携を図りました。歯科医師・歯科衛生士・看護師・看護職員・管理栄養士・ケアマネ・生活相談員・介護職員等多職種協働での実施により誤嚥の 防止に役立ちました。
新型コロナウイルスの防止対策の実施によりアイデンタルでの口腔ケアについては その時々で見ながら相談しながら進めました。

4、 職員定期健康診断

- ① 職員は健康診断を受けました。健診結果は安全衛生会議で施設顧問医師の青山美穂医師より全体指導があるとともに、異常所見に対しては、あきる台病院に委託している産業医の高妻雅和医師から個人面談指導がありました。
- ② 職員のインフルエンザ予防接種は体質的に接種が出来ない者以外は接種しました。

5、 感染症対策

- ① 施設顧問医師の指導助言のもと、感染症に対する内部研修の実施とマニュアルの厳守により全職員の意識を高め確実な対応実施と自己管理の強化に努めました。
- ② 感染症を持ち込まない、運ばないという意識をもち、全職員が感染対策の基本をしっかりと行っていました。
今後においても標準感染予防策の徹底と意識の向上に努めていきます。

6、 看取り介護の充実

- ① 手厚い看取り介護の実施が出来ました。
- ② 医師の診断のもと宣言にて利用者様・ご家族様等の希望により看取り介護を行いました。
令和 5 年度は 19 名の方を施設で看取らせていただきました。

利用者様及びご家族等の意向を尊重し多職種で連携して日々変化する様子をご家族様等へ密に連絡し、記録しました。

7、褥瘡予防

- ① 施設での褥瘡発生がありました（1名対象利用者様は継続処置しています）
- ② DESIGN-Rによりアセスメントし、計画的に対策を実施しました。
- ③ 急な状態の変化と繰り返しの方があり、来年度の課題として状態を予測して早期に対策を立て予防するようにします。
- ④ 処置内容の確認は随時主治医に確認して正しい治療を利用者様が受けられるようにしています。
- ⑤ 予防と知識の共有は勉強会を活用し知識の共有をしています。

8、その他

- ①利用者様の心変化時等にご家族等に連絡しその内容等は生活相談員が同席し記録に残しました。
- ② 長谷川式簡易スケールを用いて認知症を確認し、医師に報告し概ね3ヶ月毎に確認しました。
- ③ 医療ニーズの高い利用者様も施設顧問医師を中心とする連携により生活していただくことが出来ました。
- ④ バイタルサインや日々の状態変化は個人記録に入力して各部署との連携を強化しました。

生活相談員

令和5年度は施設全体で掲げた目標「笑顔あふれる介護」の実現を目指して、生活相談員の業務に取り組みました。

令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の格付けが5類に移行しましたが、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ、その他の感染症は引き続き注意が必要でした。

それでも、徐々にではありますが、感染症対策のために課されていた制限を緩めていくことができました。

- ・入所・退所に関しては、年度の始め退所者が相次ぎましたが、ホームページや西多摩特養ガイドをご覧になった方々からの申込みや、市や区の担当者、また病院や様々な事業所からの問い合わせ・入所相談が続き、入所に結びつけることができました。施設見学も再開し、施設の中に入っただき建物の内部や利用者様の様子を見ていただきながら、説明ができるようになりました。

令和5年度、入所された方は26名で、内訳は居宅から12名、医療機関から10名、介護老人保健施設から3名、サービス付き高齢者住宅から1名でした。

退所者は21名でした。2名の方は入院された後に退所され、19名の方は施設で看取らせていただきました。年度の初めは稼働率の低下が見られましたが、年間を通して例年に近い稼働率を維持することができました。

- ・利用者様に対する相談援助、代理人・ご家族への連絡や相談には真摯に取り組みました。新型コロナウイルス感染症の感染が下火になり、利用者様の生活も変わりつつあります。散歩やドライブの機会が増え、面会方法もラウンジでの対面式となりました。行事は昨年度までは各階で行っていましたが、5年度は大きな行事はホールを使い、2つの階の利用者様合同で集まっていただくこともありました。年末に外部のウインドオーケストラを招いて生演奏を聴いてもらうこともできました。利用者様の楽しみを作るために、各種行事やイベントを計画、準備し、実施しました。利用者様のたくさんの笑顔を写真に収め、文化祭では「笑顔あふれる」生活の様子を展示することができたのはよかったと思います。
- ・介護福祉施設としての役割を果たすため、中学生の職場体験、高校生のインターンシップ、大学生の介護等体験、介護福祉士の専門学校の留学生の実習を受け入れました。感染防止に十分な注意が必要でしたが、利用者様や職員の協力により、充実した体験・実習を経験してもらうことができました。
- ・各種の届出（加算の算定と国保連への請求業務、入退所状況に関する福祉保険局への報告、LIFEのデータ送信等々）を、一年を通して適切に行なうことができました。

介護支援専門員

本年度の合言葉である「笑顔あふれる介護」という事を念頭に置きをケアプランの作成に反映できるよう意識しました。

利用者様のお話を傾聴する姿勢を崩さずにそのうえ感染予防にも配慮して会話時には必ずフェイスシールドを着用しました。

- ・コロナ禍でしたが、多職種で協力しその方らしい生活を重点に考えてプランを作成しました。
- ・三ヶ月毎の見直しは漏れなく行えました。状態変化に伴う変更も随時実施しました。
- ・コロナの感染状況が落ち着き始めたころより、区分変更申請を行い調査員の方に手指の消毒と体温測定と全身の健康状態の聞き取り等を行い、認定調査をしていただきました。
- ・ターミナルケア（看取り介護）、褥瘡ケア、適宜プラン作成が行えました。ターミナルケアの振り返りは、ひとつひとつのケースにつき検討が必要であり、今後も取り組んでいきたいと思えます。
(令和6年3月31日現在ターミナルケア対象者31名、令和5年度のお看取り19名)
- ・褥瘡ケアについては、モニタリング指標を用い、生活の様子も鑑み、褥瘡を作らない事を前提に予防対策を設定し実施しました。万が一出来てしまった褥瘡については創部改善に各部署連携して取り組むというプランを作成します。
- ・ショートステイの受け入れについても、可能な限り、柔軟に対応を行えるように努めましたが感染症の収束を迎えるまでの期間はご利用していただけないという状況があり、マイナス面になり稼働率の低下につながりました。
- ・介護保険の更新申請と認定調査への立ち合いもコロナ禍での感染予防を強化して、調査に立ち合いました。近隣での感染拡大時には窓越しで利用者様に会っていただく等工夫して実施しました。
- ・ケアプラン会議へのご家族様等の参加は、感染予防のため実施せずご意見やご要望は事前に聞き取りプラン作成後には電話で説明し、書類は郵送でのやり取りになりました。

令和5年度 計画書作成件数

月	定期	見直し	看取り	入所	ショート	退院	振返り	合計
4	15	8	9	0	1	1	2	36
5	13	18	9	4	0	0	3	47
6	15	15	5	4	2	1	1	43
7	8	15	9	5	3	0	3	43
8	11	14	8	5	1	0	2	41
9	20	16	4	1	2	1	2	46
10	20	13	5	1	1	0	0	40
11	12	12	6	1	1	1	0	33
12	15	20	4	1	2	1	0	43
1	12	17	11	2	2	1	1	33
2	12	12	7	1	1	2	1	36
3	18	14	5	1	0	1	0	39
総数	171	174	86	26	16	9	15	480

1 階 フロア

利用者様の生活の中で深く関わりを持ち「安心・安全」に生活が送れるように

「笑顔あふれる介護」を合言葉にフロア職員一同協力し合い取り組みを行いました。

しかし、コロナ感染症後の生活も徐々に戻りつつある中でフロア内の課題や問題点を見直し早期に改善出来た事やフロア内での良好な人間関係の構築に力をいれた。

職員間でも出勤・退勤時にはお互いが笑顔で気持ち良く挨拶したり、フロアの雰囲気が良いことが利用者様との良い関わりや良いケアに繋がり、笑顔も多く引き出せていたのではないかと感じています。

・感染予防対策

標準感染予防策の徹底と内部研修で学んだ事の周知徹底の成果として、職員や家族に体調が悪い場合は事前に施設に電話し医療機関を受診する事により、施設内に感染を持ち込む事なく予防する事が出来ました。体調面において職員個々の自覚が高まったと感じる一年でした。

フロア内のレッドゾーン訓練も定期的にも実施しましたが、期間があいてしまうと意識も薄れてしまう様子も見られました、フロア内でも日頃から意識を高めていける取り組みを行っていきたいと思います。

利用者様の毎朝の体温測定の継続と様子観察により発熱等の体調変化が見られた際には、ナースに速やかに報告すると共に医務との連携を図りました。

コロナ感染症だけでなく他の感染予防の意識を緩めることなく職員一同更なる徹底を行いました。

・活動等の取り組み

各種行事や活動時には感染予防に努めながら参加の時間を楽しんでもらうよう工夫する事が出来た。訴えが出来る方だけでなく訴えられない方に対しての活動の重要性を職員に伝え、体調面を医務と連携しながら多くの活動に参加する事が出来ました。

天気の良い日には他職種と連携し日光浴や散歩なども多く行う事が出来た。

ご利用者様が「外の空気を吸いたい」「目を浴びたい」と言う声に対しても出来るだけあいた時間を活用しながら対応する事が出来ました。

フロアレクについてはカラオケ機器を活用したり、体操や塗り絵など種類がすくなく安定的に行う事が出来なかったが、途中から映画やドラマ・音楽をテレビで見れるようになり、楽しまれている方が増えました。

・介護力の向上・モチベーションの維持向上

エルダーメンダー制度により新人職員の育成に取り組みました。

新人の指導においてもリーダー・サブリーダーだけでなく他の職員・パート職員もみんなで協力し育成する事が出来ました、指導する側も教える準備や学びなおす事も必要であり、根拠のある指導が出来るようにする事と、指導後の確認や振り返りを行い、想定外になった時でも冷静に対処出来るように、考える力を養い自立した職員を育成していく事が課題です。

・褥瘡予防

ケアプラン会議に向けてリスクをアセスメントし発生予防に努めました。

体調不良やADLの低下時には他職種と連携し物品の見直しや使用方法の再確認等、

皮膚の発赤や変化には医務と連携し早期に対応していたがフロア内、2名褥瘡が発生しました。

日頃から褥瘡をおこさないように意識を高めていくと共に介助中や介助後の姿勢やクッションの位置など情報を共有し褥瘡を発生させないようにする。

・事故防止

比較的全介助の方が多いフロアですが、独歩や車椅子を使用し認知症の方も増え生活されている為、

転倒事故のリスクが高まっています。居室や食席等を常に見直し職員の意識も高まっています。アクシデントの対応や検証・予防策の参考等により職員間の意識統一と周知徹底により事故を防止すると共に職員個々のスキル向上に取り組みました。

食事・水分についてもフロアーナースと連携し、他職種と共にケアプランを通し、その方に適切な食事形態で誤嚥を防止し、更に食事・水分量の確保に努めました。

安全面にとらわれて利用者様の意思や思いにかけ離れないよう「その方らしさ」を大切に意思を尊重しているかという事を念頭におきながら安全な介助が出来るように業務を組み立てました。

・非常災害のための準備（火災・震災・水害・犯罪・感染症）

年2階防災グッズの見直しを行い常に使用できる状態に整備し整えました。

毎月防災訓練を行い職員の防災意識を高める事ができました。

・看取りケア

利用者様とご家族が望む形の最期であるようにという思いで、ケアさせていただきました。

ご家族様からの感謝の言葉が職員の励みになりました。看取り後の職員の精神的な配慮に努めました。

ターミナルケアへの意識が職員によっては高くはないと感じます、内部研修だけでなくフロアー内においてもターミナルケアの重要性をしっかりと伝え、意識を高めていく事を課題とします。

2 階 フ ロ ア

- ・ご利用者様には「笑顔があふれる介護」において基本的な介護を徹底し丁寧な対応が全体的に出来たと思います。コミュニケーションにおいても様々な関わり方を実施し理解を深め、思いに沿う介護が出来ました。
- ・リーダー、サブリーダーが主となり風通しの良いフロア作りを行って来たが、人員不足の中で健康管理が十分に行えず急な休みもあり、勤務変更も多かった。不安定な環境の中でやり繰りしながら業務を行っていた。そんな中でも、職員からの相談や仕事のやり易さ等、サブリーダーを中心にミーティングを行った。統一したケアを行うため報連相を意識し行ってきた。
- ・感染症の予防としてコロナ感染症が5類に変わり世の中も変わりつつ、その中でも以前から行っている感染対策は継続しながら行い、常日頃から利用者様の体調にも細かく観察を行い感染予防に努める事が出来た。
- ・レクリエーションにおいては、感染症の観点から全体では行わず、個々で出来る塗り絵や工作を、工作クラブ委員を中心に行えた。外出や散歩も時間を作り、出来る限り実施し、生活の充実が図れた。
- ・居室担当の役割と責任において、各居室担当の職員は利用者様の様々な状況の理解し、ケアプラン会議に参加し、居室担当の意識を高く持つ事、担当者としての責任を深める事が出来たと思います。
- ・人材育成において、エルダーメンダー制度を活用し、サンシャインビラでの介護を一から学んで頂き、ひとり立ち出来るまで育成を行えた。
- ・事故防止においては、フロア内での情報の周知徹底、介護技術の指導を行い、再発防止に繋がっている。又、事故防止の一環としてアクシデントの内容を理解し、対応策を徹底し行い、日々ケアの統一を図る事で、事故防止予防に繋がっていると思います。
- ・非常災害時の為の準備においてはフロア内でBCP計画についての周知を行えた。

- ・個別ケアの中で居室担当者が責任を持ちアセスメントを行い、介護課程の展開を行いサービスの提供に繋がりました。

3 階 フロア

本年度は、コロナ感染対応も五5類となる中、順次対応の変化に合わせた対応、生活様式の変更等適時話し合い少しずつ変化を持たせるよう心掛ける。

また、新規で受け入れる利用者の方の状況から、より認知症の理解を深め、見守りの対応も変化させてきた。より多くの「笑顔あふれる介護」を全員で勝ち取ってきた。

① 感染対応

- A、本年度は、オミクロン株の感染もあり新たな対応に迫られた。今までの経験を踏まえ、基本的な対応も法人として基本方針もあり、フロアで対応するマニュアルも作成し、発生状況によるレベル別の対応を行い、混乱することなく対応できた。

他認識を深めるため、厚生省、東京保険局等のコロナ感染以外のノロウイルス等関連資料もファイリングし正しい対応と感染対応の認識を深めるようにした。

- B、新人職員には新たな感染対応を実施する。いつでも見ることができるよう感染対応ガウンの着脱をPC上にショートカット作成する。導入部では実施体験しながら研修を行う。

- C、医務と連携し、排泄時のシャワーボトルの完全実施、その消毒等ワンランクアップした。

また、口腔ケア時の歯ブラシの取り扱い、管理等清潔に努めた。

感染者発生時の対応も見直し明確化を図った。

② 安全で快適な暮らし

- A、ディールームでの各食事後のテーブル拭きと床拭きを徹底して実施、出来ていない時は次のメンバーが確認し実行して習慣化することができた。

- B、一日のスタート時、各居室の施錠チェックを行い、シーツ等リネン関連のチェックを行ったりリセットするよう心掛けた。

- C、新しく大型テレビが設置され、多様な活用を実施している。懐メロ火曜、昭和映画、時代風景、BGM、幼児の唄等実施しながら、多くの笑顔を引き出すことができた。

童謡を掛けながらリハビリ体操、季節等に合わせた歌を歌ったり、映像を見ながら。

利用者と今までになかったコミュニケーションをとることもできた。

- C、廊下も椅子の設置や、取りやめ等を繰り返し安全なゾーン、安心できるゾーンを構築することができた。

- E、利用者間の相性とか、さまざまな要素を考慮し配置し、事前の対応もできるようになった。

徐々にではあるが、多様なレクリエーションを楽しんだりする場面が多く出来るようになった。

③ 居室担当者としての役割

- A、ケアプラン会議に参加促進し、居室担当として利用者の状態をしっかりと掌握し会議に臨み、会議メンバーと十分な意見交換アドバイスを受け、より良い生活にできるよう考え実行していく力を引き出すようにしている。

- B、ケアプラン会議を契機にあらゆる角度から、チェックすることで、今まで足りなかったものを発見し、意識付けにもなった。

- C、利用者が普段使用している衣類・靴・タオルが常に清潔であるように心がけるようになった。
- D、居室が利用者にとって落ち着ける場所となるよう、家族との接点を演出できるよう努めた。

④ 口腔ケア

- A、歯ブラシの洗浄、その後の管理清潔に管理できるように実施する。
- B、義歯管理・洗浄・口腔ケア関連の備品完備・舌専用ブラシ活用等実施。
- C 歯科よりアドバイスを実行

⑤ 認知症支援者としての理解と実践

- A、初級テキストの準備は出来たがファイリングまでは出来た。
- B、テキストをもとにした現場での研修はまだ実践できていない。
十分な展開が出来るよう考慮実施できるよう準備段階、次期に繋げる。
継続記録し、内部研修に活用できるようにする。

⑥ 事故防止、リスクマネジメント

- A、歩く認知症の方が多くを構成するようになり、大幅な業務の見直しを図った。
連続する多くの転倒アクシデント、圧倒される日々を送り何度も検証しながら新しいシステムを構築した。多くの職員と共に考え苦しみ、絶えることのない事例に職員の疲弊する期間が長く続いてしまったが、かなり改善できたことはフロア職員の自信にもなった。
- B、新入職職員には3Fフロアの特性を理解してもらい、一人一人の利用者の生活の中で、常に声掛け寄り添う姿勢を、行動の中で見て貰い理解できるよう心掛けた。

⑦ 身体拘束・褥瘡

- A、身体拘束に抵触することとしてスピーチロックが3Fフロアとしての課題である。
1年間NGワード→言い換え言葉を月毎に提示習慣化して実践してきた。また、必要な方には小さいホワイトボードを使いコミュニケーションを図った。
フロアの利用者構成の歩く認知症の方の割合が急激に増えたことから、常に厳しい局面が多くあった。また職員の不足もあり十分な対応ができなかった期間もあった。
褥瘡については体調不良からベットでの生活が長く続く利用者がいた為、外果に出現してしまった。体交、ベッド変更と、医務による処置で短期間で終了することができた。

⑧ 非常災害時の為の準備と体勢

- A、身近な所である、寮母室内での配線状態の確認し、整理・清掃を実施する。
- B、防災用グッズの保管場所の整理、数量確認、確保する。
- C、職員の緊急連絡網を使い実施訓練行う。
- D、定期の防災訓練を実施する。
- E、自然災害・火災・感染対応訓練を実施。都度職員の意見を拾い次の準備に備える。

リハビリ

和5年度のスローガン「笑顔のあふれる介護」の実現に向けて1年間取り組んだ。

- ・利用者様と関わる時はもちろん、廊下ですれ違う、目が合ったら挨拶、声掛けするように心がけた。
- ・理学療法では、開始前の検温、手指消毒実施。使用後の用具の消毒、基本的にAM、PMで理学療法に入るフロアを分ける事で感染予防を行った。
- ・利用者状態、様子の変化、福祉用具の変更時、記録入力するよう心掛けたがところどころ記録漏れがあり多職種間の共有が出来ない時があった。
- ・生活リハビリの変更、実施状況の記入漏れの確認、訂正依頼を実施した。
- ・ケアプラン会議に参加し、個別機能訓練計画の策定を行った。
また、急激な変化がある利用者様には時期を待たずに状態にあった計画に変更、共有を行った。
- ・状態の変化が見られた利用者様への福祉用具の変更、除圧、体位交換方法の徹底、周知に努めたが5名褥瘡発生。「0」とはならなかった。
- ・施設行事の企画考案、実施に取り組み、感染対応の緩和から、外部ゲストをお招きし2階ホールが開催することが出来た。その際の外部ゲスト対応、音響等担当。
- ・感染症、事故防止、虐待防止、身体拘束等の内部研修に参加し知識を深めていった。
- ・理学療法、花見、気分転換として前年度と比べて多く外出の機会を作ることが出来た。
- ・車椅子、ベッドの故障等ある時は修理を行った。施設で修理できない場合は外部に依頼し、修理を行った。
- ・理学療法では多くの利用者様に関わり訓練を行っていった。

大きな変化が見られた方は以下の通りです。

- (機能向上が見られた方) 7名
- (機能維持が見られた方) 76名
- (機能の低下が見られた方) 18名

(福祉用具一覧表)

車椅子	109 台	
歩行器 (シルバーカー含む)	16 台	
杖 (T字杖、多点杖)	13 本	
ポータブルトイレ	6 台	
体圧分散マット (ジェルマット含む)	11	
エアマット	4	
センサー付きエアマット	16	
施設内のベッド数		
電動ベッド	95 台	
センサーベッド	10 台	総数 105 台

栄 養

・今年度の全体目標である「笑顔あふれる介護」を実現できるよう厨房職員は利用者様を思い旬の食材を取り入れた季節感のあるメニューや家庭的で温かみのある食事内容・環境作り衛生面等に配慮し安心安全な食事を提供することを目標に令和5年度は業務に臨んできました。

次年度も引き続き季節の食材を使用した献立、利用者様からの聞き取りで得られたご意見や要望に沿える献立の作成を行っていきます。調理方法や食材の硬さ、食べやすい大きさ等の情報を職員間でしっかりと共有し、器や盛り付け等、見た目からも「おいしそう」「食べたい」と思ってもらえるような食事提供を目標に業務に取り組んでいきます。また、調理の際は必ず2人以上で味見を行い、味付けや硬さ等の確認を行っています。

- ・食事を楽しんで召し上がって頂く為に、選択食や誕生日食・ラーメン(中華丼)の日の実施。
- ・季節に応じたおやつ提供、極細・ペースト食を召し上がる利用者様へ飲みがしやすく見目が良いソフト食の提供も継続していきます。

■選択食等通常メニューと異なる食事提供の実施結果

選択食（ラーメン中華丼の選択も含む）	: 月2回以上
誕生日食	: 月1回
変わりご飯（丼・混ぜご飯）	: 月2回以上
パン・麺の日	: 月2回以上

■予算管理

- ・給食食材費の予算内運営を目標に、在庫管理の徹底や使用食材の見直しを行いました。
- ・次年度も食材ロスや使用頻度が多い食材の価格変動等に注意し予算内運営を目指します。

■利用者様の健康管理

- ・月に1度の体重測定結果や年に1度の健康診断時アルブミン値・血液データの管理、食事摂取量の把握で利用者様の栄養状態を確認しました。栄養状態に問題がある場合は、ケア会議や医務診察の際に提起し医師や多職種で話し合いを行い状態改善や維持・向上に努めました。

■感染症の予防

- ・手洗い・うがいの徹底、次亜塩素酸によるトイレの消毒、厨房内の衛生管理、厨房器具の消毒、体調チェックを行い、感染症予防に努め、厨房からの感染拡大に注意し取り組みました。また厨房内に感染症を持ち込ませないためにも、調理員は基本的に厨房から出ず、感染症予防に努めました。
 - ・利用者様の感染症が疑われる発熱の際には、使い捨ての弁当箱を使用し、厨房内に感染症を持ち込ませないよう努めました。また、フロア内のレッドゾーン対応の際には、利用者様のお食事を使い捨てのお弁当箱で提供し、感染症を厨房内に持ち込ませないよう努めました。
- その結果、ノロウイルス等の感染症・食中毒の発症はありませんでした。

■ヒヤリハット件数

- ・前年度のヒヤリハット件数は合計で10件でした。内容は、配膳ミス:3件、調理ミス:3件、配膳時のミス1件、異物混入1件、その他2件(事故につながるもの)、今年のヒヤリハット件数は配膳ミス2件異物混入1件の合計3件となりました。
- ・次年度も配膳ミスや怪我のないよう、お互いに声かけを行いながら、引き続き利用者様に安心安全な食事の提供ができるよう努力していきます。

職員外部研修参加状況

○外部研修への参加は、向上に役立ちますが、コロナ感染症の対応方法に変更があったとはいえ外部への参加が少なかったです。その中でも ZOOM での研修参加もありました。

4月12日	機能訓練指導員研修委員会	1名参加
4月24日	適切なケアマネジメント手法	1名参加
5月29日	福生市介護保険事業者連絡協議会	2名参加
6月10日	実務者研修教員講習会	2名参加
6月11日	実務者研修教員講習会	2名参加
6月22日	医療的ケア教員研修会	1名参加
6月30日	医療的ケア教育講演会	1名参加
7月21日	あきる野ブロック会	1名参加
8月15日	法人内リーダー研修	2名参加
8月16日	法人内リーダー研修	2名参加
9月7日	東京都介護支援専門員専門研修過程Ⅱ	2名参加
9月12日	特定給食研究会第22回定期総会	1名参加
9月14日	東京都介護支援専門員専門研修過程Ⅱ	2名参加
10月9日	東京都介護支援専門員専門研修過程Ⅱ	2名参加
10月16日	東京都介護支援専門員専門研修過程Ⅱ	2名参加
10月19日	機能訓練指導員研修委員会	1名参加
10月20日	福生高等学校連絡運営協議会	1名参加
10月23日	安全運転管理者講習	1名参加
1月8日	機能訓練指導員研修委員会	1名参加
2月2日	福生高校学校連絡運営協議会	1名参加

職員内部研修

職員としての心構え・基本理念・基本方針を正しく理解し、全職員の資質の向上に取り組みました。

・内部研修の開催実績

- 4月①「法人理念・ハラスメント対策」②「感染症」
- 5月①「事業継続 BCP 計画について」②「身体拘束の基礎知識」
- 6月①「看取り介護」②「褥瘡」
- 7月①「感染症及び食中毒及びまん延の防止の指針」②「虐待防止」③「褥瘡」
④「事故発生及び発生時対応の指針」⑤「個人情報保護の基礎知識」
⑥「認知症の基礎知識」
- 8月①「事故防止・2階事例検討」②「紙おむつの選び方使い方勉強会」
- 9月①「事故防止・1階事例検討」②「虐待防止の基礎知識」
- 10月①「事故防止・3階事例検討」②「感染症及び食中毒及びまん延の防止の指針」

③「排泄事例検討」

1 1月①「虐待・拘束」②「法人理念・職業倫理」

1 2月①「認知症事例検討」②「看取り介護」

1 1月①「褥瘡・廃用症候群」②「守秘義務・個人情報」

2 2月①「虐待防止」②「身体的拘束」③「褥瘡防止」④「事故防止事例検討」

⑤「介護課程」

3 3月①「サービスマナー」②「レクリエーション」

令和5年度の内部研修は、正職員・非常勤職員ともに多くの内容を学び合いました。

学んだ知識と技術を仕事に活かせるように取り組み、質の高いサービス提供が出来るように取り組みました。

新入職員には入職時のオリエンテーションを行い、エルダーメンター制度により指導担当者による指導と業務内で行うOJTの強化により、介護技術の習得に努めました。

指導にあたる側の先輩も指導を受ける側の後輩も、共に学び合うことで職員間の良好な人間関係が構築されました。

・新入職時のオリエンテーション内容

「統括施設長のお言葉」「新入職員オリエンテーション」

「BCP計画」「介護職員の人材育成・人材育成新入職員」

「福祉の仕事と職業倫理」「看取り介護に関する指針・看取りのマニュアル

「事故発生の防止及び発生時対応の指針」「身体的拘束適正化のための指針」

「褥瘡対策の指針」「感染症及び食中毒の予防及びまん延防止の指針」

「高齢者虐待防止に関する指針」「サービスマナーの指針」

「職場内の携帯電話の使用について」

苦情報告

令和5年度も、利用者様や代理人様から様々なご意見をいただきました。苦情や不満、要望をしっかりと受け止め、速やかに対応しました。令和5年5月に、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に変更になりましたが、様々な感染症の流行は続いており、感染症対策を急速に緩めることはできませんでした。それでも、外出後の対応や面会方法の変更により、利用者様の生活も以前の形に戻りつつあります。

利用者様や代理人様、職員からの苦情・意見は月ごとの苦情対策会議で取り上げ、苦情の内容・その時行なった対応を報告し、原因や今後の対策について話し合いを持ちました。

【苦情対策会議で取り上げた主な苦情・要望・意見その他】

- (1) 利用者様より
- 職員の態度、言葉遣いに対する苦情・不満・・・・・・・・4件
 - 職員の介助、業務に対する苦情・不満・・・・・・・・3件
 - 他利用者への苦情・不満・・・・・・・・5件
 - 生活環境、食事等に関する苦情・不満・・・・・・・・5件
 - 要望・希望・・・・・・・・14件
 - 質問・・・・・・・・1件
 - 意見・・・・・・・・1件
- (2) 代理人様より
- 要望・意見・・・・・・・・1件
- (3) 職員より
- 意見・・・・・・・・1件

*職員の態度や介助に対する苦情の中には、難聴の方が希望を聞いてもらえなかった、意地悪をされたと訴えるケースがありました。特に聴力障害のある方（そうでない方も含め）に対して、親切な態度や明るい表情によってその方を尊重していることが伝わるように接するようにと話し合いました。

*会議で取り上げられた中で多かったのは「要望・希望」でした。「外に出たい」「(施設内にいる)ご家族に会いたい」「〇〇が食べたい」といった内容が多く聞かれました。可能な事柄に関しては、希望をかなえるべく対応しました。しかし「リハビリの器具を廊下に出して欲しい（自分ひとりでも使えるように）」等、不可能なものもありましたので、その言葉の奥にある気持ちに寄り添い、施設でできることを提示し、納得していただきました。

事故防止

前年度の終盤、事故防止に関する検証方法に変更が加えられました。以前は、起こった事例の内、事故以外はヒヤリハットとし、事例の全てで多職種によるカンファレンスを行なっていました。

現在は、事故・アクシデント・ヒヤリハットの3つに分類し、アクシデントと事故の場合にカンファレンスを行ないます。原因を究明して対策を立て、次のアクシデント・事故の防止に努めました。軽微に見える内出血等の怪我でも、

検証が必要なものはアクシデントと判断してカンファレンスを行ない、原因に応じた対策を立て、危険防止に取り組んでいます。

令和5年度のヒヤリハットは 20 件、アクシデントは 163 件、事故は 1 件でした。アクシデントの内訳は転倒 41 件、転落 16 件、誤食 1 件、誤薬 3 件、トラブル 1 件、徘徊 1 件、器物破損 1 件、盗難・紛失 2 件、怪我(内出血や傷等)26 件、その他 71 件でした。(その他には、しりもちや座り込み、危険行為等も含まれる) 件数は例年と比較して、大きな増減はありませんでした。

事故は転倒による骨折で、入院して手術を受けられた事例でした。保険者である市に事故報告を行ないました。ご本人は退院後、事故の前の状態にまで回復されています。

毎週開催される事故防止委員会では、施設顧問医師の指導の下アクシデント及び事故の報告と検証を行い、月1回の事故防止会議では、特に重要なアクシデント及び事故について振り返り、原因と対策の確認、その内容を会議録に残して、周知徹底に努めました。

排 泄

排泄面の向上を目指し、プライバシーへの配慮と正しい排泄介助方法を学び合い、介護者としての心構えと、技術の習得に取り組みました。

業者の講師による排泄の勉強会は、実践に役立つ内容で排泄介助方法と排せつ用品や物品の選択に役立ちました。今年度は、コロナ感染症の施設内での発生により排泄用品の使用量が増加しました。

委員会報告

「笑顔あふれる介護」という合言葉で、利用者サービスの質の向上を図り、各委員会を開催しました。

衛生委員会

施設顧問医師を中心に委員会を行い職員の健康管理、衛生会議、労働環境等の指導助言をいただきました。

事故防止委員会

ヒヤリハット事例やアクシデント事例の事例検討等を行い、事故防止に取り組みました。

褥瘡防止委員会

毎月委員会を行い、全職員に注意喚起できるように取り組みました。各部署の協力体制が出来て、皮膚の状態に心配がある利用者様に対して早期対応に努めました。

横になる時間が長い利用者様については褥瘡予防具の使用等により褥瘡予防に努めました。

身体拘束廃止委員会

拘束は長期にわたり「0」です。拘束を行なうことの弊害を職員全員が理解して介護サービスを提供しています。今後も意識を高く持ち、拘束「0」の状態を維持して行きます。

コロナ陽性になった方には居室で過ごしていただかなければならない状況があり認知症の利用者様等状況の理解ができてにくい方にとっては辛い状況になってしまったと思います。

排泄委員会

排泄の向上に取り組みました。利用者様に合わせた物品を使用するためにアセスメントするとともに、排泄用品の使用状況を確認もしてコスト意識を持ち、排泄の改善に取り組みました。

サービスマナー委員会

一人ひとりがサービスマナーの重要性を理解して施設全体のサービスマナーが向上できるように取り組み「標語」を各部署に掲示しました。

厨房委員会

利用者様の「食」に対する、希望を少しでも実現に近づけることが出来るように、各部署で協力し、検討や相談を委員会にてすすめました。利用者様の声を献立に反映できるようにしました。また、利用者様にとって食べにくさ等不都合の改善策と職員にとって介助上の不都合の改善策を委員会の中で検討と確認をして、実行に結び付けるようにしました。

看護と介護の委員会

経管栄養の利用者様はいらっしゃいません。

各部署の代表者で話し合いを行い、業務内容や利用者様情報を共有することにより連携が深まりチームケアの強化が図れました。

科学的介護推進委員会

毎月ライフについて学び、入力方法の確認や利用者様の状況確認等を行いました。

業務継続委員会

どのような場合であっても、業務が継続できるように対策等を話し合い、検討し、BCP 計画の策定と計画の見直し等を行いました。

レクリエーション委員会

活動がありませんでした。

エコ委員会

毎月の会議とデマンドにより全職員の意識が高まりました。

無駄な電気は使わないという一人ひとりの努力により、令和4年度の電気料金（10,289,638円）を令和5年度の電気料金（7,862,403円）は下回りことができました。

忘年会活動報告書

コロナウイルス感染症の影響で福陽会合同忘年会は行われませんでした。全職員が感染症の予防策とまん延の防止策に一丸となり取り組みを行い、コロナ感染症の収束を迎えることが出来ました。その関係性の中でチームワークが醸成され親睦も深まりました。

職員旅行活動報告書

忘年会同様、コロナ感染症の影響で職員旅行も中止となりました。職員は私生活においても感染症の予防に努めました。

ク ラ ブ 活 動

令和 5 年度、新型コロナの感染症の位置づけが変わり、利用者様の活動の幅も徐々に広げることができました。とはいえ、まだ外部のボランティアさんに来てもらうことはできませんでした。不定期だったり、回数も多くはありませんでしたが、参加した皆さんのたくさんの笑顔を見せていただくことができました。

茶 道

活動回数	3 回	参加延人数	36 名
活動報告	茶道 3回 36名 春、秋、冬の3回開催しました。ホールにて、階ごとに少人数で集まって、季節の和菓子と抹茶を召し上がっていただきました。茶道の経験がある方がお茶を点て、他の方がお客様になって、和やかな一時を過ごされました。文化祭の時には大きな和傘を立ててお茶席を設け、職員がお茶を立て、利用者様に抹茶と生菓子を味わっていただきました。		

華 道

活動回数	1 回	参加延人数	10 名
活動報告	華道 1回 10名 感染防止のために、まだ講師の先生やボランティアさんに来ていただくことができず、あまり活動することができませんでした。文化祭前には、様々な種類の花を用意し、10名の方に参加していただきました。皆さん、自分で花と花器を選び、思い思いに活けておられました。どの方も、ご自分で活けた華やかな生花を見てとても満足され、皆さん笑顔で記念写真を撮りました。		

書 道

活動回数	8 回	参加人数	62 名
活動報告	2階はホールを使い、1階はラウンジやダイルームで、3階はダイルームで、書道の道具やお手本を広げて開催しました。ダイルームで活動を始めると、今まで参加したことのなかった方も参加され、活発なクラブ活動になりました。 「学生の時以来だわ」「書けるかしら」と言いながら、皆さん熱心に取り組みしていました。 文化祭では、例年通り作品を展示し、皆さんに見ていただきました。ご自分の作品を見つけると嬉しそうでした。		

鑑 賞 会

活動回数	一 回	参加延人数	一名
活動報告	<p>鑑賞会 利用者様にホールに集まっていただくことは難しく、鑑賞会を開催することはできませんでした。 各フロアでテレビを使い、ユーチューブの歌番組等を鑑賞していただきました。 利用者様は懐かしい歌手の歌等を鑑賞し、大変喜ばれていました。</p>		

ラジオ体操・テレビ体操

活動報告	<p>年間を通してコロナ感染症の影響が大きくあり、感染予防の観点から集団での活動は困難でした。 ラジオ体操の音楽が掛かったり、テレビ体操の番組が始まったりすると自然に体を動かして下さる利用者様がありました。</p>
------	---

手 作 り お や つ

活動回数	11 回	参加延人数	968 名
活動報告	<p>手作りおやつ 11回 968名 家庭で作るような、素朴な「おやつ」を手作りして利用者の皆さんに召し上がっていただきました。 食の細かい方でも、懐かしい味を思い出してたくさん食べて下さったこともありました。</p> <p>4月 お好み焼き・・・75名 5月 おしるこ(とうふ白玉入り)・・・79名 6月 パンナコッタ・・・85名 7月 中止 8月 フルーツパフェ・・・83名 9月 パンケーキ・・・86名 10月 フレンチトースト・・・72名 11月 あんこたっぷりどら焼き・・・92名 12月 おしるこ(とうふ白玉入り)・・・98名 1月 にゅうめんとカステラ(フルーツのせ)・・・99名 2月 サンドウィッチ・プリンアラモード・・・100名 3月 いちごパフェ・・・99名</p>		

喫 茶

活動報告	<p>2階ホールを喫茶店と見たてて開催する予定でしたが、コロナ感染症の予防策実施等により、集うことが難しく活動を行うことができませんでした。</p>
------	--

音

音 楽 療 法 ♪

活動報告	<p>感染防止対策の継続により、講師の先生に来ていただくことができなかつたため、音楽療法を開催することはできませんでした。利用者様のレクリエーションの一つとして、歌を聴いたり、歌う機会を設けました。移動式のカラオケ機器を曜日ごとに階を決めて各階に運び、なつかしい楽曲を流して、皆さんに歌っていただくことができました。</p>
------	--

外 出 の 日

活動報告	<p>外出の日 散歩 19回 106名 ドライブ 8回 50名</p> <p>年間を通して、近くにある多摩川中央公園や周辺へ散歩に出かけました。春は桜やチューリップ、新緑の景色を眺め、「大凧あげ大会」も見に行きました。秋にはコスモスやススキを見つけ、冬も暖かな日には散歩に出かけ、遠くの山や空、広々した景色を楽しんでいただきました。ドライブは近隣の自然の多い場所に出かけました。</p> <p>車中では、歌を歌ったり、普段あまり聞けない話を聞かせてくださったり、皆さんおしゃべりを楽しまれていました。</p>
------	--

園 芸

活動回数	4回	参加延人数	18名
活動報告	<p>春には、花の植え付けに参加していただきました。</p> <p>裏庭には野菜の苗を植え、その成長の様子を観察し、また収穫の時を迎えると、収穫の様子を見守っていただきました。小さいスイカは、皆さんに味わっていただくこともできました。</p>		

製 作

活動回数	7回	参加人数	28名
活動報告	<p>製作クラブ 7回 28名</p> <p>文化祭に向けて、各フロアで作品の製作を行ないました。利用者様に一部分作っていただき、それを集めて壁飾りアート作品に仕上げました。</p> <p>文化祭会場に展示し、来場者に鑑賞していただきました。</p>		

防 災

「突然大きな地震に襲われる」「火災が発生する」「不審者が侵入する」「感染症のクラスターが発生してしまった」等々を想定して今年度も訓練を行いました。
どの様な状況であっても利用者様へのサービス提供を行うという私たちの使命を職員一人ひとりが自覚しながら職務にあたるように取り組みを行いました。

1, 令和5年度 訓練の記録

8月16日(水) **火災・地震想定(夜勤帯想定)**にて実施し、総合訓練を行う。

明け方5:00地震発生、夜勤者5名、身の安全を図り、地震が収まり利用者様の安否確認を行う。けが人なし、各居室落下物なし。

厨房から火災発生、消火器にて初期消火し鎮火する。

消防隊に鎮火を報告。

屋内消火栓と消火器の使い方の知識を得るように訓練を通して職員が習得する。

8月24日(水) **令和5年度自衛消防訓練指導会**について福生消防署予防課防火査察係の担当様に連絡。

8月31日(木) **炊き出し訓練**を行う。

台風による水害のため厨房が使用できなくなり、災害用「まかないくん」を使用して利用者様と職員の昼食を調理すると共に非常備蓄品や災害時の避難経路の確認も併せて行う。

10月27日(金) **自衛消防訓練指導会**に参加指導者、防火管理者が福生消防署に行き自衛消防訓練の指導を受ける。

11月 8日(水) **消火訓練・地震想定(夜勤帯)**にて実施し、消火訓練を行う。

洗濯場より出火。夜勤者の初期消火活動により鎮火。

12月12日(火) **感染症シミュレーション訓練**を行う。フロアでコロナ感染症の陽性者が発生。まん延防止策とゾーニング訓練、レッドゾーンとしての介護等の進め方を実践的なシミュレーション訓練を行う。

12月13日(水) **通報訓練・地震想定(夜勤帯)**にて実施し、職員の安否確認および出勤対応の確認のために非常呼集網を用いて通報訓練を行う。

1月 5日(金) **BCP計画(自然災害・感染症)についての机上訓練**を行う。

BCP計画によるシミュレーション訓練として推進体制の見直しを行い、更に現術的なものにする。

1月10日(水) **火災・総合訓練(日勤帯)**にて実施する。

火災を想定し、施設内の屋内消火栓を使用し消火活動を行う。

屋内消火栓の使用の確認を合わせて行う。

2月10日(土) **感染症のシミュレーション訓練(BCP計画)**を行う。

2月16日(金) コロナウイルス陽性者判明し、BCP計画によりシミュレーション訓練お行い、訓練終了後に振り返りしBCP計画の見直しを行う。

3月19日(金) **火災・避難訓練(日勤帯)**にて実施し、各フロア毎に避難訓練を行う。

併せて避難経路の確認も行う。

2, 福生消防署の立入検査

令和5年12月15日に消防法第4条による立入検査がありました。指摘事項はありませんでした。

3, その他

令和5年11月9日 サンシャインビラ自衛消防隊に福生消防署長より表彰状をいただきました。

令和5年11月9日 サンシャインビラに福生消防署長より感謝状をいただきました。

使用物品等

日常的に使う使用物品の在庫が少なくなると事務所に連絡をして事務所で発注しました。

納品された物品は、介助員が所定の場所に片づけて管理をしました。

物品を持ち出したときに、物品を持ち出した職員が持ち出した記録を記入しました。かねてよりの記録の未記入による在庫数が合わないという問題は引き続き改善できませんでした。

シーツ等リネン類の発注管理

シーツ交換は、業者に委託しています。

リネン類の在庫等の数量管理も委託先の業者が行っています。

定期的なシーツ交換以外のシーツ交換は、介護職員が行い、利用者様の寝具類を心地よい状態に保っています。

環境整備・感染症予防・褥瘡予防・安眠・事故防止等に配慮して清潔保持を支援しました。

コロナ感染症発生時は委託業者の方には施設内にお入りいただく前に、職員がシーツ交換を行い清潔保持に努めました。

おむつ等管理

紙おむつ類の使用については、職員全員がコスト意識を持ち使用しましたが、コロナ感染症の発生時等は、排泄用品の使用量が多くなり結果的にはコスト増となりました。

無駄な使い方をしないように注意し合って、排せつ介助を行っています。

在庫の管理をしながら発注して、過不足なく使用する事が出来ました。

年間行事の実施状況

行 事	実 施	内 訳	金 額	小 計
観桜会	4 月 1 6 日 (日)	模擬店食材 アイスクリーム他	1 8, 8 6 5 2 1, 9 2 3	4 0, 7 8 8
端午の節句	5 月 7 日 (日)	1階 (フロアー活動) 2階 (フロアー活動) 3階 (フロアー活動)	6, 4 4 9 6, 4 4 9 6, 4 4 9	1 9, 3 4 7
ゲーム大会	6月18日 ～ 6月27日	1階アンパン 2階アンパン 3階アンパン	3, 6 7 2 5, 0 9 7 5, 3 5 2	1 4, 1 2 1
納涼祭	7 月 2 4 日 (日)	模擬店食材 西瓜 飲み物等	1 4, 5 2 1 1 4, 1 7 5 1 3, 0 5 1	4 1, 7 4 7
地域祭礼	7 月 2 9 日 (土)	お祝い 菓子、飲み物 その他	1 0, 0 0 0 1 4, 2 3 1 1, 9 7 3	2 6, 2 0 4
敬老会	9 月 1 7 日 (日)	花代 和菓子 飲み物 その他	3 7, 0 0 0 2 3, 1 0 0 3, 6 6 7 1, 2 1 0	6 4, 9 7 7
文化祭	10 月 1 7 日 (日)	模擬店食材 アイスクリーム 茶道菓子等 飲み物 花	3 3, 9 9 8 4, 7 4 9 1 4, 7 0 0 4, 5 7 4 2 5, 0 0 0	8 3, 0 2 1
クリスマス	1 2 月 2 4 日 (日)	ケーキ ツリー ギフト用チョコ 衣装	3 8, 5 0 0 2 2, 7 0 8 9, 4 5 0 1, 7 6 7	7 2, 4 2 5
餅つき	1 2 月 2 8 日 (木)	もち米と もち取り粉	7, 5 2 0	7, 5 2 0
新年式典	令和 6 年 1 月 1 日 (日)	門松 お飾り等 鏡餅 花 飲み物他	4 5, 1 0 0 6, 9 8 8 1 6, 4 9 4 1 7, 0 0 0 2, 9 5 3	8 8, 5 3 5
節分祭	2 月 3 日 (土)	鬼打ち豆	2, 1 2 2	2, 1 2 2
ひな祭り	3 月 3 日 (日)	花 雛あられ他	1 3, 5 0 0 1 1, 9 3 8	2 5, 4 3 8

合計

4 8 6, 2 4 5 円

ボランティア受入状況

コロナ禍以前は、たくさんのボランティアさんに活動していただいていたのですが、感染予防の観点から施設内に外部の方がお入りいただくということに細心の注意と感染予防に対する工夫をしながら対応しました。

ご自宅で作った作品を届けて下さったり繕い物をして下さったりという個人ボランティアさんもありました。

実習生・研修生受入記録

令和5年度はコロナの状況を見ながらではありましたが、感染対策を行い、中学生の職場体験と高校生のインターンシップ、大学生の介護等体験、介護福祉士養成校の生徒さんの実習、初任者研修の施設実習等を受け入れることができました。

地域交流参加等の状況

地域交流は重要なこととの認識のもと交流の機会を検討しましたが、感染予防を優先し直接の交流機会を持つことが出来ない結果となりました。

しかし、地域の方が作品を届けて下さったり、保育園の園児さんの作品を届けていただけたりという交流ともありました。

年度最終の3月24日（日）福生市桜まつりに4名のり参加し、人力車に乗るとい体験をしました。それらのことにより、地域との関係を感じることができ

令和5年度短期入所生活介護事業報告

1. 基本方針

福陽会の理念である「その方が、その方らしく生活できる環境づくり」をモットーに、利用者様が健康で笑顔あふれる日常を過ごせるよう目標を定める。

- ・利用者様の心身共に健康な生活を保持る。
- ・利用者様の個性を尊重した生活を配慮する。
- ・生活に希望と生きがいを持てるよう環境の整備と季節感のある行事を行う。

(1) 月別利用者様の延利用日数

4月	19日	5月	11日	6月	6日
7月	52日	8月	39日	9月	12日
10月	22日	11月	12日	12月	50日
1月	28日	2月	11日	3月	12日

1年間に、延べ日数で合計274日利用していただきその結果、稼働率は37,53%でした。

従来型多床室で個室がありませんので、コロナ感染症感染防止策により2床のベッドの二人部屋に1名の方が利用するという状況でした。

しかし特養でコロナ感染症の発生等がある場合は、短期入所の受け入れが困難でした。短期入所のご利用開始時の個室対応も利用者様にとっては負担感となりました。

(2) 協力病院・地域の医療機関等と連携を図り、ご家族様とも協力し合い、健康管理を行いました。

2. 重点目標

理事長、統括施設長、施設顧問医師、副理事長よりの指導をいただき、職員一同力を合わせて感染予防策の徹底とサービスの質の向上に取り組みました。

- (1) 緊急な入れを行う環境を整えて準備しました。
- (2) 重度要介護者の受け入れ環境を整えて準備しました。
- (3) 内部研修とOJTを強化しました。
- (4) 各部署のチームワークで感染症の予防と拡大の防止策を徹底して行いましたが特養にコロナ感染症の発生があり、収束までの期間は短期入所生活介護の利用者様をお受けすることができませんでした。

生活の場として安全であるように環境を整えて、その方のご利用期間中を安心して安全に過ごしていただき、その後は安心して居宅生活へ戻っていただけますようにと考えて、支援いたしました。

2023年度

事業報告書

社会福祉法人 福陽会

特別養護老人ホーム 第2サンシャインビラ
短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護（ショートステイ）

1. 事業報告（総括）

統括施設長への報告相談を中心に、「その人らしく生活できる環境づくり」の追求を深めて行く事により、利用者個々の充実した生活が送れるよう支援する事が出来た。新型コロナウイルスや感染性胃腸炎の影響により面会制限や活動自粛等をせざるを得ない状況が続いたが、コミュニケーションの増加やフロア毎の諸活動の企画及び実施により、日常生活を楽しんでもらう事が出来た。

地域交流については、家族介護者教室の開催にて地域の家族介護者への支援を8月に、地元加美町会や福生市との合同防災訓練を3月後半に実施。又、地域包括との連動により認知症サポーター養成講座や認知症カフェ、町会からの依頼による講話活動を実施し参加者からは好評の声が聞かれた。行事時の地元演芸ボランティア慰問も再開とし、利用者様にも大変喜ばれる状況であった。

面会についてはオンライン面会と併せ5月よりフロアラウンジでの面会を実施。特にフロアでの面会については距離が近くなった事で利用者様やご家族様から喜びの声やたくさん笑顔を見る事ができ、利用者個々の生活の安定に繋げる事ができた。

研修関係についても、施設開設以来変わる事の無い理事長・統括施設長・顧問医師・副理事長の福陽会の理念を職員個々に十分に理解・浸透させる事ができた。今年度も内部研修を中心に定期研修会と合わせ、フロア毎の内部研修の実施を継続。特に外部講師を招いての研修会は参加者も多く、専門性や具体性のある講義内容にてスキルアップに繋げる事ができたように思える。

利用者の健康管理については、平均介護度4.0と重度化が継続している中、施設顧問医師の指導による日々の健康チェックと日常観察等を介護・看護職員が連動して行い、病気の早期発見・早期治療に努める事ができ、精度の高い感染症対策や看取り介護の実践が継続できた。同時に施設顧問医師を中心に前年と同様に充実した内容の感染症対策委員会を開催し、感染症に対する知識を深める事が出来た。

一方では、開設から28年が経過し、各設備の消耗や老朽化が更に進んでおり、冷暖房ボイラーの入れ替え、ファンコイルユニットの交換、屋上トランス交換等の施設備品修繕は大変高額なものとなった。修繕等については今後も消耗状況による各設備の入替え等、続いていく可能性が非常に高い為、施設全体の経費の見直し・削減を進めていき、効率的な施設運営を目指すと共に、利用者並びに施設職員が明るくそして幸福感や満足感を常に感じてもらえるような活気ある施設作りを強化並びに継続して行きたい。

【事業計画達成状況】

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することができた。年度当初目標を常に心がけ、一年間の事業運営にあたり、結果として、稼働率状況は安定的ではなかったものの、利用者個々の生活状況は穏やかで明るいものであったように思われる。次年度以降も職員が初心を忘れずに各自が責任を持って業務や利用者生活のサポートを遂行していく。

2. 職 員 構 成 3月31日現在

担当職	職 名	職員	非常勤
統括施設長		1	
施設顧問医師			1
医師			1
副理事長		1	
産業医			1
施 設 長		1	
事 務 長		1	
事 務 員		1	2
生活相談員	主任生活相談員	0	
	生活相談員	5(3)	1
	介護長	0	
介護支援専門員		(3)	
介護職員		37	23
医 務	医 師		3
	看護主任	1	
	看護職員	6	2
	事務		0
機能訓練指導員	機能訓練指導員	2	
	P T		2
厨房	管理栄養士	1	
	調理員	9	0
保守管理・宿直	介助員	1	5

* 兼務職員は主たる職務に記載し、
兼務している職務では（ ）内に
記載

* 清掃・洗濯の
一部はシルバー人材より派遣

* 提携病院 あきる台病院

* 介護派遣 1名

3. 会議・懇談会・委員会開催状況報告書

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	回数 合計
相談員会議	12	10	14	12	9	13	11	8	13	10	14	13	12
栄養会議	12					13	11	8	13	10	14	13	8
行事計画委員会	13	11	8	13	10	14	12	9	14	11	8	14	12
苦情処理委員会				27				23					2
事故対策委員会		25					26			25			3
虐待・拘束廃止委員会			29			26			28			28	4
個人情報保護推進委員会	20				31								2
実習研修推進委員会			20	18		19	17		19	16	20		7
厨房会議	5					6							2
ケース会議	13	11	8	13	10	14	12	9	14	11	8	14	24
	20	25	29	27	31	28	26	23	28	25	22	28	
リーダー会議	24	22	26	24	28		23	27	25	22	26	25	11
広報委員会		17		13		14		9		11		21	6
施設内レクリエーション委員会			20	18		19	17		19	16			6
褥瘡予防委員会	13	11	8	13	10	14	12	9	14	11	8	14	12
衛生委員会	25	23	27	25	22	26	24	28	26	30	27	26	12
感染症対策委員会	20	25	29	27	31	28	26	27	25	22	26	25	12
全体会議	12	10	14	12	9	13	11	8	13	10	14	13	12
利用者懇談会													0
給食懇談会	3	1						6	11	15	5	11	7
法人合同会議	20	25	22	27	24	27	26	30	21	25	22	28	12
防火管理委員会													0
その他会議											28		1

4. 市区町村別入退所状況

	入 所		退 所		合 計	
	男	女	男	女	入 所	退 所
葛 飾	2	0	2	0	2	2
国 立	1	0	1	0	1	1
江 東	0	0	0	2	0	2
杉 並	0	2	1	0	2	1
世田谷	1	0	0	5	1	5
立 川	4	0	1	2	4	3
福 生	5	19	10	8	24	18
文 京	0	0	0	0	0	0
目 黒	0	0	0	0	0	0
その他	11	11	6	8	22	14
合計	24	32	21	25	56	46

5. 利用者外出・外泊・面会状況

	外出		外泊		面会		
	人数	延回数	人数	延日数	対利用者	延人数	1日平均
4					180	105	3.5
5					180	163	5.3
6	1	1			180	172	5.7
7					180	151	4.9
8					180	125	4.0
9					180	159	5.3
10					193	144	4.6
11					193	213	7.1
12					193	233	7.5
1					193	172	5.5
2					193	54	1.9
3					193	178	5.7
合計	1	1	0	0	2238	1869	5.1

6. 処遇報告

1) 2F 事業報告・活動報告

【フロー目標】認知症の方の行動・症状を理解しその方に合った接し方、ケア、本人の尊厳を大事にして、出来ることをいかした生活が送れるよう支援していきます。

① 年間を通じて

前期目標を達成する為、利用者様の生活環境を整え、利用者様の体調を整え、体調の変化に気を配り、年間行事への参加や外出支援、フロア活動としての季節ごとに企画したレクリエーションを行う事が出来た。後期目標に関しては、利用者様の体調管理に介護職員と医務との連携にて利用者様の体調の変化の早期発見とその後の対応を迅速に行えた。また、嘔吐処理などの感染対応のフロア研修日を設定し、フロア職員参加のもと周知し備えることができた。感染症対策時期には外出支援ができない為、クリスマス、お正月、節分祭、ひな祭りなどを盛大にフロアレクリエーション充実したものにできた。

② 安全対策

夜間帯、センサー反応がよく、色分けされたものに変更した物を20機から24機と増設しても区別が付きやすく利用者の見守り精度が上がった。

③ フロア活動報告

【利用者ショッピング】

新型コロナ感染症対策のため中止。

【フロア外出支援】

新型コロナ感染症対策のため中止

【フロアレクリエーション】

コロナ感染対策の為、外出、又外部からの慰問等も出来ない状況の中で、季節を感じられるレクリエーションを、利用者様と職員と一緒に楽しみ、職員の演芸会（和太鼓・ジャグリング・ピアノ・ウクレレ・仮装）などは多くの利用者様の笑顔がみられとても楽しまれた。全ての行事に多くの利用者様が参加して頂ける内容を考え取り組むことが出来た。フロア内に、普段とは違う表情の笑顔の写真を多く撮ることが出来、フロア内に多くの写真を飾る事が出来た。また、感染症対策としてABそれぞれのユニットで分散したかたちでのレクリエーション実施した。

【フロア研修会】研修委員主催

事故報告が出た場合、なるべく早くミーティングをするように心掛け、改善、再発防止に努めフロア全体が把握、周知できるように取り組むことが出来た

2) 3F 事業報告・活動報告

① 利用者の個別ケアについて

ケアプランに基づいた個別ケアについて職員一人ひとりが理解、発信する等、フロア全体での実践・検証が定着している。情報共有についても昼のミーティングで当日の利用者の状況についての報告、確認を行い皆で把握することでその後のケアに活かせるような体制ができている。また、少しの状態変化も察知し易くなり、医務やリハビリへの相談や連携も以前より迅速に行われるようになった。今後もより適切で根拠のある個別ケアが実施されるよう継続していく。

ヒヤリハット、内出血の報告は前年度より大幅に減少している。入浴時にスライディングボードを活用し剥離や内出血防止に取り組んでいる。2月のノロウイルス感染症にて感染対応中の車椅子からのずり落ち、転倒、骨折1件発生してしまいフロア全体でミーティングを行い同様の事故を減少出来る様に努力していく。

新型コロナウイルスについては5月8日から5類感染症となったが、2月にノロウイルス感染症が蔓延してしまい、感染対応の基本である手洗い、消毒、換気の他に嘔吐物処理を行うがなかなか収束せず保健所の指導によって改めて次亜塩素酸の濃度の重要性等を確認する事が出来た。引き続き職員の体調管理や医務との連携を図りながら今後も様々な感染予防に努めていく。

② フロアレクについて

新型コロナウイルス5類移行に伴い、少しでも日常を取り戻す様レク委員を中心に活動。フロア内の季節ごとの飾り付けは利用者様からの評価も高く3階独自の展示品として継続をしている。またクリスマスには職員によるウクレレ演奏やカラオケ等、職員と利用者が共に楽しめる様な企画を立て盛大な盛り上がりを見せた。ベランダの草花や季節の野菜の苗を植えて成長を楽しみにしたり天気の良い日は外気浴を実施するなど利用者にも楽しんで頂くよう努力した。

③ 個人の尊厳・認知症ケア

「尊厳」というものの意味を理解し、利用者一人ひとりと真摯に向き合い、個別のケアや利用者特性、認知症の理解については職員指導や研修会の参加などで理解を深めてきた。今後も利用者・家族が安心して施設での生活を送って頂けるよう努めていく。

④ ターミナルケア

終末期、居室を思い出の写真で飾り付けしたり、好きだった音楽を流し、その人らしさを意識し安心安楽な環境づくりに努めた。また、ご家族に感染対応をご理解頂いた上で面会時、大切な時間を一緒に過ごして頂くことができ、ご家族様からも感謝のお言葉やお手紙を頂くこともあった。

排泄委員会（感染症委員会）

- ・利用者の状態変化に合わせた排泄材料の検討や褥瘡予防策の提案・実施。
- ・感染物品の管理や安全な排泄介助方法、嘔吐処理やガウンテクニックの指導。

美化委員会

- ・感染予防の為の口腔ケアや整容などの物品管理や身の回り品等の整備。
- ・安全や清潔に配慮したフロア環境整備。

レク委員会

- ・季節感のあるフロア内外の装飾。
- ・感染予防に配慮した上でのフロアレクの企画・実行。

研修委員会

- ・より質の高い職員の育成につなげる研修の実施や資料作成等。

3) 4F 事業報告・活動報告

年間目標

常に尊敬の念を持ち、利用者一人一人と真摯に向きあうことで、『その人らしい生活感のある暮らし』『心身ともに健康な生活』『笑顔の絶えない楽しい生活』が送れるよう支援をしていきます。

重点項目

① 感染症対策

新型コロナウイルス感染症等の感染症対策において、令和2年度のクラスターの経験から学んだ知識を源に、感染予防対策の習慣化だけでなく、さまざまな感染症に対する感染症予防対策の根拠を追求し、日々の利用者ケアの見直しを行ったことで日常的な感染予防対策として個々のレベルアップに繋がった。また、流行し続けている新型コロナ感染症には特に細心の注意を払い、職員個々に体調管理、プライベートでの行動制限を心掛けたが、家族間での感染は間逃れず、早期に疑い出勤を控えるも職員感染してしまう結果となったが、医務との連携を図ることにより、利用者が感染することもなく終息した。インフルエンザウィルスでは、利用者2名が感染したが蔓延を阻止することが出来た。しかし、2月に入り、ノロウイルス感染症が蔓延してしまい、利用者、職員共に感染してしまうこともあり、今後も常に医務との連携を図りながら感染予防に努めていく必要がある。

② 利用者個別ケア

利用者一人一人のケアプランをケース会議毎に、チェック方式で職員に周知することで、フロア職員、皆が利用者一人一人の想いやニーズ等の把握や対応等、個々の情報を共有することで、統一したケアを実施することが出来た。その成果として、食形態の変更、歩行器等の活用による歩行能力の向上等、利用者の生活の質が向上した実績も得られている。職員、利用者間の良好な交流が継続している中で、利用者同士の交流も引き続き多く見られました。外出や面会がままならない状況でしたが、面会制限緩和により、ご家族と過ごす時間も増えてきて、笑顔で生き生きとした利用者の様子がうかがえた。

③ 認知症ケア・個人の尊厳

尊厳という意味を理解することで、フロア内での情報共有をもとに、認知症であっても「その人がその人らしく」生活できるよう、引き続き周辺症状、中核症状へのアプローチを個別に工夫することで、利用者、職員共にゆとりを持ち、穏やかな関係性を築くことに努めてきた。また、やむを得ず、医師との相談により抗精神薬の処方となった利用者に対しては、投薬後の副作用を考える等の意識も高まっている。

④ 看取り介護（ターミナルケア）

コロナ禍ではあるが各種感染症対策にご協力頂き、ご家族との面会を円滑に実施することが出来た。ご家族の写真や大切な物、自慢な物、好きな歌等、「その人らしさ」を尊重した環境を整え、ご家族が支援の手を差し伸べられる機会を提供することが出来、利用者、ご家族からの満足度が実感できた。看取りケア実施中にも、様々な意見や思いを寄せ合うことで看取りケアの質を深める努力を継続している。又、看取り後には、故人のご家族に向けた「思い出のアルバム」を心込めて作成し、数々の嬉しいコメントを頂いている。

⑤ リスクマネジメント

ヒヤリハット、内出血に関しては、昨年度よりも減少している。発見、報告の意識付けと職員全体の目配り気配り等の意識を向上することが出来た。各職種職員間の情報共有にも役立つことが出来た。又、引き続き低床ベッドの活用、足元マットの設置や、センサーの利用を状況に応じ実施している。歩行器、車椅子自操の方が増加し、出来る限り自由に生活して頂けるようにしている。結果として尻もち、転倒、車椅子や椅子、ベッドからの転落、ずり落ち等の事故報告や、些細なことも含めた件数は前年度よりも減少したが、骨折に関しては前年度を上回り4件発生する結果となった。

⑥ 生活支援

天候の良い日は外気浴やドライブ（車内からの景色観賞）、お誕生日会で誕生月の方皆が一緒にケーキを食べ、カラオケ、嗜好品や四季折々の装飾等、レクリエーションを企画し、コロナ過の外出

制限の中でもストレス少なく、楽しみをもって過ごして頂けるよう努めた。日常に於いても、利用者同士の麻雀を楽しむ姿や、職員と交わりながら楽しそうに笑っている利用者が多く見られていた。また、利用者個人の趣味や生活歴等に応じた個別の動画鑑賞の提供も、利用者が楽しむ場面に有効であった。

4) 月間定例行事実施状況

行事 月	喫茶室	おやつ バイン グ	ラーメン の日 冷し中 華	うどん	希望食 の日	誕生日 会	移 動 美容室	ひまわ り美容 室
4	19	6	6	20	13	27	45	14
5	10	17	4	18	11	25	44	23
6	21	7	1	15	8	29	59	10
7	19	5	6	20	13	27	44	25
8	16	2	3	17	10	31	44	11
9	20	6	7	21	14	28	32	22
10	18	4	5	19	12	26	47	10
11	15	-	2	16	9	30	33	11
12	20	6	7	21	14	28	65	26
1	24	17	5	18	11	25	37	12
2	21	7	1	15	8	22	0	21
3	21	7	22	15	8	29	61	21

5) 地域行事参加状況一覧表

年月日	行事名	人数
	新型コロナウイルスの影響にて	
	地域行事への参加は無し	

6) 施設見学者一覧表

年月日	見学者名	人数	時間帯	適応
4月6日	ボランティア予定者	1	10:00～11:00	施設見学、打ち合わせ
4月10日	他施設職員	2	14:00～15:00	〃
4月26日	関係業者	1	11:30～11:30	〃
5月2日	入職希望者	1	9:30～10:00	施設見学
5月18日	新卒選考会参加者	1	10:00～12:30	施設見学、採用選考
5月26日	新卒選考会参加者	1	13:00～15:30	〃
7月11日	関係業者	2	11:00～12:00	施設見学、打ち合わせ
7月25日	入職希望者	1	10:30～11:30	〃
8月1日	多摩リハビリテーション	1	10:00～11:00	施設見学、実習見学
9月22日	入職希望者	1	13:30～14:00	施設見学
10月10日	入職希望者	1	10:00～10:30	〃
11月27日	入職希望者	1	11:00～12:00	〃
1月25日	新卒選考会参加者	1	14:00～15:30	施設見学、採用選考
2月26日	関係業者	2	10:30～11:30	施設見学、打ち合わせ
2月29日	関係業者	2	14:00～15:00	〃
3月6日	新卒選考会参加者	1	13:00～15:30	施設見学、採用選考
3月8日	関係業者	3	10:00～14:30	施設見学、利用者調査

※その他施設入所希望のご家族等 多数見学あり

7. 厨房事業報告

(1)実施内容「甘酒ゼリー」 実施日 R6.02.11 (日)

目的

利用者様の日々の食事に新しいバリエーションを加え、興味を持っていただけるような食事の提供に努めていく。結果、食事形態が違って、同じ形態で全員の方に召し上がっていただけるようなものを提供し、「美味しい、また作って」と言っていただけ満足していただけた様子でした。

◎代替食実施状況

○青魚禁→白身魚で対応

2F 0名 3F 2名 4F 1名

○牛乳・乳製品禁→ジュース、果物等で対応

2F 0名 3F 3名 4F 6名

○うなぎ禁→丼物等中心で対応 (牛丼等)

2F 0名 3F 3名 4F 3名

○麺類禁→主食を御飯・粥として副食をプラスし対応

2F 3名 3F 1名 4F 4名

○その他禁 カレー、納豆、長芋、卵 (温泉卵)、えび、かに、揚げ物、ブロッコリー、オクラ、バナナ、キウイ、マンゴー等→他の食材もしくは調理法で対応

◎行事食等について

月	日		月	日		月	日	
4	5	ラーメンの日	9	6	冷やし中華	1	1	元旦祝膳
	26	誕生会		10	敬老の日		7	七草粥
5	3	ラーメンの日		27	誕生会		11	鏡開き
	31	誕生会	10	4	ラーメンの日		17	ラーメンの日
6	7	冷やし中華		19	文化祭(内部)		31	誕生会
	28	誕生会		25	誕生会	2	7	ラーメンの日
7	5	冷やし中華	11	1	ラーメンの日		28	誕生会
	20	盆踊り大会(内部)		29	誕生会	3	3	ひな祭り
	26	誕生会	12	6	ラーメンの日		6	ラーメンの日
8	2	冷やし中華		16	クリスマス会		27	誕生会
	30	誕生会		28	誕生会			
				31	年越し			

うどん、そばの日 月 1回

希望食の日 月 1回 10月～6月は刺身 7月～9月はうなぎ蒲焼

◎給食懇談会実施状況

月	日	階	人数	議題	内容等
4	3	4F	5	食事について 感想、希望等	嗜好について比較的具体的な名称を 挙げて話していただくことができた
5	1	3F	5	〃	積極的に話して下さる方が多く たくさんの意見が出た
6	6	3F	5	希望食について等	食事の感想と併せ、来月から希望食が 鰻となる為、お好きか等同った
7	4	3F	4	食事について 感想、希望等	嗜好から禁忌となっている食材を 好きだと話される方あり、その後解除
8	1	3F	4	〃	概ねよく召し上がっている様子、 おやつは喜ばれた
9	5	2F	5	〃	嗜好について比較的話していただけた 甘味はお好きな方多い様子
10	3	3F	5	行事食について等	積極的に話していただく方は少なかったが 比較的よく召し上がっている様子
11	6	4F	4	焼き芋大会に ついて等	あまり出ないので嬉しかった、 美味しかったとのことで好評であった
12	11	2F	4	食事について 感想、希望等	皆さん良く召し上がっている様子 甘味は好評であった
1	8	3F	5	〃	皆さん積極的に話して下さり 嗜好について伺うことができた
2	5	4F	3	〃	苦手な食材がある方もいたが、 普段の食事はよく召し上がっている様子
3	4	2F	5	希望食について等	ひな祭りの五目ちらし寿司について 改めて感想伺った

※毎月1回第1月曜日 PM2:30~3:00 までの短い時間ではありますが各階の利用者様が参加され、調理の現場からの出席もあり食事の感想や希望を伺い個人個人の嗜好を把握し、ADL や食事形態の変化を直接認識して、それを献立作成や実際の調理に反映させるための貴重な時間となっています。

8. 医務室利用者健康管理報告

1. 利用者の安全で快適な生活を維持するための看護・医療面での一次・二次予防の推進 実施内容と方法

- ① 年一回の利用者健康診断を実施（胸部レントゲン・心電図・血液）
- ② 新規入所者は入所時検査を実施（胸部レントゲン・頭部CT・血液・尿検査・心電図・必要に応じて胸部・腹部CT・心エコー・腹部エコー等）
- ③ 利用者健康診断及び新入所時検査結果を速やかに医師に確認し、必要に応じて追加検査・投薬などの指示を仰ぎ健康管理に努める。
- ④ 週に4回の医務診察を行い、健康維持に向けた管理を実施。
- ⑤ 医師による指示及び看護師の医療的な判断により、定期的にバイタルサイン測定を実施（体温・血圧・脈拍・SP02など）
- ⑥ 医務診察にて処方された内服・外用薬の管理
- ⑦ 毎月1回定期的に体重測定を実施し、栄養状態の指標として他部署との情報共有に努める。
- ⑧ 健康状態に変化が見られた場合、速やかに医師や御家族へ報告し必要に応じて他医療機関の受診を行う。
- ⑨ 加齢による変化や慢性疾患の進行などによる全身状態の悪化が見られる際は、医師より御家族へ説明をして頂き看取り介護開始の検討を行う。
- ⑩ 看取り介護実施の際は、利用者及び御家族の多様なニーズに対応出来る様多種職間との情報共有に努める。
- ⑪ 夜間オンコール体制の基、利用者の急変時等は介護職員との連携を図り対応を行う。

年間目標1に対し①～⑪を念頭に取り組んできたが

今年度は、死亡退所者：46名（入院先での死亡者6名 急変等により死亡された方12名 ターミナル対応の末に亡くなられた方28名） 通常退所者：4名

入所後、半年以内の方も数名いらっしゃる。入所前の情報と実際の状況の違いや、連続的に入所者が多く各部署との連携不足も拒めず。

亡くなられた方の半数以上は看取り介護（ターミナル）の実施が可能となった。実施するにあたり、御家族へ医師より病状や今後の展開についての説明がなされる事で、御家族の死に対する心の整理をつける事に繋げた。また、面会時や電話で看護師より現状の説明を頻回に行い相談を受けるなど、御家族の意向を尊重しながら対応を継続したことで、御家族より感謝のお言葉を頂いた。

死亡者数は昨年度より増加したが、看取り介護（ターミナル）の内容は昨年度より充実したものとなっていたと思われる。

今後も他職種間との連携、利用者個々の変化に気づく日々の観察強化（特に⑧・⑨）、利用者ならびに御家族の多様なニーズに対応出来る様努める。

2 感染症の発生及び蔓延防止（新型コロナウイルスも含む）

実施内容と方法

- ① 年2回以上の感染症予防及び発生時の対応方法について施設内とフロアでの職員研修を実施。
- ② 全体朝礼や申し送り等を活用し感染症に関する発生状況等の説明・報告を行い注意喚起に努める。
- ③ 通年を通し感染症予防の為、職員に出勤時の体温測定・マスクの着用を徹底。
- ④ 職員の手洗い、アルコール消毒施行の徹底。
- ⑤ 11月より3月末までの感染症が発生しやすい時期に合わせてフロア・居室内に加湿器（大型加湿器は各フロア2台）を設置し湿度調整を図る。
- ⑥ 利用者の食事摂取前に手指消毒を実施。
- ⑦ 面会は完全予約（看取り期は除く）、時間・人数等を制限し特定の場所で行うことで感染防止に努める。
- ⑧ 体調の変化がある利用者には注意深い観察を行い、早期に医師へ報告し対応を検討する。
- ⑨ 職員及び利用者に対しインフルエンザの予防接種を実施。
- ⑩ 各部署連携し月に一度の感染症委員会を実施。
- ⑪ 新型コロナウイルスについて 新型コロナウイルス感染症は令和5年5月8日以降 感染症5分類へ

- ・新規入所や短期や入所に対し入所当日と翌日にコロナ抗原検・個室隔離を実施し、外部からのウイルスの持ち込みを防止する
- ・職員の更衣、昼食の場所など配慮し各部署やフロア毎に感染対策に努める
- ・その他感染状況に応じて感染対策の強化や緩和を適宜行う
- ・あきる台病院の協力のもと、利用者への新型コロナウイルスワクチン接種を適宜実施
- ・厚労省や東京都の感染対策を基に、法人・施設での独自の感染対応の実施

年間目標 2 に対し①～⑩を念頭に取り組んできた。

今年度の感染症発生状況は

*新型コロナウイルスクラスター発生	9月から10月	3階フロア	12名
新型コロナウイルス感染	10月	2階フロア	1名
	2024年3月	2階フロア	10名

抗新型コロナウイルス内服薬投与と高齢者等医療施設支援型施設へ一時的に入所、軽快される。施設にて3名死亡

*インフルエンザA型	9月	4階フロア	2名
	2024年1月	2階フロア	2名

抗インフルエンザ治療薬投与で回復

*ノロウイルスクラスター発生	2024年2月	3階・4階フロア蔓延	
----------------	---------	------------	--

対症療法にて軽減改善される

新型コロナ感染症が5類に変更となり感染対応が社会的に緩和された。ウイルスの侵入経路は不明だが面会も一つの原因と考えられる。また、ノロウイルス感染症が数年ぶりに蔓延。新型コロナウイルスやインフルエンザウイルス対策とは異なることから、初動対応に戸惑い、未経験者も多く認識不足も加わり感染拡大を招いてしまった。新規入職及び未経験者を中心に定期的に研修を行うように努める。年間を通して、スタンダードプリコーションの徹底に努める

3 褥瘡を含む皮膚トラブルの予防

実施と内容

- ① 入所時より定期的に利用者のADL・栄養状態などを分析、評価し褥瘡形成リスクをアセスメントする。
- ② 褥瘡形成リスクが高い場合は、個別予防計画を立案し実施する。
- ③ オムツ着用に伴う皮膚の糜爛が見られる方へは、介護職員との連携を図りオムツ交換回数・時間・方法を検討する。
- ④ 保湿クリームや安定的な食事・水分摂取に努め、皮膚のバリア機能を維持する。
- ⑤ 介護職員が褥瘡予防に対して一貫した対応が図れる様、マニュアルを作成し指導にあたる。
- ⑥ 褥瘡形成が確認された場合、毎月開催される褥瘡予防委員会にて発生理由・箇所・今後の対応方法などについて報告・相談する。
- ⑦ 褥瘡予防や対応方法について外部講師を交えての研修会を実施し知識と技術の向上に努める。

実施内容①から⑦の結果年間褥瘡保有率は0.54%、褥瘡新規発生者3名、発生率は1.76%となった。次年度以降も褥瘡発生率0%を目標に施設内において、一貫した予防策を展開していくことが必要。

2024年3月31日現在の医療処置対応者

胃瘻による経管栄養施行者4名

在宅酸素使用者0名

褥瘡処置者0名

血糖測定者0名

経口摂取困難による点滴施行者2名（ターミナル者10名）

9. リハビリテーション事業報告

(1) 総括

令和5年度リハビリテーションにおいて、利用者の身体・精神面の特性・変化を把握し、看護・介護・リハビリテーションの各セクションが一体となり、個々に合った安全で無理のない訓練を施行す

る事に重点を置いた。慢性疾患や障害を持つ利用者に対しても運動機能を正しく評価し、その体力や残存能力から生活の場で発揮できる能力の予測とともに日常生活への適応にも努めた。また、スタッフの主観や経験から判断することなく、利用者が訴えている言葉・動作・行為のひとつひとつを注意深く観察し、精神的な高揚につながるようアプローチも合わせて行った。

(2) 実施事項

- ① 理学療法士による評価・プログラム作成
- ② 温熱療法
- ③ 関節可動域訓練・マッサージ
- ④ 筋力強化、起居・移乗・移動動作訓練
- ⑤ 廃用性の機能低下防止

(3) 結果

- | | |
|--------------------|-----|
| ・関節可動域の維持拡大、姿勢調整 | 32名 |
| ・起居・移乗・移動動作能力の維持向上 | 24名 |
| ・疼痛の軽減 | 7名 |

以上の結果が得られた。関節可動域制限の維持・拡大を主とした利用者の増加によりベットサイドでの訓練が多くを占めた。車椅子・歩行器使用者で日々の起居・移乗・移動動作能力の維持・向上を目標とした利用者の訓練の施行。また、体調不良により訓練中止となった利用者においても他部署との連携により早期再開を進め、廃用性の機能低下防止にも努めた。例として、脳梗塞により左上下肢に麻痺症状のある利用者で、機能面に関しては起居動作から移乗・移動動作など食事摂取を除き生活動作に介助を要していた利用者において、関節可動域訓練、筋力強化訓練、起居・移乗動作訓練を集中的に施行した結果、手すりにての起居・起立動作、方向転換などが可能となった他、一部介助での移乗・トイレ使用が可能となり機能回復から生活の質の向上に繋がった利用者。また、スタンダード型車椅子にて食事自己摂取を行っていた利用者が、体調不良により長期臥床を強いられ、体調回復後には頸部・体幹関節可動域制限、姿勢不良により食事摂取量が低下した利用者においては、マッサージによる疼痛の軽減、関節可動域訓練、筋力強化訓練を集中して行った。結果、一部介助での移乗動作・トイレ使用 また、自己にての食事摂取が可能となるなど、体調不良以前の生活レベルまでの機能回復が認められた。

また、アルツハイマー型認知症進行により四肢・体幹の関節可動域制限、筋緊張の高い症状のある利用者に関しては、入浴・排泄・更衣介助の中で非常に難しいレベルにあり車椅子座位も姿勢不良が目立っていたが、継続した関節可動域訓練、姿勢調整を施行した結果、排泄・更衣介助の介助量が軽減した利用者もあり大きな成果が得られた。その他、利用者個々の身体状況に合った車椅子・リハビリテーション機器の選定及び整備とともに、個々に合った生活リハビリ、日常生活に適応した動作訓練を取り入れるなど、残存能力の活用とともに潜在的な能力の開発にも努めた。

令和5年度における感染症によるフローア閉鎖により活動制限から多くの利用者に廃用性の機能低下がみられた。離床時間の減少から関節可動域制限進行により座位姿勢の不良、排泄介助への影響、筋力低下から起居・移乗・移動動作能力の低下など様々な日常生活動作能力の低下が認められた。その問題に対し早急に全ての利用者に対しての評価、問題点の把握に努め理学療法、生活リハビリを施行した結果、四肢・体幹の関節可動域の維持・拡大、起居・移乗・移動動作能力の回復など、概ね機能回復に繋げることが出来たと思われる。

(4) 反省点

- ① 車椅子座位の姿勢不良により、仙骨部剥離、関節可動域制限進行に繋がる問題において、各フロアへ事例とともに説明を行うが同様のケースが再発するため、各フロアを含めケアカンファレンス、施設内研修会、褥瘡予防会議等にも周知徹底し再発防止に努める。

リハビリ実施報告表

月	R. O. Mマッサージ			温熱療法			月	起立・バランス・歩行			理学療法士による評価		
	実施 日数	対象 者数	実施 人数	実施 日数	対象 者数	実施 人数		実施 日数	対象 者数	実施人 数	実施 日数	対象 者数	実施評 価人数
4	25	24	220	25	0	0	4	25	23	163	2	28	8
5	27	24	273	27	0	0	5	27	23	266	3	28	13
6	26	24	318	26	0	0	6	26	23	260	3	28	13
7	26	23	306	26	0	0	7	26	23	281	3	28	14
8	27	23	280	27	0	0	8	27	23	240	3	28	12
9	15	23	115	15	0	0	9	15	23	105	2	29	10
10	24	22	223	24	0	0	10	24	22	302	3	30	14
11	26	24	306	26	0	0	11	26	24	250	2	30	13
12	25	23	287	25	0	0	12	25	23	241	3	28	13
1	24	25	304	24	0	0	1	24	24	256	1	29	5
2	22	25	187	22	0	0	2	22	24	146	2	29	8
3	26	26	294	26	0	0	3	26	24	244	3	30	15
計	293	286	3113	293	0	0	計	293	279	2754	31	345	138

10. 生活相談員・介護支援専門員 事業報告

『法人の基本理念である「人がその人らしく生活できる環境づくり」を柱とし、ご家族および 他職種との連携により、利用者様一人一人が健康で生きがいを持って過ごしていただけるように支援します。』を柱として下記の通り努めました。

I. 利用者様の生活支援

- ・新規入所に当たっては、入所前の情報収集・事前面接等により利用者の状態像の把握に努め、入所判定会議に諮ります。入所判定会議については、基本的に毎週1回の定期開催とし、顧問医師青山先生に同席いただき、関係各部署と情報の共有を図るとともに、受入れの可否及び受け入れにあたっての注意事項などの情報共有に努めています。前年度と同様に、コロナ禍の影響により、事前面接が制限される中で電話での情報収集を積極的に行い、事前にご家族様とも相談を重ねつつ、入所される利用者様が、環境の変化に戸惑うことなく施設での生活がスムーズに移行できるように支援に努めています。
- ・入所後の利用者様の生活支援にあたり、利用者一人一人に適した施設サービス計画書（ケアプラン）の作成と、ケアの提供、モニタリングを繰り返し、各部署からの専門的な意見を重ね、より充実した生活を送っていただけるよう努めています。加齢や疾患によりADLに大きな変化がみられた場合には、医師をはじめ各部署からの意見をまとめご家族とも情報を共有し、改めて計画書を作成し状態に合わせたケアの提供に努めています。
- ・ご家族様と綿密なコミュニケーションを心がけ情報共有を図ることで、利用者様の支援を一緒に行っていくよう努めています。またご家族様の意見その他要望に対して真摯に向き合い、利用者本位のケアの質の向上につなげられるよう努力しています。
- ・看取り介護（終末期ケア）においては、利用者様本人及びご家族様の意向を尊重し、不安や悲しみに寄り添い、最期まで安心して施設内で過ごしていただけるよう努力しています。ご家族様の方からも心のこもった感謝の言葉を頂戴出来るように、今後のケアに活かしていけるようにと考えています。

II. ベッド稼働率

- ・各部署との連携を強化し入所利用者の体調管理に努め、ベッド稼働の安定に努めました。
- ・早期の情報収集・事前面接・入所判定等により、新規利用者のスムーズな入所に努めました。
- ・2023年度は、2月に3・4階フロアにて、感染性胃腸炎（ノロウイルス）3月には2階フロアにて新型コロナウイルス感染症の発生があった事ともあったことから稼働率の回復に時間がかかった部分は否めないものの、2024年度は99%代の稼働率でスタートすることが出来ました。

11. クラブ活動実績報告

① クラブ活動について

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、クラブ活動の自粛から、講師の先生方の引退などもあり、今年度も、年度当初から全てのクラブ活動を中止している。しかしながら、利用者の生活感や生きがいを見つけ出して行く為にも、クラブ活動の継続は必要であると考えます。今後、新型コロナウイルス感染症の流行収束に合わせて、新しいクラブ活動の体制づくりに努めていく事で、利用者の健康や笑顔を引き出せるよう努めていく。

⑤ 講師及び担当職員一覧表

クラブ名	講師及びボランティア名		
茶 道	井上先生	書 道	石井先生
華 道	佐野先生	陶 芸	川口先生
水彩画	職員 室賀		
手 芸	未定		

茶道クラブ活動報告

活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人員	0名	担当：筒井 幸子
------	----	-------	----	--------	----	----------

【活動報告】

- 1) 新型コロナウイルス感染予防の為クラブ活動中止。
- 2) 新型コロナウイルス収束後再び皆さんで楽しんでいただける様準備していきます。

【月別活動報告】

月	内 容	月	内 容
4月	コロナウイルス感染予防の為中止	10月	コロナウイルス感染予防の為中止
5月	〃	11月	〃
6月	〃	12月	〃
7月	〃	1月	〃
8月	〃	2月	〃
9月	〃	3月	〃

手芸クラブ活動報告

活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人員	0名	担当：
------	----	-------	----	--------	----	-----

【活動報告】

- 1) 新型コロナウイルス感染予防の為クラブ活動中止。

書道クラブ活動報告

活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人員	0名	担当：
------	----	-------	----	--------	----	-----

【活動報告】

- 1) 新型コロナウイルス感染予防の為クラブ活動中止。

【月別活動報告】

月	内 容	月	内 容
4月	活動中止	10月	活動中止
5月	活動中止	11月	活動中止
6月	活動中止	12月	活動中止
7月	活動中止	1月	活動中止
8月	活動中止	2月	活動中止
9月	活動中止	3月	活動中止

華道クラブ活動報告						
活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人員	0名	担当：
【活動報告】						
1) 新型コロナウイルス感染予防の為クラブ活動中止。						
【月別活動報告】						
月	内 容			月	内 容	
4月	新型コロナ予防対応でクラブ中止。			10月	新型コロナ予防対応でクラブ中止	
5月	新型コロナ予防対応でクラブ中止			11月	新型コロナ予防対応でクラブ中止	
6月	新型コロナ予防対応でクラブ中止			12月	新型コロナ予防対応でクラブ中止	
7月	新型コロナ予防対応でクラブ中止			1月	新型コロナ対応でクラブ中止	
8月	新型コロナ予防対応でクラブ中止			2月	新型コロナ対応でクラブ中止	
9月	新型コロナ予防対応でクラブ中止			3月	新型コロナ予防対応でクラブ中止。	

水彩画クラブ活動報告						
活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人員	0名	担当：室賀 こそえ
【活動報告】						
1) 新型コロナウイルス感染予防の為クラブ活動中止。						

陶芸クラブ活動報告						
活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人員	0名	講師：川口 由美子
【活動報告】						
新型コロナの影響により活動中止。						

12. 年間行事実施報告

月日	行事名	内容
4月27日	観桜会	5階にて模擬店及び職員余興を楽しむ。
5月 日	日帰りドライブ	新型コロナウイルスの関係で中止。
7月20日	納涼盆踊り大会	5階ホールにて模擬店及び職員、ボランティアの踊りと大正琴を楽しむ。
9月10日	敬老会	午前統括施設長及び福生市長来園にて表彰。祝い膳を楽しむ。
10月19日	文化祭	5階にて模擬店及び作品展示とサックス慰問を楽しむ。
11月7日	焼き芋大会	各フロアにて焼き芋を楽しむ。
12月16日	クリスマス会	昼食行事食。午後は各フロアにてケーキを楽しむ
1月1日	元旦祝膳	昼食は各フロアにて祝膳を楽しむ。午後は手作り神社へ初詣。
2月1日	節分祭	各フロアにて豆まきを実施。
3月3日	ひな祭り	昼食各フロアにて祝膳を楽しむ。余興はフロア毎に実施。

13. 固定資産物品購入・入替 報告

ファンコイル・エアコン入替工事 火災報知器入替工事
 送迎車両入替 2台 吸収式冷温水機入替工事
 シンクロヒーターポンプ入替工事 パソコン入替 スチームコンベクション入替
 まな板殺菌庫入替 電動自転車購入 屋上トランス入替工事 介護ソフト入替

14. 事故報告. ヒヤリ・ハット報告

2階	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折								1				1	2
転倒	3	1	1		1	2	1	4	3	2	2	3	23
転落(ベッド)	2								1	1	1		3
転落(車椅子・椅子)	1								1		2	1	5
ずり落ち(移乗失敗)						2		1					3
剥離・裂傷	1	1	1	1	2							1	7
内出血	1	2	9	12	4	7	3	2	4	1	5	3	49
誤嚥													
異食(誤食)				1		1						2	4
尻もち					2					1			3
徘徊(施設外発見)													
徘徊(施設内発見)													
服薬ミス	1		1										2
その他													
合計	9	4	1 2	14	9	12	4	8	9	5	10	11	107
2階	ヒヤリハット							37件					

3階	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折						1							1
転倒	2	2		1	1	1	1	2			1	1	13
転落(ベッド)													
転落(車椅子・椅子)					1		1		1				3
ずり落ち(移乗失敗)				2	7		3	1	1		1	1	16
剥離・裂傷		1	1		1	1	1	1	1	1		1	9
内出血	2	6	2	1	8	1	6	4	2	2		10	38
誤嚥													
異食(誤食)					2						2	1	5
尻もち	2										2		4
徘徊(施設外発見)													
徘徊(施設内発見)													
服薬ミス					1			1	3	2		1	8
その他	3		1					1	3	2		1	8
合計	9	9	4	4	15	4	12	9	8	5	7	15	101
3階	ヒヤリハット							54件					

4階	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折					1				1		1	1	4
転倒	6	1	1	2	2	3		1		1	2	2	21
転落（ベッド）			1								2		3
転落（車椅子・椅子）	4												4
ずり落ち（移乗失敗）	1	1					1				1		4
剥離・裂傷	1			1	3			1					6
内出血	5	8	6	9	4	5	9	11	8	14	3	3	85
誤嚥													0
異食（誤食）	1												1
尻もち	6	1	2	2	1	1	1	1	2	3	1		21
徘徊（施設外発見）													0
徘徊（施設内発見）													0
服薬ミス										1			1
その他	2				2								4
合計	26	11	10	14	13	9	11	14	11	19	10	6	154
4階	ヒヤリハット						95件						

15. 職員研修報告

【外部研修】

5	19	安全運転管理者定期総会・講習会	出本栄二
5	17	高齢者権利擁護研修	木下とも子
5	15	生活相談員研修	福島由美
7	11	初任者研修	木下とも子
12	19	更新研修	野元剛
3	18	目標達成力向上研修	石部麻美
9	20	介護支援専門員専門研修	日下学
8	3	介護支援専門員専門研修	島田正晃
9	7	高齢者虐待対応研修	白川循
9	12	介護福祉士実習指導者講習	細谷裕貴
10	10	主任介護支援専門員更新研修	新橋和枝
9	26	アクティブ福祉	本田大輝
9	26	アクティブ福祉	細谷裕貴
10	19	主任介護支援専門員研修	大谷真澄
11	28	介護支援専門員専門研修	西尾薫
1	15	生活相談員研修委員会	森田靖仁
2	6	生活相談員リスクマネジメント研修	森田靖仁
3	22	生活相談員研修委員会及び全体会	森田靖仁

【内部研修】

回	月 日	内 容	人数	講師	主 催
1	4月12日	コロナ後遺症/マイオカイン	21	青山顧問医師	衛生委員会
2	5月10日	コロナ5類移行後/腸内環境	14	青山顧問医師	衛生委員会
3	5月16日	移乗（事故）	7	研修委員	実習研修推進委員会
4	5月18日	スキントラブル	6	小川・野口ケアワーカー	デイサービス
5	6月14日	麻疹/光線過敏症/ スモールチェンジ活動	21	青山顧問医師	衛生委員会
6	6月20日	身体拘束/虐待	資料	研修委員	実習研修推進委員会
7	7月12日	カンピロバクター食中毒/痛風	18	青山顧問医師	衛生委員会
8	7月18日	看取りケア	5	研修委員	実習研修推進委員会
9	8月9日	コロナワクチン追加接種	20	青山顧問医師	衛生委員会
10	8月24日	介護における接遇 （メンタルヘルス）	22	（株）リブドゥ 福野初夫	実習研修推進委員会
11	9月13日	夏場でのインフル/睡眠/夏バテ	17	青山顧問医師	衛生委員会
12	9月19日	認知症/倫理/虐待	資料	研修委員	実習研修推進委員会
13	10月18日	咽頭結膜熱/带状疱疹/ 眼精疲労のサイン	20	青山顧問医師	衛生委員会
14	10月21日	ケアカルテ	35	研修委員	実習研修推進委員会
15	11月8日	ペットと人との感染症/ 口呼吸の注意	22	青山顧問医師	衛生委員会
16	11月16日	介護業界のコンプライアンス	資料	研修委員	実習研修推進委員会
17	12月19日	褥瘡について	資料	研修委員	実習研修推進委員会
18	12月20日	インフルエンザ/ 笑いがもたらす効果	27	青山顧問医師	衛生委員会
19	1月10日	副鼻腔炎/脳疲労のデトックス 術	24	青山顧問医師	衛生委員会
20	1月16日	看取りについて	資料	研修委員	実習研修推進委員会
21	2月4日	嘔吐物処理（4F）	資料	感染症委員・研修委員	実習研修推進委員会
22	2月20日	介護事故について	資料	研修委員	実習研修推進委員会
23	2月28日	加湿器肺/感染性胃腸炎/ メンタルヘルスと栄養	25	青山顧問医師	衛生委員会
24	3月13日	体温と免疫力向上/ プラネタリーヘルス	24	青山顧問医師	衛生委員会
25	3月19日	緊急時の対応（AED）加美町会参 加	17	福生消防署	実習研修推進委員会

今年度は新型コロナウイルスも5月より5類となり、研修の活発化を図りたいところではあったが、施設内での感染症対応などで、研修を行う時間が限れてしまったという事もあり、資料を用いた研修が多くなっていた。

また、ノロウイルス感染症が蔓延してしまったことがあったが、研修の時期が遅れてしまっていた。その為、参加できていない職員もおり、認識不足の面が見られた。

課題として流行時期の前に優先的研修として組み込んで次年度につなげていきたい。

人材に限られている中、多職種で連携し、施設内外の研修に取り組み各自で学ぶ事に努めていた。

地域住民参加型研修では、感染症予防対策を掲げ協同でのチーム演習が実施できたことで、より深い交流に結びつく結果となった。

感染症に限らず各フロア毎に現状の利用者へのケアを見つめつつ、各課題に沿った研修を実施した。特に専門家の先生からの指導や知識・手段方法に関して新たな学びになったとの職員の声が多く聞かれた。

16. ボランティア受入の状況

月	日	曜日	行事名	人数	業務内容	依頼先	
4	1	土	園外清掃	1	草むしり、掃き掃除等	FC GONA	
	2	日	園外清掃	1	草むしり、掃き掃除等	FC GONA	
	3	月	園外清掃	1	草むしり、掃き掃除等	FC GONA	
	4	火	園外清掃	1	草むしり、掃き掃除等	FC GONA	
	5	水	園外清掃	1	草むしり、掃き掃除等	FC GONA	
	6	木	園外清掃	1	草むしり、掃き掃除等	FC GONA	
	7	金	園外清掃	1	草むしり、掃き掃除等	FC GONA	
	8	土	園外清掃	1	草むしり、掃き掃除等	FC GONA	
	9	日	園外清掃	1	草むしり、掃き掃除等	FC GONA	
	10	月	園外清掃	1	草むしり、掃き掃除等	FC GONA	
	10	月	書道ボランティア	2	書道レク補助	個人	
	11	火	園外清掃	1	草むしり、掃き掃除等	FC GONA	
	12	水	園外清掃	1	草むしり、掃き掃除等	FC GONA	
	13	木	園外清掃	1	草むしり、掃き掃除等	FC GONA	
	14	金	園外清掃	1	草むしり、掃き掃除等	FC GONA	
	15	土	園外清掃	1	草むしり、掃き掃除等	FC GON	
	28	金	水彩画ボランティア	1	水彩画レク補助	個人	
	5	8	月	書道ボランティア	3	書道レク補助	個人
		26	金	水彩画ボランティア	1	水彩画レク補助	個人
	6	5	月	歌ボランティア	6	歌レク補助	セツブン草の会
11		日	介護補助	13	配膳準備等	FC GONA	
11		日	介護補助	2	配膳準備等	個人	
12		月	書道ボランティア	3	書道レク補助	個人	
19		月	折り紙ボランティア	6	折り紙レク補助等	セツブン草の会	
23		金	水彩画ボランティア	1	水彩画レク補助	個人	
7		3	月	歌ボランティア	6	歌レク補助	セツブン草の会
7	10	月	書道ボランティア	3	書道レク補助	個人	
	20	木	大正琴	8	納涼祭演奏等	個人	
	20	木	踊り	7	納涼祭披露	個人	
	22	土	体験ボランティア	2	初任者研修	個人	
	27	木	体験ボランティア	3	初任者研修	個人	
	28	金	水彩画ボランティア	1	水彩画レク補助	個人	
	8	2	水	介護補助	1	下膳・食器洗い等	個人
		3	木	介護補助	1	下膳・食器洗い等	個人
		4	金	介護補助	1	下膳・食器洗い等	個人
		5	土	介護補助	1	下膳・食器洗い等	個人
6		日	介護補助	1	下膳・食器洗い等	個人	
7		月	折り紙ボランティア	6	折り紙レク補助等	セツブン草の会	
14		月	書道ボランティア	3	書道レク補助	個人	
21		月	折り紙ボランティア	6	折り紙レク補助等	セツブン草の会	
25	金	水彩画ボランティア	1	水彩画レク補助	個人		
9	4	月	折り紙ボランティア	6	折り紙レク補助等	セツブン草の会	
	11	月	書道ボランティア	3	書道レク補助	個人	
	22	金	水彩画ボランティア	1	水彩画レク補助	個人	
10	9	月	書道ボランティア	2	書道レク補助	個人	
10	16	月	歌ボランティア	6	歌レク補助等	セツブン草の会	

11	6	月	折り紙ボランティア	6	折り紙レク補助等	セツブン草の会
	13	月	書道ボランティア	3	書道レク補助	個人
	20	月	歌ボランティア	5	歌レク補助等	セツブン草の会
12	4	月	折り紙ボランティア	5	折り紙レク補助等	セツブン草の会
	18	月	歌ボランティア	6	歌レク補助等	セツブン草の会
	25	月	書道ボランティア	3	書道レク補助	個人
1	28	木	歌ボランティア	1	歌レク補助等	セツブン草の会
	8	月	書道ボランティア	1	書道レク補助	個人
	25	木	歌ボランティア	6	歌レク補助	セツブン草の会
2	5	月	折り紙ボランティア	1	折り紙レク補助等	セツブン草の会
	10	土	歌ボランティア	1	歌レク補助等	個人
	12	月	書道ボランティア	3	書道レク補助	個人
3	14	水	歌ボランティア	1	歌レク補助等	個人
	15	木	歌ボランティア	1	歌レク補助等	個人
	19	月	折り紙ボランティア	5	折り紙レク補助等	セツブン草の会
	21	水	歌ボランティア	1	歌レク補助等	個人
	23	金	歌ボランティア	1	歌レク補助等	個人
	4	月	折り紙ボランティア	5	折り紙レク補助等	セツブン草の会
	5	火	歌ボランティア	1	歌レク補助等	個人
	11	月	書道ボランティア	2	書道レク等	個人
	12	火	歌ボランティア	1	歌レク補助等	個人
	18	月	歌ボランティア	5	歌レク補助等	セツブン草の会
	22	金	歌ボランティア	1	歌レク補助等	個人
	23	土	歌ボランティア	1	歌レク補助等	個人
	26	火	歌ボランティア	1	歌レク補助等	個人
	27	水	歌ボランティア	1	歌レク補助等	個人
	29	金	歌ボランティア	1	歌レク補助等	個人

17. 慰問受入状況

※ 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、感染予防策として行事以外は受け入れ中止。

月日	慰問者名	人数	行事名等	内容

18. 実習生及び職場体験生徒受入状況

月	期間	実習依頼先	人数	実習内容及び目的
R5 7月	7/30～8/4(5日)	多摩リハビリテーション専門学校	3	介護福祉 1-I
"	7/31～9/11(30日)	"	2	介護福祉 II
"	7/18～8/31	武蔵野大学	1	社会福祉
"	7/24～8/25	東京福祉大学	1	社会福祉
8月	8/14～8/18(5日)	多摩リハビリテーション専門学校	3	介護福祉 1-I
9月	9/20～9/22	福生第二中学校	3	職場体験
10月	10/19～10/20	青梅泉中学校	3	"
R6. 1月	1/15～2/8(18日)	多摩リハビリテーション学院専門学校	6	介護福祉 1-III

19. 消防訓練実施結果

令和5年度は、新型コロナの影響によって訓練実施が厳しい状況であった。
しかし福生市との協定による避難訓練が継続的に実施できた事は良かったと思われる。
そうしたことで、施設全体に防災の意識付けが出来た。

令和5年度訓練内容

日 時	訓練種別	内 容
4月	新型コロナ の為中止	
5月	新型コロナ の為中止	
6月	新型コロナ の為中止	
7月	消防審査会 説明会	新型コロナの為中止
8月	消防審査会 参加訓練	新型コロナの為中止
9月	新型コロナ の為中止	
10月24日	総合訓練	自衛消防訓練効果確認。
11月	新型コロナ の為中止	
12月	防火管理 打ち合わせ	BCPの見直し（防火管理メンバーの見直し）
1月	新型コロナ の為中止	
2月	新型コロナ の為中止	
3月11日	避難訓練	首都直下地震が発生した想定で福生市との協定により当施設が福祉避難所に指定されている為、福生市と第2サンシャインビル合同でパーテーション及び段ボールベットの設置訓練を実施しました。
3月20日	総合訓練	加美町会との合同訓練として、消防署署員に来園並びに指導して頂き AED 実施体験訓練を行う。 BCPに基づく炊き出し訓練を実施しました。

20. ショートステイ事業報告

令和5年度は、6月にベッド転換にて定員10床となり、以降、目標稼働率80%（8名/日）として運営努力した。この目標に対し、新型コロナやノロウイルス等の感染症拡大の影響により、ショートステイの入所制限される日が多かったため、年間稼働実績は34.7%という結果であった。利用者獲得に向けさらに努力していきたい。

令和6年度も引き続き、稼働率80.0%、8.0名/日の目標設定をし、稼働率の安定と向上に努めたい。

人件費・直接介護支出・一般管理支出・施設管理費用は併設特養と按分しています。

【令和5年度ショートステイ事業活動実績報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	Total
利用者数	15	14	7	12	11	8	9	8	11	10	8	8	121
経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護度1	1	1	3	3	3	1	1	2	2	2	1	2	22
要介護度2	0	0	0	1	1	2	2	2	2	1	0	1	12
要介護度3	9	10	3	5	4	4	5	4	6	4	4	3	61
要介護度4	4	2	0	2	3	1	1	0	1	3	3	2	22
要介護度5	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
延利用日数	273	140	32	97	80	109	142	68	108	111	134	106	1,400
経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護度1	3	3	12	11	9	2	5	4	13	8	6	9	85
要介護度2	0	0	0	2	2	24	33	24	13	19	0	5	122
要介護度3	171	109	18	55	43	53	85	40	69	58	63	33	797
要介護度4	69	27	0	19	26	30	19	0	13	26	65	59	335
要介護度5	30	1	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	43
平均ベッド稼働数	9.10	4.52	1.07	3.13	2.58	3.63	4.58	2.27	3.48	3.58	4.79	3.42	年平均 3.85

【ショートステイ利用日数状況調査（年間）】

	1日～2日	3日～5日	6日～10日	11日～15日	16日～20日	21日以上	合計
4月	0	2	2	4	0	7	15
5月	4	4	2	0	1	3	14
6月	2	4	0	1	0	0	7
7月	1	6	2	1	1	1	12
8月	5	3	1	0	0	2	11
9月	2	0	2	1	0	3	8
10月	1	2	1	1	1	3	9
11月	1	1	4	0	0	1	7
12月	1	1	6	2	0	1	11
1月	0	2	6	0	1	1	10
2月	0	1	2	1	1	3	8
3月	0	2	2	2	0	2	8
合計	17	28	30	13	5	27	120
	14.4%	23.7%	25.0%	11.0%	4.2%	22.9%	100.0%

*前月から引き続いて入所されている場合は、入所月にカウントしています。

2023 年度

通所介護事業

(併設型通所介護事業)

(総合事業通所介護事業)

(高齢者生きがい活動支援デイサービス)

事業報告書

社会福祉法人福陽会

高齢者在宅サービスセンター加美

- ・通所事業（併設型通所介護事業・総合事業）

事業報告（総括）

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することを目指して活動してまいりました。

今年度は、感染症の影響もなく計画していた行事（季節業務含む）を滞る事なく実施する事が出来た。また実習生を7月、8月にかけて計6名10日間、青梅市立泉中学校の福祉体験学習で計2名2日間の受け入れを行いました。さらに5月からは毎月1～2回ボランティアによる演奏会や、ボランティアの方との歌唱、折り紙での工作を行う等、外部からの刺激を取り入れる事で、とても活発な活動を行う事が出来、利用者満足度へ貢献する事が出来た。今後も活気ある活動を継続してまいります。

【事業計画達成状況】

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することができたが、今年度の利用者数は、昨年度比5.3%減となり、1日平均で1.3人減と目標を達する事が出来ませんでした。職員不足による影響から営業活動が十分に出来なかった事が要因の一つであったため、次年度は人員を充足させ営業活動を行う時間を確保し、利用者数増に向けて取り組んでいくものとします。

・職員配置（3月31日現在）

併設型通所介護 総合事業

職種	常勤		非常勤	
	人数	専任・兼務状況	人数	専任・兼務状況
管理者	1人	他事業を兼務		
生活相談員	2人	内1人は介護職兼務	2人	介護職を兼務
介護職員	2人	内1人は生活相談員兼務	14人	内2人は生活相談員兼務
看護職員	0人		3人	機能訓練指導員を兼務
機能訓練指導員	0人		3人	看護職員を兼務
調理員	必要数			
運転手	必要数		必要数	全利用日送迎時間帯に勤務
事務職員	1人	他事業を兼務		

併設型通所介護事業 月別延べ利用者数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
前年度	710	699	697	677	712	696	705	665	645	604	629	730	8,169
今年度	681	710	674	665	673	578	675	669	658	591	585	635	7,794
要介護1	27	26	25	227	237	198	251	249	245	212	207	250	2,154
要介護2	21	25	24	211	210	184	219	219	208	201	215	222	1,959
要介護3	18	18	16	180	170	158	164	157	163	136	130	126	1,436
要介護4	5	6	6	35	43	36	41	44	42	42	33	37	370
要介護5	2	2	1	12	13	2	0	0	0	0	0	0	32
今年度-前年度	-29	11	-23	-12	-39	-118	-30	4	13	-13	-44	-95	-375

併設型通所介護 一日平均利用者数

単位：

人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
平均利用者数 ① ÷ ②	27.24	26.30	25.92	25.58	24.93	22.23	25.96	25.73	25.31	24.63	24.38	24.42	25.22
延べ利用者数 ①	681	710	674	665	673	578	675	669	658	591	585	635	7,794
開所日数 ②	25	27	26	26	27	26	26	26	26	24	24	26	309

日常生活支援総合事業 月別延べ利用者数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
前年度	30	36	34	36	36	36	31	22	21	20	20	21	343
今年度	20	23	22	21	23	18	21	21	21	22	23	25	260
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	4	10
要支援2	3	3	3	3	3	3	21	21	21	20	19	21	141
今年度-前年度	-10	-13	-12	-15	-13	-18	-10	-1	0	2	3	4	-83

日常生活支援総合事業 一日平均利用者数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
平均利用者数 ① ÷ ②	0.80	0.85	0.85	0.81	0.85	0.69	0.81	0.81	0.81	0.92	0.96	0.96	0.84
延べ利用者数 ①	20	23	22	21	23	18	21	21	21	22	23	25	260
開所日数 ②	25	27	26	26	27	26	26	26	26	24	24	26	309

研修報告

東京都社会福祉協議会開催の研修、施設内研修等の参加を推進し介護職員のスキル向上を目指した。

研修実施記録については第2サンシャインビラ事業報告書を参照のこと。

【施設設備改善及び備品購入報告について】

- ① 物品購入実績 送迎車両1台入替
- ② 施設における共通経費は併設第2サンシャインビラと按分

【高齢者生きがい活動支援デイサービス 事業報告】

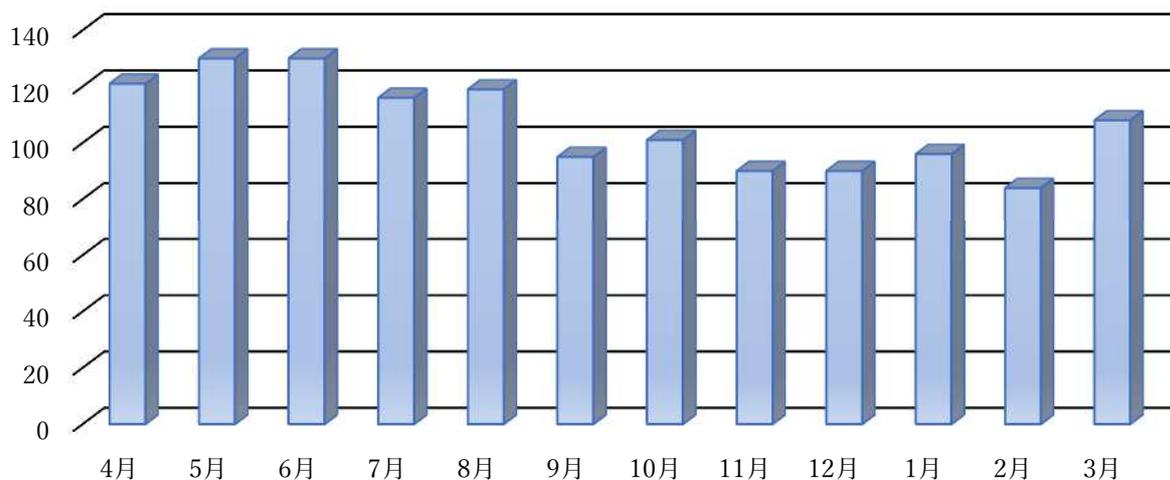
福生市からの委託事業で、おおむね65歳以上の自立の高齢者を対象に、生きがいづくりや心身機能の維持向上、介護予防及び閉じこもり防止を目的として事業活動を行った。なお利用者数は、介護保険へ切り替わる人が増えた影響で、前年対比で11.3%減、1ヶ月平均14人程の減少となった。

高齢者生きがい活動支援デイサービス延べ利用人員実績簿(第2サンシャインビラ)

単位：人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
利用人員	121	130	130	116	119	95	101	90	90	96	84	108	1280

高齢者生きがい活動支援デイサービス事業利用人員
(第2サンシャインビラ)

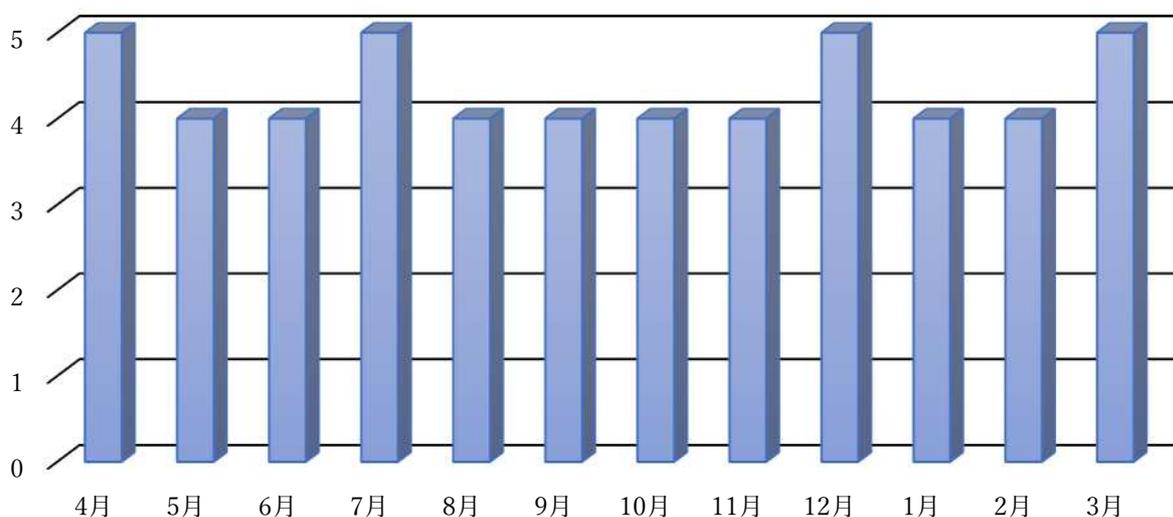


高齢者生きがい活動支援デイサービス入浴サービス(一般浴)延べ利用人員実績簿

単位：人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
利用人員	5	4	4	5	4	4	4	4	5	4	4	5	52

高齢者生きがい活動支援デイサービス事業入浴者人員



ふれあい!

令和5年 4月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736



日	月	火	水	木	金	土
						1日 展望風呂 (午前・午後) 紙血グラグラゲーム 魚釣りゲーム
2日	3日 展望風呂 (午前・午後) タオル山積み ゆらゆら傘	4日 串刺しゲーム 椅子玉乗せ	5日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ コップ投げゲーム	6日 ロボお手玉 ペットボトル起こし	7日 展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ挿し CDカーリング	8日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム 椅子玉乗せ
9日	10日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み カーリングゲーム 書道	11日 輪投げピンゴ スカット玉入れ	12日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム 大砲ボーリング	13日 紙血グラグラゲーム 後ろ向き玉入れ ひまわり美容室	14日 展望風呂 (午前・午後) タオル山積み ペットボトルボーリング	15日 展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム ゆらゆら傘
16日	17日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ 椅子玉乗せ	18日 ロボお手玉 コップ投げゲーム	19日 展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ挿し ペットボトル起こし	20日 割りばしゲーム CDカーリング 誕生食	21日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み 椅子玉乗せ 誕生食	22日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げピンゴ カーリングゲーム 誕生食
23日	24日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム スカット玉入れ	25日 紙血グラグラゲーム 大砲ボーリング	26日 展望風呂 (午前・午後) タオル山積み 後ろ向き玉入れ	27日 串刺しゲーム 観桜会	28日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ 魚釣りゲーム 水彩画	29日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 コップ投げゲーム
30日					移動美容室	昭和三十九日

卯月…春眠暁を覚えずと申します通り、心地よい季節になりました。

『三寒四温』

暖かい日には少しずつ身体を動かして、“温”の食材を摂り入れながら体の中も温めて下さい。

- ☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ☆ 新型コロナウイルス感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ☆ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます。
- ☆ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。





令和5年 5月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736



日	月	火	水	木	金	土
	1日	2日	3日	4日	5日	6日
	展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)
	紙血グラグラゲーム	タオル山積み	串刺しゲーム	お手玉積み上げ	ロボお手玉	数えてペグ挿し
	椅子玉寄せ	コップ投げゲーム	ペットボトル起こし	CDカーリング	大正琴慰問	カーリングゲーム
7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日
	展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)
	割りばしゲーム	ヤクルト山積み	輪投げビンゴ	田植えゲーム	お手玉ゲーム	紙血グラグラゲーム
	みんなで歌おう	大砲ボーリング	後ろ向き玉入れ	ペットボトルボーリング	ゆらゆら傘	魚釣りゲーム
	書道			ひまわり美容室		
14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
	展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)
	タオル山積み	串刺しゲーム	お手玉積み上げ	ロボお手玉	数えてペグ挿し	割りばしゲーム
	スカット玉入れ	椅子玉寄せ	コップ投げゲーム	ペットボトル起こし	CDカーリング	大砲ボーリング
21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日
	展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)
	ヤクルト山積み	輪投げビンゴ	田植えゲーム	お手玉ゲーム	紙血グラグラゲーム	タオル山積み
	カーリングゲーム	後ろ向き玉入れ	ペットボトルボーリング	ゆらゆら傘	みんなで歌おう	スカット玉入れ
					水彩画	
28日	29日	30日	31日			
	展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)			
	串刺しゲーム	お手玉積み上げ	ロボお手玉			
	コップ投げゲーム	ペットボトル起こし	CDカーリング			
	誕生食	誕生食	誕生食			

皐月…つつじがにぎやかな色で咲き乱れる季節になりました。

熱中症は真夏のみ起こるものではありません。5~6月の暑い日にも熱中症に陥るリスクがあり、注意が必要です!! こまめな水分補給を行って下さい。

- ☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ☆ 新型コロナウイルス感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ☆ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます。
- ☆ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。



ふれあい

令和5年 6月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736



日	月	火	水	木	金	土
				1日	2日	3日
				紙皿グラグラゲーム コップ投げゲーム	展望風呂 (午前・午後) タオル山積み ペットボトル起こし	展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム CDカーリング
4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日
	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ セツブン草		展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ挿し 大砲ボーリング		展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み ペットボトルボーリング	展望風呂 (午前・午後) 輪投げピンゴ 大正琴慰問
11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日
	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム みんなで歌おう 書道		展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム 魚釣りゲーム		展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム 椅子玉寄せ	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ コップ投げゲーム
18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日
	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 セツブン草 梅雨		展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ挿し CDカーリング		展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み 大砲ボーリング	展望風呂 (午前・午後) 輪投げピンゴ みんなで歌おう 移動美容室 水彩画
25日	26日	27日	28日	29日	30日	
	展望風呂 (午前・午後) お手玉ゲーム 後ろ向き玉入れ		展望風呂 (午前・午後) タオル山積み ゆらゆら傘		展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム 魚釣りゲーム スカット玉入れ	

水無月…梅雨空のうっとうしいこの頃、お障りなくお過ごしでしょうか？

暑さや喉の渇きを自覚しづらく、暑いと感じるほど高温の部屋でも、暑さに気付かず長時間過ごしてしまい熱中症になることがあります。気温に対しての適正な服装を考え自室での室温コントロールを行って熱中症に注意していきましょう。

- ☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ☆ 新型コロナウイルス感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ☆ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落したり汚れた場合、交換が出来ます。
- ☆ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。



ふれあい 令和5年 7月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

日	月	火	水	木	金	土
						1日
						展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ カーリングゲーム
2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日
	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 ヤリファン卓	教えてペグ挿し 大砲ポーリング	展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム 後ろ向き玉入れ	ヤクルト山積み ペットボトルポーリング	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ ゆらゆら傘	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム 魚釣りゲーム
9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日
	展望風呂 (午前・午後) お手玉ゲーム みんなで歌おう 書道	紙皿グラグラゲーム スカット玉入れ	展望風呂 (午前・午後) タオル山積み 椅子玉寄せ	串刺しゲーム コップ投げゲーム ひまわり美容室	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ ペットボトル起こし	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 CDカーリング
16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日
	展望風呂 (午前・午後) 教えてペグ挿し カーリングゲーム	割りばしゲーム 後ろ向き玉入れ	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み ペットボトルポーリング	輪投げビンゴ 納涼盆踊り大会	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム 魚釣りゲーム	展望風呂 (午前・午後) お手玉ゲーム カラオケ
23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日
	展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム スカット玉入れ 誕生食	タオル山積み 椅子玉寄せ 誕生食	展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム コップ投げゲーム 誕生食	お手玉積み上げ ペットボトル起こし	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 みんなで歌おう 水彩画 移動美容室	展望風呂 (午前・午後) 教えてペグ挿し 椅子玉寄せ
30日	31日					
	展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム 後ろ向き玉入れ					

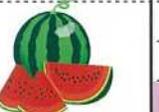
文月…うだるような暑さが続く毎日、いかがお過ごしですか？
 熱中症は夏場に多く発生しますが、梅雨が明けて蒸し暑い日が続く7月は、身体が暑さに慣れていないため熱中症になりやすい時期です。こまめな水分・塩分補給を心掛けましょう。

- ☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ☆ 新型コロナウイルス予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ☆ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落とし汚れた場合、交換が出来ます。
- ☆ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。

ふれあい!

令和5年 8月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

日	月	火	水	木	金	土
		1日	2日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム 後ろ向き玉入れ	3日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み カラオケ	4日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ ゆらゆら傘	5日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム 魚釣りゲーム お手玉ゲーム スカット玉入れ
6日		7日 展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム セツブン草	8日 展望風呂 (午前・午後) タオル山積み 椅子玉寄せ	9日 展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム コップ投げゲーム	10日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ ペットボトル起こし ひまわり美容室	11日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 CDカーリング
13日	14日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム みんなで歌おう 書道	15日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み ペットボトルボーリング	16日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ ゆらゆら傘 ドライブ	17日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム 魚釣りゲーム ドライブ	18日 展望風呂 (午前・午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ ドライブ	19日 展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム 椅子玉寄せ ドライブ
20日	21日 展望風呂 (午前・午後) タオル山積み セツブン草 	22日 展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム コップ投げゲーム 	23日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ ペットボトル起こし 	24日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 CDカーリング 誕生食	25日 展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ挿し みんなで歌おう 水彩画 移動美容室 誕生食	26日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム 後ろ向き玉入れ 誕生食
27日	28日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み カーリングゲーム	29日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ ゆらゆら傘	30日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム カラオケ	31日 展望風呂 (午前・午後) お手玉ゲーム スカット玉入れ		

葉月…真夏の日差しが照りつける中、ヒマワリが空を仰いでおります。

夏バテの一因は、食欲が落ちること。食欲を増進させるメニューを選び、十分な栄養補給をすることが重要です。夏こそ温かい食事を摂り、常温や温かい飲み物を飲むようにして胃腸を守りましょう。

予定が変更になる事もございますのでご了承下さい。

- ☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ☆ 新型コロナウイルス感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ☆ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます。
- ☆ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。



ふれあい

令和5年 9月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

日	月	火	水	木	金	土
					1日 展望風呂 (午前・午後) お手玉ゲーム 椅子玉寄せ	2日 展望風呂 (午前・午後) 紙血グラグラゲーム コップ投げゲーム
3日	4日 展望風呂 (午前・午後) タオル山積み セツブン草	5日 串刺しゲーム ペットボトル起こし	6日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ カラオケ	7日 ロボお手玉 カーリングゲーム ひまわり美容室	8日 展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ挿し 後ろ向き玉入れ	9日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム ゆらゆら傘
10日	11日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み みんなで歌おう 書道	12日 輪投げビンゴ スカット玉入れ	13日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム CDカーリング	14日 お手玉ゲーム 椅子玉寄せ	15日 展望風呂 (午前・午後) 紙血グラグラゲーム ペットボトルボーリング	16日 展望風呂 (午前・午後) タオル山積み お魚釣りゲーム
17日	18日 展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム 敬老会 	19日 お手玉積み上げ コップ投げゲーム	20日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 ペットボトル起こし	21日 数えてベグ挿し CDカーリング	22日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム みんなで歌おう 水彩画 移動美容室	23日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み カーリングゲーム
24日	25日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ 後ろ向き玉入れ 誕生食	26日 田植えゲーム ゆらゆら傘 誕生食	27日 展望風呂 (午前・午後) お手玉ゲーム 椅子玉寄せ 誕生食	28日 紙血グラグラゲーム スカット玉入れ	29日 展望風呂 (午前・午後) タオル山積み CDカーリング	30日 展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム カラオケ

長月…とても楽しみな、味覚の秋となりました。

9月に入り体には夏の疲れが溜まっているうえ、昼夜の気温変化も厳しくなります。季節の変わり目には、しっかりと体調管理をしないと「冷え」による思いがけない体調不良につながります。

予定が変更になる事もございますのでご了承下さい。

- ☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ☆ 新型コロナウイルス予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ☆ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます。
- ☆ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。



ふれあい!

令和5年10月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736



日	月	火	水	木	金	土
1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
	展望風呂 (午前・午後) お手玉ゲーム CDカーリング	紙皿グラグラゲーム 椅子玉乗せ	展望風呂 (午前・午後) タオル山積み コップ投げゲーム	展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム ペットボトル起こし	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ カーリングゲーム	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 カラオケ
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
	展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ挿し カラオケ 書道	割りばしゲーム ゆらゆら傘	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み スカット玉入れ	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ CDカーリング ひまわり美容室	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム 椅子玉乗せ	展望風呂 (午前・午後) お手玉ゲーム ペットボトルボーリング
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
	展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム セツブン草	タオル山積み お魚釣りゲーム	展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム CDカーリング	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ 椅子玉乗せ 文化祭	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 コップ投げゲーム	展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ挿し ペットボトル起こし
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
	展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム カーリングゲーム 誕生食	ヤクルト山積み 後ろ向き玉入れ 誕生食	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ ゆらゆら傘 誕生食	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム スカット玉入れ	展望風呂 (午前・午後) お手玉ゲーム みんなで歌おう 水彩画 移動美容室	展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム CDカーリング
29日	30日	31日				
	展望風呂 (午前・午後) タオル山積み 椅子玉乗せ	串刺しゲーム ペットボトルボーリング				

神無月…秋になって昼間の暑さも一段落して、心地よい晴天の日も増え、何をすることも過ごしやすく、いい時期になってきました。
秋特有の自然環境の変化にきちんと対応しながら、体調を崩さずにしっかりと乗り切るための
“意識や備え”を、常日頃から心掛けておきましょう。

予定が変更になる事もございますのでご了承下さい。

- ☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ☆ 新型コロナウイルス予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ☆ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます。
- ☆ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。





日	月	火	水	木	金	土
	November 11月 		1日 展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム カーリングゲーム	2日 お手玉積み上げ ゆらゆら傘	3日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 スカット玉入れ	4日 展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ押し CDカーリング
5日	6日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム セツブン草	7日 ヤクルト山積み 椅子玉寄せ 焼き芋大会	8日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げピンゴ ペットボトルボーリング	9日 田植えゲーム お魚釣りゲーム ひまわり美容室	10日 展望風呂 (午前・午後) お手玉ゲーム コップ投げゲーム	11日 展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム カラオケ
12日	13日 展望風呂 (午前・午後) タオル山積み みんなで歌おう 書道	14日 串刺しゲーム ペットボトル起こし	15日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ 後ろ向き玉入れ	16日 ロボお手玉 カーリングゲーム	17日 展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ押し ゆらゆら傘	18日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム スカット玉入れ
19日	20日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み セツブン草 	21日 田植えゲーム CDカーリング	22日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げピンゴ 椅子玉寄せ 	23日 お手玉ゲーム ペットボトルボーリング お誕生日 誕生食	24日 展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム カラオケ 水彩画 移動美容室 誕生食	25日 展望風呂 (午前・午後) タオル山積み お魚釣りゲーム HAPPY BIRTHDAY 誕生食
26日	27日 展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム コップ投げゲーム 	28日 お手玉積み上げ 後ろ向き玉入れ 	29日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 カーリングゲーム 	30日 数えてベグ押し ゆらゆら傘 		

霜月…最近は気候が様々で10月でもだいぶ暖かい日があつたりしますが、暦の上では11月から『冬』に入ります。
野菜や果物をたくさん食べることで免疫力を高め、加工食品を避けることで健康な体を維持することができます。また水をたくさん飲んで水分補給をすることも大切です。

予定が変更になる事もございますのでご了承下さい。

- ☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ☆ 新型コロナウイルス感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ☆ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落とし汚れた場合、交換が出来ます。
- ☆ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。



ふれあい 令和5年12月の予定 在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

日	月	火	水	木	金	土
					1日 展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム スカット玉入れ	2日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ ゆらゆら傘
3日	4日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 セツブン草	5日 数えてベグ挿し CDカーリング	6日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム スマートボール	7日 ヤクルト山積み ペットボトルボーリング	8日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム お魚釣りゲーム	9日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ カラオケ
10日	11日 展望風呂 (午前・午後) タオル山積み スマートボール	12日 串刺しゲーム ペットボトル起こし	13日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ 後ろ向き玉入れ	14日 ロボお手玉 カーリングゲーム ひまわり美容室	15日 展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ挿し みんなで歌おう 水彩画	16日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム 大砲ボーリング クリスマス食
17日	18日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み セツブン草	19日 田植えゲーム 福生ひよっとこ連	20日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ 歌と踊りのショー	21日 タオル山積み ゆらゆら傘	22日 展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム Xmas演奏会 移動美容室	23日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ クリスマス演奏会 大正琴慰問
24日	25日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 カラオケ 書道	26日 数えてベグ挿し CDカーリング	27日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム スマートボール	28日 ヤクルト山積み ペットボトルボーリング	29日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム お魚釣りゲーム	30日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ コップ投げゲーム
31日	年明けは4日(木)から開所します。					

師走 いよいよ本格的な冬将軍の到来です。
日頃の感染予防対策を継続しながら、こまめな水分補給と栄養たっぷりの食事に睡眠、軽い運動を行いながら新しい年をお迎え下さい。

- ☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ☆ 新型コロナウイルス予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ☆ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます。
- ☆ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。



※12月より連絡帳の書式が変わりますのでご了承下さい。

ふれあい 令和6年1月の予定 在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

日	月	火	水	木	金	土
	1日 	2日 	3日 	4日	5日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ CDカーリング	6日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 椅子玉寄せ
7日	8日 展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ挿し カラオケ 書道	9日 割りばしゲーム ペットボトルボーリング	10日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み お魚釣りゲーム	11日 田植えゲーム スマートボール ひまわり美容室	12日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ コップ投げゲーム	13日 展望風呂 (午前・午後) タオル山積み ペットボトル起こし
14日	15日 展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム セツブン草	16日 お手玉積み上げ 後ろ向き玉入れ	17日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 カーリングゲーム	18日 数えてベグ挿し みんなで歌おう	19日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム 大砲ボーリング	20日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み ゆらゆら傘
21日	22日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム CDカーリング 	23日 輪投げビンゴ 椅子玉寄せ 	24日 展望風呂 (午前・午後) タオル山積み ペットボトルボーリング 	25日 串刺しゲーム お魚釣りゲーム 誕生食	26日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ カラオケ 水彩画 移動美容室 誕生食	27日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 スマートボール 誕生食
28日	29日 展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ挿し コップ投げゲーム	30日 割りばしゲーム ペットボトル起こし	31日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み スマートボール			

1月1日～3日までデイサービスはお休みです。

新年あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。

- ☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ☆ 感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ☆ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます。
- ☆ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。



ふれあい!

令和6年2月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736



日	月	火	水	木	金	土
				1日	2日	3日
				ロボお手玉 CDカーリング	展望風呂 (午前・午後) 教えてペグ押し 椅子球寄せ	展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム 節分祭
4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日
	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み セツブン草 (折り紙)	田植えゲーム お魚釣りゲーム	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ スマートボール	タオル山積み コップ投げゲーム ひまわり美容室	展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム ペットボトル起こし	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ 後ろ向き玉入れ
11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日
	展望風呂 (午前・午後) 教えてペグ押し ペットボトルボーリング 書道	割りばしゲーム カーリングゲーム	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み みんなで歌おう	タオル山積み 田植えゲーム 大砲ボーリング	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ ゆらゆら傘	展望風呂 (午前・午後) タオル山積み CDカーリング
18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日
	展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム セツブン草 (歌)	お手玉積み上げ ペットボトルボーリング	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 お魚釣りゲーム	展望風呂 (午前・午後) 教えてペグ押し スマートボール	展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム カラオケ 水彩画 移動美容室	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み コップ投げゲーム
25日	26日	27日	28日	29日		
	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム ペットボトル起こし 誕生食	輪投げビンゴ 後ろ向き玉入れ 誕生食	展望風呂 (午前・午後) タオル山積み 大砲ボーリング 誕生食	割りばしゲーム ゆらゆら傘		

暦の上では立春を迎える2月。とはいえまだまだ真冬日を記録することもある、寒さ厳しい季節です。このような時季に気を付けたいのが『ヒートショック』。ヒートショックとは、気温の低い屋外から暖かい部屋、暖かい部屋から寒い部屋への移動などによる急激な環境温度の変化によって、血圧が上下に大きく変動することをきっかけとして起こる、健康被害の総称です。

- ★ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ★ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ★ 感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ★ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます。
- ★ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。



ふれあい!

令和6年3月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736



日	月	火	水	木	金	土
					1日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 ひな祭り	2日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み 魚釣りゲーム
3日	4日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム セツブン草 (折り紙)	5日 輪投げビンゴ 高校生と一緒に 歌おう	6日 展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム CDカーリング	7日 タオル山積み 高校生と一緒に 歌おう	8日 展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ挿し 椅子玉乗せ	9日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム スマートボール
10日	11日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ カラオケ 書道	12日 ロボお手玉 ペットボトル起こし	13日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み カーリングゲーム	14日 田植えゲーム コップ投げゲーム ひまわり美容室	15日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ 大砲ボーリング	16日 展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム ゆらゆら傘
17日	18日 展望風呂 (午前・午後) タオル山積み セツブン草 (歌)	19日 数えてベグ挿し CDカーリング	20日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム ペットボトルボーリング	21日 お手玉積み上げ 後ろ向き玉入れ	22日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み スマートボール 移動美容室	23日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム カーリングゲーム
24日	25日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ 魚釣りゲーム	26日 串刺しゲーム 椅子玉乗せ	27日 展望風呂 (午前・午後) タオル山積み 大砲ボーリング	28日 数えてベグ挿し ペットボトル起こし	29日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム カラオケ 水彩画	30日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ コップ投げゲーム
31日						

季節の変わり目にご注意を！～春の体調不良の予防と対策

1.食事は欠食なく、バランスよく摂りましょう。 2.こまめに身体を動かしましょう。 3.入浴はシャワーだけではなく、湯船につかりましょう。 4.睡眠をしっかりととりましょう。 5.衣服で温度調節をしましょう。

- ★ 誕生日の日はお誕生月の方のお祝いとして、屋食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ★ 感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ★ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをパックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます。
- ★ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。



2023年度

指定居宅介護支援事業
事業報告書

社会福祉法人福陽会

介護プランセンターサンシャインビラ

事業報告

- 本年度は年間延べ2,457件（前年度2,598件）のケアプラン作成業務を行った。
- 福生市等からの委託業務である介護予防ケアプラン作成受託業務等を積極的に行った。
- 併設事業である、訪問介護・通所介護・短期入所生活介護等への情報提供を積極的に行い、併設事業の人員確保に努めた。情報提供では連絡事項を文書化し、これにより適切かつ円滑な連絡につとめた。
- 利用者個別ファイルを作成し、契約～アセスメント～ケアプラン作成～モニタリングと一元管理を徹底した。
- よりよいケアプランを利用者に提供すべく、資質向上・情報収集のため、積極的に研修に参加した。
- 東京都介護支援専門員実務研修実施機関として登録し、実習生を受け入れた。

【事業計画達成状況】

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することができた。年度当初目標を常に心がけ、一年間の事業運営にあたってきた。次年度以降も職員が初心を忘れずに各自が責任を持って業務を遂行していく。

職員配置（3月31日現在）

職名	当センター職員配置人数と氏名（資格）
センター長	1名
管理者	1名（主任介護支援専門員 1名）
介護支援専門員	6名（1）（主任介護支援専門員 1名兼務） （介護支援専門員 5名）

ケアプラン

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
ケアプラン 作成	218	221	217	213	206	204	201	196	195	195	190	201	2,457

要支援受託

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 受託	15	15	14	13	11	10	8	6	5	5	5	6	113

認定調査実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認定 調査	2	3	6	1	1	0	1	2	1	0	1	0	18

研修・会議等出席状況

月 日	研修名称等	出席職員
4 月	事業所内部研修「倫理綱領について」	新橋・大谷・鳥巢・野元・ 江村・日下
	施設見学「介護老人保健施設ユーアイピラ」見学、説明にて施設を学ぶ	野元・江村・日下
	第1回 福生市主任介護支援専門員連絡会	新橋・大谷・江村
5 月	福生市介護保険事業者連絡協議会/研修「ドイツの介護保険に関する視察報告」	新橋・日下・大谷・野元・ 江村・志村
	事業所内研修「電話対応の基本とマナーについて」	新橋・大谷・鳥巢・野元・ 江村・志村・日下
	通所介護サービス提供事業者「あさる野翔裕館」見学、説明にて施設を学ぶ	野元・江村・志村・日下
6 月	事業所内研修「プライバシー保護に関する研修」	新橋・大谷・野元・日下・志村
	第2回 福生市主任介護支援専門員連絡会/事例検討会	新橋・大谷・江村・志村・ 野元・日下
7 月	福生市介護保険事業者連絡協議会/研修「高齢者の食生活を考える」	新橋・大谷・志村・日下
8 月	法人による施設内研修「介護に於ける接遇」	日下・大八木
	西多摩保健所主催/第2回精神定例事例検討会（事例提供）	新橋
	認知症及び認知症ケアに関する研修	新橋・大谷・野元・日下・志村
9 月	地域密着型通所介護「だんらんの家」見学、説明にて施設を学ぶ	新橋・日下・志村
	事業所内研修「成年後見制度」	新橋・大谷・野元・日下・ 志村・大八木
10 月	事業所内部研修「高齢者虐待防止に関する研修」	新橋・大谷・野元・志村・日下 鳥巢・奥村・大八木
	第4回 福生市主任介護支援専門員連絡会/包括主催事例検討会	新橋・野元・奥村・大八木・日 下・志村
11 月	福生市介護保険事業者連絡協議会/研修「リハビリテーション医療を取り巻く社会の変遷」	新橋・大谷・野元・志村・日下 大八木
	福生市地域包括支援センター加美/研修「高齢者の消費生活トラブル」	新橋・大谷・野元・日下・ 志村・大八木・奥村
	西多摩保健所主催/研修「高齢者のアルコール関連問題について」	大八木
	通所介護サービス提供事業者「ツクイ青梅末広町デイサービス」見学、説明にて施設を学ぶ	大谷・野元・志村・奥村・ 大八木・日下
12 月	第5回 福生市主任介護支援専門員連絡会/研修「在宅医療の現場における薬剤師の役割」	新橋・志村・日下・大谷・ 野元・大八木
	福生市介護保険事業者連絡協議会/研修「高齢者の食生活支援、時短メニュー」	新橋・志村・日下
1 月	福生市介護保険事業者連絡協議会/賀詞交換会	新橋・大谷・野元・日下・ 志村・大八木・奥村
2 月	福生市地域包括支援センター武蔵野 事例検討会「おくりびとに学ぶ、終末期からグリーフケアまでの知識」	新橋・野元
	第6回 福生市主任介護支援専門員連絡会/ 包括主催事例検討会（新橋・事例提供）	日下・奥村・大谷・新橋・志村
3 月	併設施設による内部研修 福祉施設避難所	野元・志村・大谷・大八木
	併設施設による内部研修 防災訓練	奥村・日下・志村
	福生市地域包括支援センター加美 地域ケア会議オブザーバー	新橋

※特定事業所加算Ⅱ算定要件による定期的な会議の実施（週1回以上実績）

※新人、介護支援専門員入職時研修実施

※介護支援専門員に対する継続的な個別研修を実施

※東京都介護支援専門員実務研修における実習生の受け入れ

※東京都介護支援専門員研修課程Ⅰ・Ⅱ ※主任介護支援専門員研修 ※主任介護支援専門員更新研修

※他法人との共同研修

令和5年度

福生市地域包括支援センター加美

事業報告書

社会福祉法人 福陽会

【配置職員】

センター長	1名
主任介護支援専門員	1名
社会福祉士	2名
経験のある看護師兼認知症地域支援推進員	1名
第2層生活支援コーディネーター兼事務員	1名

令和5年度は、今まで培ってきた住民とのつながりを大切に、福生市高齢者支援係や高齢者見守りステーション等と関係各所との連携により、住民の保健医療の向上や福祉の増進のため包括的支援に務めた。障害や生活困窮・権利擁護については各関係機関と情報共有や連携を図り多面的支援を行うことができた。地域での包括支援センター加美の知名度も向上し、相談件数も増加した。

なお、高齢者支援係には多方面にわたり相談をさせていただき、的確なアドバイスを受け事業を進めることができた。

事業内容

総合・相談支援事業

・開所日・相談実人数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
開所 日数	24	24	26	25	26	23	15	24	24	23	23	25
相談実 日数	122	113	112	119	134	108	107	106	68	86	96	98

・連絡会

	開催日
地域包括支援センター見守りステーション連絡会	4/28、5/26、6/23、7/21、8/25、9/29 10/27、11/24、12/22、1/26、2/16、3/22
専門員連絡会	開催日
保健師連絡会	4/20、5/11、6/8、7/13、8/10、9/14、 欠、欠、欠、欠、2/8、3/14
主任介護支援専門員連絡会	4/28、5/18、6/23、7/20、8/17、9/22 10/19、11/16、12/11、1/18、2/15、3/21

社会福祉士連絡会	4/18、5/23、6/19、7/18、8/22、9/19 10/17、11/21、欠席、1/16、2/9、3/19
生活支援コーディネーター連絡会	なし、なし、6/21、7/27、8/16、9/20 10/18、11/22、12/19、1/11、2/21、3/13

介護予防リーダー合同連絡会参加:10/2, 11/13, 12/18

【認知症総合支援事業】

- ・介護者相互の交流会<オレンジカフェ加美>】

認知症当事者の方、その方のご家族、支援している方などが、認知症等について日頃の悩みなどを語り合い、交流を深めることができる憩いの場として実施しました。

実施日	会 場	参加者数
7月20日	第2サンシャインビル 5F	6
9月10日	地域包括支援センター加美	2
10月19日	第2サンシャインビル 5F	5

【包括的・継続的ケアマネジメント支援事業】

- ・市内主任介護支援専門員連絡会

介護支援専門員、地域の関係者等、地域における多職種相互の連携を図り、地域課題を把握して問題解決の為の協議を実施しました。また、主任介護支援専門員などのネットワークを運営し、各事業所における個別援助技術の向上に努めました。

実施日	内 容	参加者数(人)
4月 28 日	令和 5 年度の事業について	21
6月 23 日	福生市介護保険係との質疑応答、ケース検討会	20
8月 25 日	ケアマネジャー懇談会 ～医療・介護・行政・その他『推し』の事業所、サービス支援懇談会～	10
10月 27 日	暫定プランについて、事例検討会	22
12月 15 日	医療との連携～在宅医療の現場における薬剤師の役割～	19
2月16日	事例検討、次年度に向けての座談会	14

- ・介護支援専門員・居宅サービス事業所向け 包括主任介護支援専門員連絡会主催研修会

実施日	内 容	参加者数
7月27日	介護支援専門員・居宅サービス事業所向け研修 「食べるを支える～嚥下障害とケアプランから～」 (熊川主催に手伝い)	(大西) 14
11月24日	「高齢者の消費者トラブル」(加美主催)	17
2月20日	「おくりびとに学ぶ 終末期からグリーフケアまでの知識」 (武蔵野に手伝い)	(大西) 26

- ・地域ケア会議 参加なし

- ・個別地域ケア会議

実施日	内 容
9月4日	「それぞれに課題のある家族3人の支援について」
2月1日	「任意後見が解除になった、要介護で身寄りのない方の権利擁護について」
3月11日	「高齢化が進む加美平住宅のゴミ出しについて」
3月29日	「心配情報を得てから介護者と連絡が取れないときの支援へのアプローチ方法とネットワークづくりについて」

【市民向け研修/介護予防の啓発/出前講座】

- ・高齢になっても安心して地域で生活できるよう、関心の高い課題を取り上げ、小地域福祉活動や地域へ出向き、研修等を計画・実施しました。

実施日	対象	内 容	参加者数(人)
8月23日	地域住民	スマホ教室 ～スマホなんでも相談～	4
8月24日	加美サロン	認知症サポーター養成講座	25
9月9日	長沢長寿会	認知症についての講話	25
2月20日	福生市第四小学校	認知症サポーター養成講座	48
3月4日	福生市第二中学校	認知症サポーター養成講座	140

【家族介護者教室の開催】

- ・高齢者を介護している家族や、これから介護に携わる方、支援者に対し介護方法等についての教室を開催しました。

実施日	内 容	参加者数(人)
11月14日	突然始まる家族介護～認知症の理解と家族の対応について～	12

【権利擁護事業】

・市民向け講座 包括社会福祉士連絡会主催

実施日	内 容	参加者数(人)
11月28日	「高齢者をねらった消費者被害にあわないために」	14

【参加した地域活動/合同講演会など】

実施日	内容	会場	参加職員
7月 26 日 27 日	スマホ教室とダーツ	熊川住宅	勝田
10月3日	音楽のちから(介護予防講演会)	福生市民会館小ホール	木下・白川
10月 22 日	健康まつり	福祉センター	勝田
10月31日	小地域連絡会	福祉センター	勝田
1月12日	ゆるやかな集いの場	もくせい202号室	勝田

【その他】

・短期集中通所型サービス(通所 C)

	4月-6月 利用者数	7月-9月 利用者数	10月-12月 利用者数	1月-3月 利用者数
羽村三慶病院通所りハビリ結	2名	2名	3名	2名
老人保健施設ユーアイビラ	3名	2名	6名	1名

参加した研修

実施日	内 容	主催	会場	参加職員
4月25日	ふくふくネット	公立福生病院	WEB	木下 大西
5月23日	ふくふくネット	公立福生病院	WEB	大西
5月17日 23日24日	養護者による高齢者虐待対応研修 (基礎研修・第1回)	東京都福祉保健財団	あいおい損保 支店ビル	木下
6月 23 日	ふくふくネット	公立福生病院	WEB	大西 白川
6月 28 日	権利擁護テーマ別研修「セルフネグレクトへの支援」	東京都福祉保健財団	あいおいニッセイ同和 損保ビル	勝田
6月29日	若年性認知症相談支援研修基礎	東京都福祉保健局	WEB	白川

7月11日 12日	地域包括支援センター初任者研修	東京都高齢者 施策推進部	WEB	木下
7月21日	若年性認知症フォローアップ研修	東京都福祉 保健局	むさし府中商工 会議所	白川
7月27日	介護支援専門員、居宅サービス事業所 向け研修	包括支援セ ンター熊川	福祉センター	大西 中川
7月31日	認知症地域支援推進員研修	介護研究、研修 東京センター	WEB	木下
7月中	認定調査員研修	東京都高齢 者施策推進 部	E ランニング オンライン	勝田
9月13日 9月14日	養護者による高齢者虐待対応研修 (基礎研修・第2回)	東京都福祉 保健財団	WEB あいおいニッセイ 同和損保新宿ビ	白川
9月21日	第2回東京都キャラバン・メイト養成研修	東京都福祉高 齢施策推進部	新宿 NSビル 30 階スカイカンファ レンスルーム	中川
9月28日	東京都認定調査員現任研修	東京都高齢 者施策推進 部	東京都社会福祉 保健医療研修セ ンター1階講堂	大西
10月4日	高齢者権利擁護研修「権利擁護テーマ別 実践研修第3回」 高齢者虐待対応における、家族の関係性 に焦点を当てた養護者支援	東京都福祉 保健財団	あいおいニ ッセイ同和 損保新宿ビ ル	中川
11月8日 9日	地域包括支援センター職員現任者研修	東京都福祉 保健財団	小田急第一生命 ビル 19 階	中川
11月16日	福生市介護事業者連絡会 「リハビリの温故知新」	福生市介護保険 事業者連絡会	福祉センタ ー研修室	中川
11月24日	介護支援専門員・居宅サービス事業所研 修「高齢者の消費者トラブル」	地域包括支援 センター加美	福祉センタ ー研修室	中川 大西
12月18日	依存症支援者研修 「アルコール依存症の理解と対応」	多摩総合精神保 健福祉センター	ZOOM	白川
2月7日	成年後見制度に関する 10 の Q&A	羽村市福祉 健康部	プリモホールゆ とろぎ小ホール	白川・勝田 中川
2月20日	地域包括支援センター武蔵野主催 おくりびとに学ぶ終末期からグリーフケア	地域包括支援 センター武蔵野	福祉センター2階 学習室	大西・石部 中川
3月18日	認知症介護実践リーダー層研修「目標達 成力」向上研修	青梅成木台 病院	青梅市福祉 センター	石部

会議への出席

実施日	内 容	実施主体	会 場	参加職員
5月25日	生活困窮者自立支援調整会議	福生市社会福祉課	もくせい会館 202	大西
7月4日	西多摩包括支援センター連絡会	西多摩地区包括支援センター連絡会	青梅市役所	大西 勝田
7月19日	第1回福生市地域包括センター運営委員会	福生市福祉保健部	もくせい会館 202	大西・白川 中川
7月28日	福祉関係機関・行政・中核機関 ぱあとなあ東京の情報交換会	ぱあとなあ東京	オンライン	白川
7月28日	小地域連絡会	FVAC	福祉センター	勝田 中川
7月31日	元気塾振り返り	福生市高齢者支援係	もくせい会館 204	中川
8月1日	認知症介護医療連携協議会	青梅成木台病院	たまぐーセンター	大西
8月17日	生活困窮者自立支援法支援調整会議	福生市保健部社会福祉課	もくせい会館	白川
10月6日	西多摩地区地域包括支援センター連絡会(彩会福祉士)	青梅市健康福祉部	青梅市役所	白川 中川
1月22日	西多摩地区包括支援センター連絡会(主任介護支援専門員、介護支援専門員)	青梅市保健福祉部高齢者支援課	青梅市役所 204 会議室	中川
1月29日	元気塾会議	高齢者支援係	もくせい会館 202	勝田・白川 中川
2月5日	福生市包括支援センター運営協議会	福生市地域包括支援センター運営協議会	もくせい会館 302	中川
2月16日	虐待防止連絡会	高齢者虐待防止連絡会	市役所 1 棟 4 階町議室	白川 中川
2月28日	地域包括支援センターにおける見守り活動の効果的な実践に関する調査研究事業報告会	(株)みずほりサーチ & テクノロジーズ社会性格コンサルティング部	オンライン	白川
3月18日	令和5年度 認知症介護実践リーダー層研修「目標達成力」向上研修	青梅成木台病院	青梅市福祉センター	石部

令和5年度

福生市高齢者見守りステーション

事業報告書

社会福祉法人 福陽会

高齢者見守りステーション

【配置職員】

相談員 大河原 希充子
相談員（非常勤） 鈴木 敦子

高齢者見守りステーションは、福生市全域の概ね 65 歳以上の一人暮らし世帯・高齢者のみで構成する世帯に属する者・日中独居及び心配情報のあった高齢者について、福生市から委託を受けた以下の業務について運営した。

●高齢者見守り相談窓口の設置

●在宅高齢者の生活実態の把握と見守り

- ・介護保険サービスまたは地域包括支援センターの支援を受けていない高齢者を対象とし訪問した。
- ・戸別訪問や電話等の適切な手段により情報収集・生活実態の把握を行った。
- ・支援が必要であるのに自ら声をあげない高齢者の掘り起しを行った。
- ・地域住民等からの心配情報により必要がある場合は戸別訪問し状況確認を行った。
- ・生活実態を把握し必要があれば情報提供・関係機関へ繋げた。

●地域包括支援センターとの連携

- ・介護保険等の申請が必要と考えられる場合は関係機関へ円滑に引き継ぎを行った。
- ・相談記録等は域包括支援センターシステムに速やかに入力した。
- ・福生市在宅高齢者のためのサービス等の申請代行依頼を行った。

●その他必要と認められる業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	Total
戸別訪問等 実績	319	192	211	166	347	390	514	365	373	411	383	347	4,018
うち連携数	34	47	44	38	33	52	49	48	49	56	54	56	560

2023 年 度
事 業 報 告 書

社会福祉法人 福 陽 会

特別養護老人ホーム 第3サンシャインビル
短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護（ショートステイ）

1. 事業報告（総括）

1. 中長期経営計画

(1) 福陽会の基本理念を毎朝唱和する事で、全職員が基本理念を基本としたサービス提供に努めた。利用者様を始め、ご家族様、地域の皆様と共に大きな家族として「こころある介護」を行うことができた。

(2) 中期基本方針

①利用者様、ご家族様、地域の方々から評価して頂けるサービス提供ができるよう、他部署で連携を取り、各部署風通しの良い関係性が構築できた。「こころある介護を提供する事で、利用者様の笑顔を多く引き出す事ができた。

②業務検討委員会にて毎月の稼働率の報告を行い、各部署の所属長が経営に対する意識を持ち業務を行う事ができた。

③資格取得支援制度を活用し、新たな資格取得、内部、外部研修によるスキルアップ支援を行った。

④第3者評価を受け、透明性を確保した。

⑤新たな福祉ニーズに対応する事業については実施できなかった。

2. 基本目標

福陽会の基本理念については、毎日基本理念の唱和を行うと共に、理事長、統括施設長、施設顧問医師、副理事長にご指導いただきながら、職員に対し理念、法人としての考えを伝える事で福陽会の職員としての意識向上を図った。新入職員については、入職時に統括施設長の思いが書かれた文章から福陽会基本理念について説明を行う事で基本理念の浸透に努めた結果、新人であっても理念に共感でき、それを基としてケアを行う職員が増えている。

3. 基本方針について

加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴、排泄、食事等の介護、機能訓練並びに看護及び療養上の管理、その他の医療を要する方等について、これらの利用者様が尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営む事が出来るよう、施設顧問医師指導の下、各部署連携し必要な介護サービスを提供し、地域福祉の増進を図る事を目的として事業を行った。

(1) 利用者様の健康状態、身体状況を充分考慮に入れ、各部署の職員による情報の共有と連絡、相談を密に行い、職員1人1人が利用者様を良く観察し、介助が必要な利用者様が最低限度の援助で快適な生活が送れる為の環境作りに努めた。

(2) 「施設の食事を知ろう会」を開催し、地域の方達と意見交換を行う、地域のニーズの把握を行った。

(3) 施設行事においてはコロナ禍以降地域のボランティアに依頼はしていないが、ご利用者様に季節感を感じていただけるよう季節ごとの行事を開催した。

4. 2023年度の重点目標

法人理念である「人がその人らしく生活できる環境づくり」を念頭に、理事長、統括施設長、施設顧問医師、副理事長のご指導の下、ご利用者様、ご家族様に「第3サンシャインビラに来て良かった」と思っていただけ施設を目指し取り組みを行いました。

2023年度はショートステイ10床中5床を特養に転換した為、特養95床、ショートステイ5床で運営を行いました。稼働率に関しては、特養の稼働率が99.41%、ショートステイの稼働率が49.18%でした。平均介護度は4.2でした。特養に関しては、ショートステイから特養に転換した5床を含めて目標を達成できた為、ショートステイから特養に転換した効果は高かったです。ショートステイに関しては目標値を80%とした為、目標値には達しませんでした。今後も営業活動、ホームページ等で施設の活動やショートステイの魅力をアピールし、選ばれる施設となるよう努めていきます。また、物価の高騰により、施設としても大きな打撃（食費、物品、電気料金の値上げなど）はありました。しかし、ご利用者様のサービスの質を落とさないように、今までと同様に栄養を考えた美味しい食事の提供などサービスを維持しました。そして節電は今までも実践してきましたが、更なる節電に力を入れ職員一丸となり経費削減に取り組みました。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症になり、段階を経て徐々に感染対応の緩和を実施しました。施設顧問医師のご指導の下、日頃から感染対策を徹底した結果、施設内では少人数の新型コロナウイルス感染症はありましたが、昨年度に比べ、感染拡大を防ぐことができました。

感染対応緩和に伴い、行事やレクリエーションも規模を大きくしていきました。落語やお囃子、琴、大正琴、よさこいなど、行事の際には慰問の方達に来ていただきました。また、各ユニットで嗜好を凝らした行事、レクリエーションを行いました。ボランティアの受け入れに関しても、コロナ禍前に来ていただいた方へ連絡を行い、徐々に再開していきました。制限ある生活が長く続きましたが、ご利用者様に楽しんでいただけたと思います。

地域交流に関しては、日の出町の福祉事業所が共同で行う「ハートワークフェア」、東京都社会福祉協議会による「つながれ ひろがれ ちいきの輪」へ参加しました。「ハートワークフェア」では他の福祉事業所と協力し、地域の方達へ福祉の魅力を発信しました。「つながれ ひろがれ ちいきの輪」では、施設の食事を知っていただこうと、地域の方達を施設に招待しました。実際に施設で提供している食事を食べていただきながら、地域の方達と意見交換を行いました。地域の方達との意見交換により、地域の抱えている問題を把握（集まる場がない等）することができ、施設としてできることを考える良い機会となり、次年度に繋がる取り組みが行えました。

職員支援に関しては、資格取得支援制度を活用し、社会福祉士や介護支援専門員、介護福祉士の受講者の支援を行いました。制度を利用する職員も増え、職員のスキルアップに繋がりました。

看取り介護については年間11名の方の看取り介護をさせていただきました。施設顧問医師のご指導の下、職員が一丸となり、ご利用者様、ご家族様からのご意向を聞き取り、カンファレンスを通して職員間で情報共有を行いました。お一人お一人の状況に合わせた看取り介護を行い、ご家族様より感謝のお言葉を多くいただくことができました。

2. 職員構成 3月31日現在

担当職	職名	職員	非常勤
施設長		1	
顧問医師			1
産業医			1
事務長		1	
事務員		1	2
生活相談員		3(2)	
介護支援専門員		2(2)	1
介護職員		23	32
医務	医師		3
	看護リーダー	1	
	看護職員	3	4
機能訓練指導員	機能訓練指導員	2	
	P T		1
厨房	管理栄養士	1	
	調理員	3	5
保守管理・宿直	介助員	1	4

* 兼務職員は主たる職務に記載し、兼務している職務では（ ）内に記載

3. 会議・懇談会・委員会開催状況報告書

委員会

会議は毎月第2木曜日とし開催した。施設顧問医師、副理事長の指導、助言のもと、各部署が連携し委員会活動を円滑に行うことができた。

1) 業務検討委員会

法人の基本理念を基盤に、経営、人事、業務内容等、各部署から議題を出し、改善に向け話しあった。各部署の状況を知ることでお互いの理解を深め、業務を円滑に行うことができた。

2) 全体会

1回/月開催し、施設運営の状況や各部署からの情報を共有し施設全体で同じ認識を持ち業務にあたるよう努めた。施設顧問医師による衛生委員会・感染症委員会も同時開催とした。

3) 入所判定会議

入所申込があった際には家族やケアマネなどから聞き取りを行い、速やかに判定会議が進められるよう準備を行った。申込者の状態を考慮しつつ施設顧問医師に意見を仰ぎ、判定を行った。

4) 看取り介護委員会

看取り介護宣言のあった利用者様とそのご家族が安心して生活できるよう、聞き取りや適宜カンファレンスを行い、最善のケアが提供できるよう努めた。ご家族様からは感謝の言葉を多数いただくことができた。

5) 衛生委員会

職員の定期健康診断を実施した。また、産業医の指導のもと、労働者の健康管理に努めた。

衛生管理者等による施設内巡回を定期的実施し、労働災害になりかねない箇所を検証し、職員が働きやすい環境整備を行った。また、職員のストレスチェックを実施し、従業員のメンタルヘルス不調を未然に防止した。

6) 感染症委員会

基本的な感染症対策及び食中毒の内部研修を行い、職員の知識向上に努めた。

マニュアルに沿った演習も行い迅速な対応が出来るよう努めた。また、各業種でチェックリストを作成し対応の統一化を図った。

感染症発生時にはカンファレンスを開催し、各フロアに適した感染対応を検討し実施した。

7) 事故防止委員会

施設内外で発生したヒヤリハットやアクシデント、事故事例を多く取上げ、各ユニットで周知するよう注意喚起し事故防止に努めた。事故後のカンファレンスではより多くの発言を取り入れ、対策の検討とヒヤリハットを活用し事故防止に繋げられるよう努めた。

8) 栄養会議

体重測定の結果や食事摂取状況について情報の共有を行い、個々の食行動の問題や低栄養のリスクがある利用者様のケアの方法についての話し合いを実施し、対応の検討を行った。

9) ケース会議

利用者様から聞き取りを行い、その方のニーズや生活上・介護上の問題点、身心の状態を把握し、その情報をもとにケアプランを作成した。ケアプランに沿ったサービスを提供し、利用者様がより快適に生活できるよう努めた。

10) リーダー会議

月に一度、各ユニットより問題点や相談などを提議し、話し合いを行った。ユニットの現状や人員配置にも目を向け、各ユニット連携してご利用者様へより良いサービスを提供出来るよう努めた。また、リーダー同士意見交換を行い、ユニットリーダーとしての質の向上にも努めた。

11) 行事計画委員会

新型コロナウイルスが5類に移行し、法人の感染対応の緩和状況に合わせて行事を行った。三大行事の際は感染対策に努めながら、慰問の方に来ていただき、利用者様に楽しんで頂けるよう行事を企画、実施した。また、毎月ユニットごとにレクリエーションを企画し、季節感のある行事を実施し、メリハリのある生活を送れるように努めた。次年度も法人の感染対応の緩和状況に合わせて行事の企画、実施を行う。

12) 内部研修委員会

職員が講師となり内部研修を開催し様々な視点から学ぶことで、知識の向上とスキルアップに繋げることができた。

虐待防止委員会・苦情拘束委員会と連携して研修を行い、虐待防止や身体拘束に対する知識を深め、ケアの質の向上に努めた。

13) 褥瘡予防委員会

褥瘡アセスメント評価表を用いて皮膚トラブルのリスクの程度を計り、予防に努めた。

褥瘡発生者に関しては、褥瘡対策個別計画書を配布し現在の状況や対応の情報共有を行い、適宜ポジショニング等の検討を行い統一したケアを行えるよう調整した。また、管理栄養士と共に栄養面での対応策も検討した。

褥瘡発生リスクが上がった利用者様に対しては適宜カンファレンスを行い、エアマットなどの使用を検討した。

14) 虐待防止委員会

虐待に関するニュースなどの情報を全職員に発信することで、虐待についての認識を深めた。

定期的に虐待アンケートを実施し、集計結果を施設全体で共有し虐待防止に努めた。

苦情・拘束委員と連携を取り、上がって来た苦情が虐待に当たらないかを検討し、全職員に発信して施設全体で虐待防止に対する意識向上を図った。

内部研修委員と連携を図り、勉強会を開き虐待ゼロに向けケアの改善に努めた。

15) 苦情・拘束委員会

毎月、意見箱の意見、ご利用者様やご家族様等から直接受けた苦情に関して話し合い、今後の対応について検討した。委員会で話し合った内容については、職員に周知徹底した。身体拘束に関しては、拘束することなくご利用者様が安全に生活することができるよう話し合い、身体拘束ゼロを目指した。また、委員会の中でも研修・プリント配布をして、身体拘束について勉強する機会を増やした。その研修を通して何気ない行動も、もしかしたら身体拘束になってしまうのではないかと考えながらケアをすることで、より良いケアに繋ぐことができたと思う。今後も研修を継続して、より知識を深めていきたい。

16) 防災管理委員会

夜間帯の災害を想定した緊急連絡網によるシュミレーションを行った。事前に告知をしなかったものの、昨年度よりも訓練の終了時間が短縮できた。今後も繰り返し訓練を行い、非常時にも冷静に対応できる体制を整える。

17) ボランティア委員会

感染症などの状況を踏まえながら、ボランティアの新規受入れや行事、レクリエーションが行えるように調整をおこなった。ボランティアの方々と交流を図ることで利用者様に少しでも楽しんでいただける時間を作ることができた。

18) 厨房会議

月に1回実施し、厨房内の衛生管理の共有、業務の見直し、行事食の内容の検討、利用者様の希望に沿った新たなメニューの開発、チームワークについて協議し、業務の向上を図った。

19) 利用者懇談会

利用者様から施設に対する要望や希望などの聞き取りを行った。様々な意見や要望を聞くことができ、待遇の向上に繋げることができた。

20) 給食懇談会

月に1回実施し、献立の感想や食べ物の固さ、食べたい物など要望をお聞きし、献立や調理に反映させた。

21) 接遇委員会

年間目標として「挨拶」を掲げ、声を掛け合う事で明るい雰囲気を作ることができた。

朝礼時に法人の基本理念を唱和することで、全職員が理念を理解し、理念に沿ったサービスの提供ができるよう努めた。定期的にポスターを配布し、接遇の大切さと接遇意識の強化に努めた。

22) 排泄委員会

利用者様お一人お一人に合ったオムツ、パッドの選定を行いました。オムツ業者のリブドゥから研修を受け、オムツのサイズの選定方法、尿測方法を学び、適正なオムツ、パッドを選定しました。適正なオムツ、パッドを選定することにより、職員の排泄に対する意識が向上しました。コスト面に関しても無駄を無くし経費削減に繋がりました。

4. 処 遇 報 告

1) 2F 事業報告・活動報告

(1) あやめユニット

利用者様とコミュニケーションを図り、ご本人の意向に沿ったケアを行うことが出来た。

ご家族様が面会に来られた際は、挨拶だけではなく利用者様の日頃の様子をお伝えし、信頼関係を構築することが出来た。

季節を感じてもらえるよう、ユニット内の装飾や運動会、おでん会などのレクリエーションを職員ひとり一人が企画し、利用者様の笑顔を引き出すことが出来た。

居住空間を清潔に保ち、感染予防マニュアルに沿ってケアを行った結果、感染を最小限に抑えることが出来た。また、利用者様の様子観察に努め、些細なことも他職種と情報共有し、こまめなケアを行うことで褥瘡を防ぐことが出来た。

ユニット全体の整理整頓、清潔を心掛け、電気の使用や備品の節約が出来るよう日々心掛けた。

(2) さゆりユニット

ショートステイを利用される方も入所されている利用者様も、自宅と同等の生活が送れるように、個々の利用者様の生活リズムの把握に努め、利用者様それぞれのペースに合わせた支援をした。利用者様ひとりひとりの訴えや希望を傾聴し、ニーズに沿ったケアを行った。

毎月多種多様なユニットレクを行い、活気のある生活を送って頂けた。

(3) さくらユニット

利用者様1人ひとりとコミュニケーションを取り、好きな事や不安に思っている事を傾聴することで生活支援に繋げる事が出来た。

リハビリ体操や季節に合わせたレクリエーション・行事を行い利用者様の笑顔を見る事が出来た。引き続き利用者様に楽しんでいただけるよう努める。

他部署との情報共有を密にとり連携することで、利用者様の体調やADLの変化に早期対応することができた。

(4) みもぎユニット

日々のコミュニケーションから利用者様の心身の状態を把握することで、個別的なケアを行う事ができた。

季節の行事やレクリエーションをユニット単位で行った。ユニットに合わせた内容を計画し、全員に参加してもらい楽しんでいただくことができた。今後も職員間で連携を図り、利用者様の生活しやすい環境づくりを行う。

2) 3F 事業報告・活動報告

(1) すみれユニット

利用者様一人ひとりとコミュニケーションを取ることを心がけ、ニーズを把握する事によって、個別支援を行うことが出来た。

季節を感じられる行事やレクリエーションを企画し、利用者様に楽しんでいただくことが出来た。加えて、カレンダーや飾りを作成し、楽しみながら生活が送れる環境作りを行った。

利用者様の状態観察を行い、職員間で情報共有をすることで、体調や状態の変化にいち早く気づき、対応することが出来た。

毎日の申し送りや連絡ノートの有効活用によって、職員同士の連絡、相談、報告が出来、働きやすい環境作りを行う事が出来た。

(2) つばきユニット

利用者様と密に接することを心がけた。表情の観察やコミュニケーションをとる中で利用者様のその日の状態を把握し、その時に応じた支援を行うことが出来た。

利用者様の希望に沿ったレクリエーションを行うことが出来た。居室で過ごす時間が長い利用者様にも参加して頂き、生活にメリハリをつけることが出来た。発言が出来ない方の気持ちも汲み取れるように努めていきたい。

住環境の整備に努め、日々を清々しい気持ちで過ごしていただくことができた。

(3) つつじユニット

日々利用者様とコミュニケーションを図り、様子に変化が見られた際は他部署に報告を行い、早期対応に努めた。職員間で利用者様の状況報告や問題点の選出・改善策を考え、一人一人に合ったケアを実施する事ができた。

余暇時間を活用し、季節ごとの飾りを利用者様と作成し、後期では毎週日曜にカラオケを開催した。毎月レクリエーションを行う事で、多くの笑顔が見られたのではないかと思う。

(4) あじさいユニット

利用者様と信頼関係を築けるよう、毎日笑顔で挨拶や声掛けを行いました。

季節に合わせた行事を開催し、月ごとの壁飾りやカレンダーなどの装飾を施し、利用者様に楽しんで頂くことができました。

利用者様の笑顔を引き出す為には職場の明るい雰囲気が重要と考え、職員間で声を掛け合い報告・連絡・相談といったコミュニケーションを取り事故の防止を図ると共に、ユニットミーティングを行い、改善点を話し合い職員が働きやすい環境の整備を行いました。

3) 4F 事業報告・活動報告

(1) ひまわりユニット

利用者様と家族のような信頼関係を築き、多くの笑顔を引き出すことができました。

レクリエーション活動も季節に合わせた物を提案し、楽しんで頂くことができました。今後も活気のある生活を送って頂けるよう支援する。

職員間で報告、連絡、相談を行い、ケアの統一を徹底した。

(2) コスモスユニット

体操を日課とすることで、体を動かすことの喜びを感じ、楽しみながら身体機能を維持することができた。季節に合わせた作品を利用者様と一緒に作り、ユニット内を明るい雰囲気にすることが出来た。日頃から居室やユニット内の環境整備を行い、気持ちよく快適に生活を送って頂く事ができた。

4) 移動理美容

理容が第4月曜日の月1回、美容が第1金曜日の月1回行っている。

利用者様、ご家族様の希望により、理容・美容を選択していただき、利用して頂いている。

5. 厨房事業報告

《衛生管理》

- ・衛生マニュアルに従って業務を行い、利用者様に安全で衛生的な食事を提供した。
- ・衛生マニュアルに従った業務、非加熱食材の取扱方法、加熱温度と時間の徹底を行い、安全な食事を利用者様に提供した。
- ・手指の洗浄・消毒や衣服の清潔保持、厨房内の衛生管理を衛生マニュアルに従って確実に実施した。
- ・体調不良時や感染症発生時に備えた連絡経路のマニュアルの周知の徹底を行った。
- ・新型コロナウイルス発生時のマニュアルの見直しと周知の徹底を行い、感染対策実施時でも円滑な食事提供に努めた。
- ・コロナウイルス感染者の食事提供には使い捨て食器で行った。
- ・掃除チェック表の活用と毎日全員で清掃する時間を設定し、厨房衛生に対する意識の向上を図った。

《食事提供》

- ・調理マニュアルの見直しを随時行い、味や食材の形態、調理方法、盛り付け、嚥下調整食など業務の統一化と工夫を行った。
- ・旬の食材を多く取り入れ、季節感を楽しんでいただけるような食事提供に努めた。
- ・食事時間のフロアラウンドと聞き取り、嗜好調査を行い、利用者様のニーズに出来る限り対応した食事を提供した。
- ・食事満足度向上の為ユニットと協力して食事に関するイベントを開催し、喫食満足度の向上に努めた。
- ・ソフト食を導入し、嚥下調整食が必要な方でも目で見て楽しめるような食事を提供した。
- ・新たなメニューの取り組みを多く行い、喫食満足度の向上に努めた。

《行事食・麺の日・出前の日・喫茶の日・誕生日会・選択おやつ・希望おやつ・手作りおやつ実施内容》

- ・行事食：月 1 回(正月は三が日)実施。カード装飾や、旬な食材を使用した季節感の取り入れ、食欲が増すようなきれいな盛り付けを行う等工夫を凝らした。
月に 1 度の行事食は特に喜んで頂くことが出来たため、今後もバリエーションを増やし、さらに利用者様のニーズに応じていく。
- ・麺の日：きつねうどんやそば、月見うどんやそば、てんぷらそば、ほうとう風うどん、讃岐風うどん、肉うどん、醤油ラーメン、味噌ラーメン、担々麺、タンメン、サンマーメン、冷やし中華、長崎ちゃんぽん、そうめん、スパゲティミートソース、焼きそば、あんかけ焼きそばなどを実施した。
- ・出前の日：鰻…形態に合わせて食べやすい大きさに調整して提供した。
寿司…原則として米飯の方は握り寿司、粥の方には刺身、粥、極菜・ペーストの方は刺身を細かく刻んでたたきにして提供した。生ものが苦手な方には、助六での提供も行った。
- ・喫茶の日：月 1 回実施。手作りデザートとコーヒーを提供した。
- ・誕生日会：毎月第 3 水曜日に実施。誕生月の利用者様には手作りケーキを提供した。
- ・選択おやつ：月に 2 回を目安に実施。複数のおやつを準備し、利用者様 1 人 1 人に食べたいものを選んで頂き、提供を行った。
- ・希望おやつ：月に 2 回を目安に実施。利用者様から聞き取りし、希望に沿った提供を行った。
- ・手作りおやつ：利用者様の聞き取りの際に出た希望をフロア職員と協力し、随時提供を行った。

《代替食実施状況》

魚・鯖・豚肉・鶏・ハンバーグ・納豆・牛乳・カレーライス・ハヤシライス・麺・パン・生物・揚げもの・貝類・レーズン・レバー	他の料理で対応
---	---------

《希望・手作りおやつ実施内容》

4 月	実施無し	10 月	南瓜のモンブラン りんごのミルフィーユケーキ パン作り
5 月	実施無し	11 月	鬼まんじゅう ホットケーキ みたらし団子 チーズケーキ おでん
6 月	梅・らっきょうの漬物作り	12 月	チョコプリン お好み焼き 焼き芋
7 月	梅・らっきょうの漬物を食べる 梅ジュース	1 月	オレンジパウンドケーキ 甘酒
8 月	実施無し	2 月	シフォンケーキ 居酒屋風イベント 芋ようかん
9 月	実施無し	3 月	芋ようかん おでん

《給食懇談会・厨房会議・嗜好調査アンケート結果》

- ・毎月各ユニットにて給食懇談会を実施し、食事についての意見・要望や食べやすさ(形状・硬さ等)、食べたい献立についてのご意見をいただき、結果の反映に努めた。
- ・厨房会議を毎月必ず行い、その月に発生した取り組み課題をまとめ、部署全体での問題解決に努めた。
業務の検討や反省・意見交換を行い、意識の統一を図った。
- ・嗜好調査の結果からリクエスト献立として積極的に人気メニューの提供を行い、喫食率向上に努めた。

《療養食・栄養ケアマネジメント実施状況》

- ・医師の指示のもと、療養食が必要な利用者様に提供を行った。献立や調理を工夫し、なるべく常食と差異を感じずに、おいしくお食事が提供できるよう努めた。
- ・ミールラウンドを多く行い、ミールラウンドの結果を栄養ケアマネジメントに反映した。
- ・利用者様ひとりひとりの状態を把握し、多職種と連携して問題の解決に努めた。

6. 医務室利用者健康管理報告

総括

ご利用者様の生活に寄り添い、ご利用者様とご家族様の望む生活が送れるよう日々援助していく。そして、ご利用者様の言葉に耳を傾け、日々の変化の中でご利用者様が何を望んでいるのかを考え、ご利用者様、ご家族様の気持ちが反映できるような看護を行っていく。

状態異常時は健康を害する原因を考え、医師との連携をスムーズに行い早期に医療を開始できるよう努めていく。また、ご本人様、ご家族様の思いを抽出し、生活の自立性や満足度が損なわれない医療が提供できるように努めていく。

異常発見時は、医師へ上申し早期に医療介入を行った。そして、ご家族様に状態の報告を行い相談員とともにご家族様の希望が添えるようケアを行った。また、ターミナルなどで生活の質を上げていくために、ご家族様の思いを抽出し、他部署と連携してその想いをケアに反映させていった。医療の介入は生活を阻害する側面も持っている為、ご利用者様が何を望むのか考え、その人らしい生活の中で最期が看取れるような看護を実践していくことを今後の目標とする。

フロアナース制を施行し4年が経過。その成果か担当ナースの持つ情報も個別性が増すようになってきている。情報をもとに個別性のあるケアを作成し、個人の生活にあったケアを形成させていくことを、引き続き今後の目標としたい。看護間での情報共有はショートカンファなどを通じある程度共有できていたが、発信されない情報もあったため、今後の情報収集の方法論を検討していく必要性も感じた。また、今年度も他職種間でも上手く連携がとれない場面もみられたことから、信頼関係を構築し、より密に情報共有できるよう努めていきたい。

通院・入院履歴

	通院	入院	退院
4月	9名	0名	4名
5月	14名	0名	0名
6月	10名	2名	0名
7月	5名	2名	1名
8月	6名	1名	1名
9月	4名	2名	0名
10月	6名	3名	0名
11月	5名	0名	3名
12月	3名	1名	1名
1月	5名	1名	0名
2月	8名	1名	2名
3月	4名	0名	0名
	年間通院者数 79名	年間入院者数 13名	年間退院者数 12名

3月31日現在の医療ケア介入必要者

胃瘻からの経管栄養実施者	3名
点滴施行者	0名
血糖測定者	0名
在宅酸素使用者数	3名
常時、口腔・鼻腔内からの喀痰吸引が必要となる利用者	4名
褥瘡処置施行者	1名
褥瘡以外の皮膚処置施行者	7名
ターミナルケア対応者	11名
合計	29名

2023年度死亡退所者

入院先での死亡者	6名
施設内での死亡者	2名
施設内ターミナルケア対応 死亡者	11名
合計	19名

7. リハビリテーション報告

(1) 総括

令和5年度のリハビリにおいては、利用者様の身体状況の把握、状況に合わせた介入を心掛けた。また、利用者様の「笑顔」を大切にコミュニケーションを取りながら、より多く笑顔を引き出せるよう努めた。寝たきりの利用者様には声掛けをこまめに行いながら、発語を引き出せるように心掛けた。

また、年度途中よりリハビリが2名体制となったことで、日々のリハビリ回数の増進に繋がり利用者様からも満足の声を頂くことができた。

他職種との連携を密にとり利用者様の情報共有に努め、身体状況に合わせた姿勢作りや褥瘡予防のためのポジショニングを行う事が出来た。

施設顧問医師、理学療法士の指導の下、利用者様の身体状況、日常生活におけるニーズなどを考慮し、個別的で実効性のある訓練計画の策定を目指した。

感染症の蔓延予防として利用者様が使用される物品の消毒、リハビリ介入時の感染対策を考慮しながら機能訓練に努めた。

(2) 実施事項

- ①機能訓練計画書の作成・生活リハビリの作成
- ②関節可動域訓練
- ③筋力訓練・歩行訓練
- ④安楽な姿勢作りや除圧方法の検討
- ⑤利用者様とのコミュニケーション
- ⑥靴の選定
- ⑦エアーマットの管理
- ⑧LIFE 情報入力・バーセルインデックスの測定

(3) 結果

リハビリが2名対応となり、利用者様への介入の頻度も増え1人当たりの時間をゆっくりとることができるようになり、利用者様の満足度も高くなった。他部署との連携を密にとり、訓練だけでなく姿勢作りや除圧などの検討を行い、利用者様が安心、安全に生活を送れるよう支援することができた。利用者様のADLの値を測定し、状況に合わせた計画書を作成し実施した。

(4) 課題

潰瘍や褥瘡の発生を防ぐため、よりこまめなケアと職員間の連携が必要と考える。クッション等を使用し安楽な姿勢作りや除圧を行う事で、皮膚トラブルの予防に努めていく。また、誤嚥や拘縮、廃用症候群のリスクの高い利用者に対してのケアも今以上に必要と感じる。今後も利用者様のADLを維持しながら毎日楽しく生活が送れるよう、多職種と連携し支援していく。

8. 生活相談員・介護支援専門員 事業報告

・生活相談員報告

1、利用者様支援、多職種連携の調整役

福陽会の基本理念である「人がその人らしく生活できる環境づくり」を常に考えながら、各階に相談員を配置している。日頃から利用者様の状態などを把握するために、介護現場職員をはじめ、医務・リハビリ・栄養等各部署と細目に情報共有をしている。またご家族からも利用者様の情報を集めて、各部署へ発信し、お一人おひとり利用者様の環境を整えていくよう努めた。生活相談員がユニット内を回り、利用者様への声掛けや職員から情報を集め、利用者様のご様子を確認することでご本人のニーズを把握した。その情報を元に多職種でアプローチできるよう調整を行い、解決できるよう支援を行った。また、利用者懇談会を適宜実施して、利用者様の生活への良い点や悩みや要望等の意見を聞く機会を設けていたが、コロナ禍の感染対応が多く、中々開催に至らなかった。今後は懇談会を開催し、きちんと聞き取りを行っていききたい。ターミナルケアに関しては引き続き細かく、多職種で話し合いをしてケアに当たるよう努めた。利用者様はもちろんのこと、ご家族様のケアにも重点を置いて取り組んだ。居室にソファや簡易的なベッドを用意して、ご家族の宿泊支援を行うなど、死に対する心の準備に寄り添ったケアが出来たと思う。今年度も生活相談員が調整役となり、情報の伝達・共有をうまく行い、利用者様、そしてご家族様へのチームケアができるように心がけていく。また、医療面でのご利用者様の状態に関するご家族様への連絡は看護職員と生活相談員で行っており、職種間でより多くの連携の必要性を感じた。今後も『報告・連絡・相談』を多職種間で徹底し、より良い多職種連携のシステムを作っていききたい。

2、ご家族様、施設間調整

施設とご利用者様ご家族様との橋渡し役と考え動いてきた。ご利用者様のご様子を都度お伝えし、ご家族様との関係調整役として動いたことで、それぞれのご家族様より安心してご利用者様を任せただけだった。今までと同様、担当相談員より細目にお電話をするなどして情報共有することで、信頼関係を今まで以上に築くことが出来たのではないかと思います。今後もご家族様への連絡等をしっかり行い、安心していただけるよう努めていく。医療面のご家族様への連絡は担当看護職員と生活相談員の二名で行う体制をとっているため、ご家族様も安心されている様子である。今後も細かく連携していききたい。

3、利用者様の入所前、入所時の支援について

入所を希望する方が相談にいらした時に、その方にとって当施設が提供するサービスを本当に必要としている方なのかどうか、まずその人のニーズは何かを見極めて情報提供を行った。また、利用者様入所時にはご本人、ご家族より聞き取りを行い、これまでの生活歴、趣味、嗜好等々ご本人の情報を収集して各部署へ共有し、ケアに反映させた。

ご利用者様が施設へ入所する前の事前面接は、近隣の場合であれば制限があっても行うことができたため、今後も可能な限り、相談員と多職種にて事前面接を実施し、入所前の情報共有を進めていく。

4、介護職員へのスーパーバイズについて

各ユニットリーダーの現場指導とは別に、各フロアの相談員が職員のスーパーバイザーとなり、利用者様に対するケアや対人への対応等の確認を行い、指導、評価を行った。職員の職場環境の変化や日頃の様子等にも目を向けて、ストレスやメンタルの面での職員の相談役を担った。

5、営業について

営業活動の重要性を改めて感じた。なるべく月に1回、営業活動を行うように心がけた。あきる野市を始めとして、福生市、羽村市、昭島市、立川市など、近隣の事業所に伺っている。また世田谷区や西東京市の病院や老健などからの問い合わせがあったため、世田谷区や西東京市にも営業活動を行っている。営業を行うことで『西多摩特養ガイド』より、問い合わせや見学、申し込みも増えてきて、対応させていただいている。資料請求の方に対しては、分かりやすいように料金表に一言付け加え、施設見学などは予約制ではあったが見学を随時承り、施設の温かさをアピールすることに努めた。その結果、「温かい言葉に嬉しくなりました。」「他の施設ではここまでしてくれなかった。」等の声をご家族様よりいただき、好評な様子だった。今後もひと手間を惜しまずに、ご家族様に寄り添った相談を行って、施設をアピールしていきたい。

*介護支援専門員事業報告について

① 入所前の情報収集について

入所前に、生活環境を聞き取り把握することで、リロケーションダメージを最小限に抑え、施設での生活に移行できるように、支援を続けた。24時間シート作成も継続して行い、注意点などを指摘し、他職種に発信して情報を共有出来るように努め、新規ご利用者様の支援をしていった。

把握しきれない事もあるため、入所後も継続して情報収集を行い、その人にあった支援を出来るように努めた。

② ケアプラン作成について

聞き取りを行った情報を元に、施設サービス計画書を暫定に作成し、ご家族様・ご本人様に説明・同意をしていただいた。そして1か月後に初回カンファレンスを開催し、その人らしい生活が送ることが出来るよう、新規プランを作成した。また、ADLの変化が著明に表れた時には、緊急カンファレンスを開催し、状態に応じたプランを作成すると共に支援できるように努めた。また、目標に関してはより具体的な言葉で、その利用者様のことを考えながら作成するよう努めた。

新規プランに関しては、ADLに変化がなかった場合には3か月、更新に関しては6か月と設定。ADLに変化があった場合には期間は3か月とするも、その都度様子を観察し作成した。

ターミナルケアに入った方に関しては、状況把握に努め3か月に1度の見直しを行い、計画書を作成することになった。

③ モニタリングについて

1か月ごとに支援経過としてモニタリングを行い、ご利用者様の状態を把握した。介護職員は『ケアカルテ』の中にある支援経過に記入をしている。また介護支援専門員は『ケアカルテ』のモニタリング用紙に3か月後・6か月後の2回行い、項目に合わせて観察事項を記入して、継続するか変更するかの資料とした。

またターミナルケアの方については、3か月ごとのモニタリングを行い、より細かに観察を行っていった。

④ ケース会議について

毎月第2火曜日・第3火曜日・第4火曜日の午後に開催予定とし、ケース会議を行った。職種間調整が難しい場合には、介護支援専門員による聞き取りを行ったが、基本的には調整をして、ケー

ス会議を開催。職種間の情報共有にて、利用者様の状況を把握。プラン作成に繋げた。ご家族様のご意向は、各担当相談員が事前に聞き取りを行い、ケース会議で発信することで、ご家族も含めたケアプラン作りができた。またケース会議のコーディネート・進行役として、各職種の専門性を尊重し、まとめるよう努めた。今後も多職種で情報を共有して、ケアに繋げていきたい。

⑤ 介護職員へのスーパービジョンの展開

施設サービス計画書についての内部研修や、モニタリング時に介護職員に対し、施設サービス計画書の必要性についてスーパービジョンを展開した。記録の書き方や観察の注意点などを都度介護職員に伝え、利用者のニーズに沿えるように注意を払った。今後も引き続きスーパービジョンの展開を図り、意識を向上していくよう努めていきたい。

⑥ アセスメントについて

居室担当制を強化している中で、アセスメントの向上も図れているように感じる。提出されたアセスメント表を、介護支援専門員が確認、添削をすることで、ご利用者様を見つめ直す機会が増えたように感じる。今後も確認、添削を行うことで、アセスメント力の向上を図り、より良くご利用者様を知るようにしていきたい。

9. クラブ活動実績報告

① クラブ活動について

新型コロナウイルス感染症の影響により華道クラブのみ、職員を中心にユニットごとに活動を行った。

② クラブ活動名と講師名

クラブ名	講師名
華道	根守 和子先生
茶道	大野先生・森田先生
書道	石井 亮子先生
音楽	澤田 康次先生

華道クラブ活動報告						
活動回数	3回	参加延人数	49名	平均参加人数	16名	担当：井上
<p>【活動報告】</p> <ol style="list-style-type: none"> 施設職員が講師となり、活動を行った。 四季折々の花を自由に生け、素晴らしい作品を作ることができた。 						
【月別活動報告】						
月	内容		月	内容		
4月	感染症対応のため、活動なし		10月	感染症対応のため、活動なし		
5月	"		11月	施設・日の出町文化祭出展の作品		
6月	"		12月	お正月用の作品		
7月	"		1月	感染症対応の為、活動なし		
8月	"		2月	"		
9月	"		3月	"		
職員担当フロア：各フロア職員						

茶道クラブ活動報告						
活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人数	0名	担当：柴田
【活動報告】						
1. 感染症対応のため、活動はすべて中止となった						
【月別活動報告】						
月	内容		月	内容		
4月	感染症対応の為、活動なし		10月	感染症対応の為、活動なし		
5月	〃		11月	〃		
6月	〃		12月	〃		
7月	〃		1月	〃		
8月	〃		2月	〃		
9月	〃		3月	〃		
職員担当フロア：3F東						

書道クラブ活動報告						
活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人数	0名	担当：清水
【活動報告】						
1. 感染症対応の為、活動はすべて中止となった						
【月別活動報告】						
月	内容		月	内容		
4月	感染症対応の為、活動なし		10月	感染症対応の為、活動なし		
5月	〃		11月	〃		
6月	〃		12月	〃		
7月	〃		1月	〃		
8月	〃		2月	〃		
9月	〃		3月	〃		
職員担当フロア：2F東						

音楽クラブ活動報告						
活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人数	0名	担当：清水
【活動報告】						
1. 感染症対応の為、活動はすべて中止となった。						
【月別活動報告】						
月	内容		月	内容		
4月	感染症対応の為、活動なし		10月	感染症対応の為、活動なし		
5月	〃		11月	〃		
6月	〃		12月	〃		
7月	〃		1月	〃		
8月	〃		2月	〃		
9月	〃		3月	〃		
職員担当フロア：2F西						

フラサークル

- ・感染症対応の為、活動は中止となった。

10. 年間行事実施報告

第3サンシャインビル 2023年度「年間行事計画実施表」

日 時	曜 日	行 事 名	内 容
4月15日	土	観桜会	おやつにて食事提供を行い、ユニット単位で催し物を実施。
5月		運動会	ユニット単位で運動会を企画・実施。
7月15日	土	納涼祭	慰問の方をお呼びして、各ユニット見学場所を分けて全体で実施。
8月26日	土	夕涼み会	おやつにてアイスを提供。ユニット単位で催し物を企画・実施。
9月18日	月	敬老会	ユニット単位で敬老会を実施。各ユニットにて敬老のお祝いを行う。
9月24日	日	八幡神社例大祭	新型コロナウイルス対策の為中止。
9月・10月中		ドライブレク	各ユニットにて企画。秋留台公園等に紅葉を鑑賞。
10月中		日の出町敬老会	日の出町最高齢者のお祝いで日の出町役場にて式典に参加。
11月4日	土	文化祭	三遊亭遊子様、琴の慰問の方々をお呼びして披露していただいた。
11月中		日の出文化祭	リモートにて現地より展示物等の作品展の中継。
12月		クリスマス会	ユニット単位でクリスマス会を実施。職員が催し物を行う。
1月2日	月	元旦式典	ユニット単位で元旦式典を実施。各ユニットにて新年の挨拶を行う。
1月1・2・3日		初詣	日の出町にある八幡神社へユニットごとに時間を分けて実施。
1月17日	水	餅つき	ユニット単位で餅つきを実施。各ユニットにて餅つきを行う。
2月3日	金	節分	ユニット単位で節分を行う。職員が鬼に変装し、豆まきを行う。
3月		ひな祭り	ユニット単位でひな祭りを行う。各ユニットでひな人形等の装飾品を作って飾り、おやつ作りを行う。

11. 固定資産物品購入・入替報告

○ウォシュレット交換3台

○ルームエアコン2台

○ノートPC増設2台

12. 事故報告・ヒヤリ・ハット報告

自治体への事故報告

	転倒	転落	その他	計
4月	1	0	0	1
5月	0	0	0	0
6月	0	0	0	0
7月	0	0	0	0
8月	0	0	0	0
9月	0	0	0	0
10月	1	0	0	1
11月	0	0	3	3
12月	0	0	0	0
1月	0	1	0	1
2月	0	0	0	0
3月	0	0	1	1
合計	2	1	4	7

アクシデント報告

	転倒・転落	誤飲・誤食	誤薬・未薬	その他	計
4月	1	1	0	9	11
5月	5	0	2	7	14
6月	6	1	0	7	14
7月	8	0	0	3	11
8月	5	0	0	5	10
9月	6	1	0	3	10
10月	0	0	0	6	6
11月	9	2	0	2	13
12月	1	1	0	8	10
11月	4	0	0	6	10
2月	2	0	0	3	5
3月	1	0	0	3	4
合計	48	6	2	62	118

ヒヤリハット報告

4月	18
5月	20
6月	21
7月	16
8月	19
9月	24
10月	22
11月	30
12月	22
11月	24
2月	16
3月	18
合計	250

13. 職員研修報告

【外部研修】

研修日	研修内容
5月31日 6月1日	令和5年度 チームリーダー研修
6月6日7日	令和5年度 チームリーダー研修
8月25日	在宅療養高齢者の現状と体重減少を止める食支援の具体策
8月28日	介護施設が勝ち残るための戦略-食事が経営にもたらす影響
8月28日	介護現場における利用者の尊厳を守ったリスクマネジメント
9月30日	介護職スキルアップ研修「医療的知識編」
10月31日	アンガーマネジメント研修
1月25日	「食べるを考える」～人生を「食」で支えるために～
1月25日	医療的ケア教員講習会
2月6日	看護職のためのユニットケア研修
2月20日	栄養管理・体液管理に役立つ実践 フィジカルアセスメント
2月25日	今日からできる低亜鉛血症の予防と対策
3月8日	財務会計システム 【決算処理編】
3月9日	摂食嚥下障害対応の最先端を学ぶ
3月22日	再集結！生活相談員～みんなでがんばろう！介護報酬改定～

【内部研修】

開催月	研修内容
随時	新人教育研修
随時	感染対応のシミュレーション
4月	褥瘡予防について
5月	身体拘束について
5月	口腔ケアについて
6月	看取り介護について
6月	感染症について
7月	事故防止・緊急時の対応について
7月	入浴について
8月	ケアプランについて
9月	身体拘束・人権擁護について
10月	感染症について
11月	認知症について
11月	食事について
12月	虐待について
1月	事故防止・身体拘束について
1月	排泄介助について
2月	プライバシーについて
2月	看取り介護について
3月	メンタルヘルスについて
3月	接遇マナーについて

※毎月 福陽会理念に対する研修を行う

14. ボランティア・慰問 受け入れ状況報告

2023年度は、コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、施設内での行事やレクリエーションの調整をおこなった。今後も利用者様に楽しんで頂けるよう、状況に合わせて調整をおこなっていきたい。

- ・2023年度新規ボランティア活動登録者
なし

15. 消防訓練実施結果

2023年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から、職員が集まって行う訓練を極力控えた。その中でも、職員の接触のない訓練を実施し、防災意識の向上に努めた。また、BCPの内容を見直し、より実践的な計画策定の準備を進めた。

16. ショートステイ事業報告

★短期入所生活介護・短期入所介護予防生活介護

ショートステイのベッドが5床に変更され、稼働が伸びることを期待していたが、思った以上に伸びなかった。受け入れに関しては今までと同様、土日・祝日問わずに受け入れ態勢を整え、夕食後の送迎、事前にご自宅へ訪問して面接・契約などを行い、ご家族様の負担軽減を図るように努めた。ご家族様やケアマネからは、使い勝手が良いと好評だったが、稼働率に反映しなかった。感染予防対策の居室隔離機関が日数は3日間から1日に短縮はされたが、中々利用するまでに至らないケースが多かった。特養の利用者様の入院やご逝去なども多く、特養入所を見据えた利用者様が特養に移行してしまったケースが多く見られていた。特養入所を見据えた利用者様確保をして、稼働を大幅に戻していきたい。今後も施設の『使いやすさ＝売り』をアピールできるよう居宅介護支援事業所等への営業活動を増やし、ケアマネジャーとのつながり・連携を強めていきたい。

令和5年度稼働率

4月	5月	6月	7月	8月	9月
50%	54%	68%	50%	38%	22%

10月	11月	12月	1月	2月	3月
22%	49%	49%	60%	53%	84%

2023年度

指定訪問介護事業
指定介護予防訪問介護事業
指定居宅介護(障害者自立支援法)
指定重度訪問介護(障害者自立支援法)
事業報告書

社会福祉法人福陽会
ヘルパーステーション サンシャインビラ

ヘルパーステーションサンシャインビラでは「人がその人らしく生活できる環境づくり」をモットーに利用者が健康で生活感あふれる日常を過ごせるよう援助することを基本目標とし、事業活動を行ないました。

サービス提供時間数は本年度延べ 20,156 時間（前年度 20,066 時間）、派遣回数延べ 26,163 回（前年度 27483 回）、月平均にすると 1679.6 時間（前年度 1755.5 時間）、2180.3 回（前年度 2290.2 回）の訪問介護サービスを提供しました。利用者数は延べ 1117 人（サービス終了分を含む。3 月 31 日現在実利用者数 91 名）となっています。

障害者自立支援法に基づく指定居宅介護は延べ 349.5 時間、派遣回数延べ 669 回、月平均にすると 29.2 時間、55.8 回のサービス提供でありました。重度訪問介護のサービス提供は本年度はありませんでした。

なお、市区町村の支援事業として実施している移動支援事業のサービス提供時間数は本年度延べ 110 時間、派遣回数は延べ 167 回、月平均では 9.2 時間、訪問回数は 13.9 回、利用者数は現在 1 名です。

重点を置いた活動内容として、利用者や家族に対するコミュニケーションの重要性とサービスに対する満足度の調査、ヘルパーの援助方法の向上を目的とし、利用者宅への頻繁な訪問を心掛けました。

利用者の「自立支援」をいかに提供し、また、利用者に満足していただけるサービスをいかに提供するかを、ヘルパー個人への指導、教育、そして基本理念の十分な理解と心のこもった暖かい対応を通してすすめていきました。

同時に経験の少ないヘルパーや、資格を得て間もないヘルパーに対し、技術面での具体的な研修や、精神的な援助の方法、コミュニケーションの回り方の相談を行うことで、フォローやバックアップの体制を築いていき、利用者への満足度の増加と危険性の減少、そしてヘルパーの不安解消、実力向上に努めました。

感染症対応が緩和されたことにより、6 月から全体ミーティング・研修会を再開しました。また随時個別指導を行ない連絡事項や対応の周知に努めました。

来年度以降も新規利用者の獲得とサービス提供時間数を増やすことを目標とし、登録ヘルパー全体での研修やチームミーティング等も積極的に取り入れ、ヘルパー個人の対応能力を幅広く持てるようにし、より良いサービスの提供に尽力していきます。

また、関係各所や地域とのつながりを大切にし、皆様に選択していただける事業所となるために誠実に業務に携わっていきます。

(1) 中期経営計画(2023 年度～2027 年度)の達成について

- I 利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様がヘルパーの利用に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかってきた。
- II 利用者に満足してもらえる質の高いサービス提供が不十分だったところもある。
またサービス向上への取り組み、職員教育にも力を注いだ。正職員の増加によりサービス供給の安定がはかれた一方、サービスの減少も顕著であった。
- III 安定した介護報酬収入を目指し、新規利用者獲得へ向け努力した。

研修実施報告書

今年度実施した研修について以下のとおり報告する。

開催日	研修内容	参加者 (人数)
4月26・28日	訪問先への責任者同行実施研修 高齢者虐待・接遇について	42
5月24・26日	薬について	42
6月29日	感染症と食中毒の予防について	42
7月27日	熱中症対策について	41
8月24・30日	認知症について 事例検討	41
9月28日	プライバシー保護の取り組み 排泄介助について（業者による講習） 事例検討	42
10月26・31日	医療との連携について 高齢者虐待について ヒヤリハット事例検討	42
11月23・30日	災害時・緊急時の対応、避難訓練 高齢者虐待について	41
12月14・ 26・27・28日	事故発生及び再発防止について ヒヤリハット事例検討	38
1月25・26日	介護職員のコミュニケーションスキル 事例検討	38
2月22・29日	プライバシー保護の取り組み 事例検討	38
3月23・24・ 25・28日	職員倫理 法令遵守 令和5年度を振り返り 自己反省・自己評価	37

職 員 配 置

(2024年3月31日現在)

職 種	人 数	常 勤 非常勤	専任・兼務状況
管理者	1	常勤	サービス提供責任者・訪問介護員を兼務
サービス提供責任者	4	常勤	管理者・訪問介護員を兼務
		常勤	訪問介護員を兼務
		常勤	訪問介護員を兼務
		常勤	訪問介護員を兼務
訪問介護員	37	(常勤兼務4名) 常勤10名 非常勤27名	

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人 福陽会

サンシャインビラ介護学院
〈介護職員初任者研修事業〉

事業報告書 目次

事業報告(総括)	1
地域別受講人数一覧表	2
教育課程の実施報告	3～4

事業報告

令和 5 年度の「介護職員初任者研修講座」は、受講生の申し込みの動向を確認しながら、3回実施した。

受講理由は家族の介護に役立てるため、今後の高齢化社会に貢献するため等様々であったが、研修の終盤には資格取得後すぐに介護の現場で仕事をしてみたい、と希望する受講生が多数みられた。

また、高齢者の事故や介護に関する報道を見聞きして、超高齢化社会における様々な問題に深い関心を持つ受講生が多かった。

修了評価試験の導入により座学の講義中も緊張感が漂い、各自が工夫してメモやノートを作成するなど、グループワークの際も積極的に発言する様子が見え、活気に満ちた研修内容であった。

また、新型コロナウイルスの影響で中止していた法人内施設実習を再開し、受講生には講義と演習だけで伝えきれない介護現場実際の様子を見ていただき、より有意義な内容となった。

講師を務めた当法人の職員は、研修カリキュラムを基に如何にして受講生に解り易い講義・演習を実施できるかを課題とし、各自の創意工夫により受講生からの評価も高く充実した研修であった。

令和 5 年度の研修において、当法人の教育方針である「介護職員初任者研修事業を通じて、高齢者介護に対する知識、技術の向上を図り地域社会に貢献する」という目標は概ね達成された。

令和5年度 地域・年齢別受講人数一覧表

	第1回 5/4/4~6/27	第2回 7/4~9/30	第3回 6/1/13~3/30	合計
福生市	2	2	1	5
羽村市	0	1	2	3
青梅市	2	2	2	6
あきる野市	3	0	3	6
昭島市	0	3	2	5
瑞穂町	4	0	1	5
武蔵村山市	1	0	0	1
八王子市	0	0	1	1
日野市	0	0	1	1
合 計	12(3)	8(3)	13(3)	33(9)

※()内は男性

教育課程の実施報告

(募集手続き)

募集手続きは次の通りとした。

- (1) 当法人指定の申込用 紙に必要事項を記入の上、期日までに申し込む。
- (2) 当法人は書類審査の上、受講者の決定を行い受講決定通知書を受講者宛てに通知する。
- (3) 受講決定通知書を受け取った受講者は、指定の期日までに受講料等を納入する。
- (4) 当法人は、受講料等の納入を確認した後、教材を郵送する。
- (5) 当法人は、受講申し込み時または開講日初日、公的証明書にて本人確認を実施する。

(科目の免除)

科目の免除についてはこれを認めない。

(修了の認定)

修了の認定は、すべてのカリキュラムを履修し、次の修了評価を行った上、修了認定会議において基準に達したと認められた者に対して行う。

- (1) 修了評価は、担当講師が科目ごとに行い、その評価をまとめて項目全体の評価を行う。
- (2) 修了評価は、筆記試験により行う。ただし、介護に必要な基礎的知識の理解度及び生活支援技術の習得状況の評価については、併せて実技試験も行う。
- (3) 認定基準は、次の通り、理解度の高い順に A、B、C、D の 4 区分で評価した上で、C 以上の評価の受講者を、評価基準を満たしたものとして認定する。

評価基準に達しない場合には、必要に応じて補講等を行い、基準に達するまで再評価を行う。

認定基準（100点を満点とする）

A=90点以上、B=80～89点、C=70～79点、

D=70点未満

（公表する情報の項目）

東京都介護職員初任者研修事業実施要綱8に規定する情報の公表に基づき、当法人ホームページ（URL：<http://www.fukuyokai.com>）において開示する内容は、以下の通りとする。

（1）研修機関情報

法人情報（法人格、法人名称、住所、電話番号、代表者名）

研修機関情報（事業所名称・住所、理念、学則、研修施設、設備、在籍講師数（専任・兼任別））

（2）研修事業情報

研修の概要（対象、研修スケジュール（期間、日程、時間数）、定員、実習の有無、研修受講までの流れ（募集方法、申込方法等）、費用（受講料、テキスト代）、留意事項、研修担当責任者、研修の特色）研修カリキュラム（科目別シラバス（科目別学習計画）、担当講師一覧）

実習（協力実習機関の名称・住所等、実習プログラム内容、プログラムの特色、協力実習機関における延べ実習人数）

修了評価（修了評価の方法、評価者、再履修等の基準）

実績情報（過去の研修実施回数（年度ごと）、研修修了者数（年度ごと）、

過去の研修延べ参加人数、卒業後の相談・支援）

連絡先等（申し込み・資料請求先、法人の苦情対応者名・役職・連絡先、事業所の苦情対応者名・役職・連絡先）

質を向上させるための取り組み（実習の質の向上のための取り組み、研修機関と実習機関との連携）

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人 福陽会

サンシャインビラ介護学院

〈介護福祉士実務者研修事業〉

事業報告書 目次

事業報告(総括)	1
地域受講人数一覧表	2
教育課程の実施報告	3～6

事業報告

令和5年度の「介護福祉士実務者研修講座」は、計画通りに4回実施した。

介護福祉士国家試験は、実務経験3年以上であることに加え、実務者研修の修了という受験要件であるため、限られた期間で受講を完了させようという受講生の強い意気込みを感じた。

各科目の講師は、一定時間の教員講習会を修了した介護福祉士、並びに医療的ケア講習会を修了した正看護師が担当し、念入りな授業案の作成、最新介護技術の導入、評価の方法を研究する等工夫を凝らした結果、充実した研修内容となった。

そして、受験対策直前講座は、内容の多くが試験活用でき、合計33名が参加して良かったと大変好評だった。特に職員は無料とした事で、多数の合格者輩出や職場のスキルアップに大きく貢献することができた。

また、サンシャインビラ介護学院における実務者研修は、卒業生や紹介による受講生が増えるなどだいぶ浸透すると共に、担当講師の情報交換・研修の活性化・レベルアップで、高齢者介護に対する知識・技術の向上を図り地域社会にも貢献することができた。

令和5年度 地域・男女別受講人数一覧表

\	第1回 5/4/10-9/25	第2回 5/18-10/26	第3回 9/4-12/25	第4回 6/1/18-6/27	合計
福生市	3	4	3	1	11
羽村市	0	1	1	1	3
青梅市	2	6	6	0	14
あきる野市	3	3	3	1	10
昭島市	0	0	3	0	3
立川市	0	0	2	0	2
瑞穂町	1	0	0	0	1
武蔵村山市	2	0	1	1	4
日の出町	0	0	0	1	1
日野市	0	1	0	0	1
奥多摩町	1	0	0	0	1
檜原村	0	1	0	0	1
合 計	12(0)	16(8)	19(6)	5(1)	52(15)

※()は男性

教育課程の実施報告

○実務者研修に係る授業時数及び履修認定については以下の通り実施した。

研修科目	時間数	無資格	訪問介護員研修			介護職員 初任者研修	介護職員 基礎研修	認知症 実践者研修	喀痰吸引 等研修
			1級	2級	3級				
人間の尊厳と自立	5	○						○	○
社会の理解Ⅰ	5	○						○	○
社会の理解Ⅱ	30	○		○	○	○		○	○
介護の基本Ⅰ	10	○			○			○	○
介護の基本Ⅱ	20	○			○	○		○	○
コミュニケーション技術	20	○		○	○	○		○	○
生活支援技術Ⅰ	20	○						○	○
生活支援技術Ⅱ	30	○			○			○	○
介護過程Ⅰ	20	○			○			○	○
介護過程Ⅱ	25	○		○	○	○		○	○
介護過程Ⅲ（スクーリング）	45 8日間	○	○	○	○	○		○	○
発達と老化の理解Ⅰ	10	○		○	○	○		○	○
発達と老化の理解Ⅱ	20	○		○	○	○		○	○
認知症の理解Ⅰ	10	○		○	○				○
認知症の理解Ⅱ	20	○		○	○	○			○
障害の理解Ⅰ	10	○		○	○			○	○
障害の理解Ⅱ	20	○		○	○	○		○	○
こころとからだの しくみⅠ	20	○			○			○	○
こころとからだの しくみⅡ	60	○		○	○	○		○	○
医療的ケア	50	○	○	○	○	○	○	○	
医療的ケア（スクーリング）	12 2日間	○	○	○	○	○	○	○	
合計受講時間数	462	462	107	332	432	332	62	432	400

※○印は受講必須科目

○教職員組織

本学院の教職員組織は、以下の通りで実施した。

- (1) 教 員 24名
- (2) 事務員 1名

○入所資格、入所選考、入所手続、休学、受講の取り消し、補講、修了認定は、以下の通りで実施した。

(入所資格)

多様化する高齢者等のニーズに対応した専門的な知識、技術を有する介護福祉士の資格取得を目指す、東京都内及び東京都近郊在住・在勤で通学可能な者。

(入所選考、入所手続)

- (1) 本学院の入所選考については、書類審査の上、受講者の決定を行い受講決定通知書を受講者宛てに通知する。
- (2) 本学院の入所手続は、指定の申込用紙に必要事項を記入の上、期日までに申し込む。ただし、定員に達した時点で申込み受付は終了する。
- (3) 受講決定通知書を受け取った受講者は、指定の期日までに受講料等を納入する。
- (4) 本学院は、受講料等の納入を確認した後、教材を郵送する。
- (5) 本学院は、受講申し込み時または開講日初日、以下の公的証明書の提示または提出により、本人確認を実施する。なお、本人確認ができない場合は、入所を拒否できることとする。
 - ・ 運転免許証の提示 ・ 健康保険証の提示 ・ パスポートの提示
 - ・ 年金手帳の提示 ・ 住民基本台帳カードの提示 ・ 在留カード等の提示
 - ・ 戸籍謄本、戸籍抄本または住民票の提出 等

(研修欠席者の扱い)

理由の如何にかかわらず、研修開始から 10 分以上遅刻した場合は欠席とする。

また、やむを得ず欠席する場合には必ず「欠席届」を提出する。

(休学について)

やむを得ない事情があり休学する場合の期間は、最長で6ヶ月とする。

(受講の取り消し)

次に該当する者は、受講を取り消すことができる。

- (1) 学習意欲が著しく欠け、修了の見込みがないと認められる者
- (2) 研修の秩序を乱し、受講者としての本分に反した者
- (3) 法令違反等、社会通念上、受講者として相応しくない者

(補講の取扱い)

研修の一部を欠席した者で、やむを得ない事情があると認められる者については、当該課程教科時間数の概ね1割を上限とし、本学院主催の他のクラスにて同科目の振替受講をすることにより、科目の履行を完了とする。

なお、振替受講は事前の申し出を原則とする。その際の受講料は無料とする。

(修了の認定)

修了の認定は、第9条の教育課程の定めるところにより、科目ごとに修了認定を行う。ただし、各科目の出席時間数が本学院の規定に定める時間数の3分の2に満たない者については、修了の認定をしない事とする。

認定方法については、以下の通りである。

- (1) 添削科目については、科目ごとにレポート(課題)を提出し、課題の理解度及び記述の的確性・論理性に応じて、担当講師が添削指導、評価を行う。

修了認定基準は、理解度の高い順に A、B、C、D の4区分で評価した上で、C以上を修了と認定する。ただし、評価基準に達しない場合は、必要に応じて添削指導、評価を再度行う。

(2) 介護過程Ⅲについては、講義・演習にて小テストやチェックシート等を用いて、総合的評価を行う。

修了認定基準は、理解度の高い順に A、B、C、D の 4 区分で評価した上で、C 以上を修了と認定する。ただし、評価基準に達しない場合は、必要に応じて添削指導、再試験、再評価を行う。

(3) 医療的ケアについては、下記の通りとする。

- ・基本研修（講義）：レポート(課題)を提出し、担当講師が添削指導、評価を行う。修了認定基準は、理解度の高い順に A、B、C、D の 4 区分で評価した上で、C 以上を修了と認定する。ただし、評価基準に達しない場合は必要に応じて添削指導、再試験、再評価を行う。

- ・基本研修(演習)：省令で定める実施回数以上の演習を実施後、技能習得判定を行う。演習評価基準で示す手順通りに実施できれば修了を認めることとする。なお、演習の修了が認められない者については、演習評価基準に達するまで演習を継続し、再度技能習得判定を行う。

(使用教材)

研修に使用する教材は、以下の通りである。

『介護福祉士実務者研修テキスト』 中央法規出版株式会社
全 5 巻セット

(修了者管理の方法)

修了者管理については、次により行う。

- (1) 修了者を修了者台帳に記載し永久保存する。
- (2) 修了証明書の紛失等があった場合は、修了者の申し出により再発行を行う。

(その他留意事項)

研修事業の実施に当たり、次の通り必要な措置を講じることとする。

- (1) 研修に関して下記の苦情等の窓口を設けて研修実施部署と連携し、苦情及び事故が生じた場合には迅速に対応する。
- (2) 事業実施により知り得た受講者等の個人情報のみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用しない。
- (3) 受講者等が実習等で知り得た個人情報のみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用することのないよう受講者の指導を行う。

2023年度

サービス付き高齢者向け住宅
高齢者マンションサンシャインビラ
事業報告書

社会福祉法人福陽会

地域の高齢者に良好な居住環境を備えた高齢者向けの賃貸住宅の供給を提供し、併せて高齢者に適した良好な居住環境が確保され高齢者が安定的に居住することができる賃貸住宅について提供することで、福祉の増進に寄与することを目指し、事業展開を行った。

職員配置（3月31日現在）

職名	職員配置	
管 理 者	1	常勤
事 務 員	1	常勤
調 理 員	10	非常勤
夜間待機職員	6	非常勤
介護スタッフ	8	非常勤若干名

【入居者入退去状況一覧】

(人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規入居者		2	1	2				1					6
退去者		3			1	1	1				1	1	8

【入居年数分布】

(人数)

1年未満	1年～2年	2年～5年	5年～7年	7年以上
4	10	9	3	9

【退去先】

(人数)

サンシャインビラ入所	
第2サンシャインビラ入所	1
第3サンシャインビラ入所	
転居・入院	2
死亡	5

【入居者の状況】 (3.31現在)

介護度

(人数)

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
			10	13	6	5	1	35

男・女 年齢分布

(人数)

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代以上
男		2	1	6	1
女				13	12
合計		2	1	19	13

【年間行事実績】

催し	日程
七夕飾り	6/27
マンションエントランス前で すいか割り	7/24
お茶会	10/23
琴の演奏会	12/11
マジックショー	3/15
短時間レク ホール蹴りと体操 (B1食堂にて)	4/4, 7, 11, 14, 18, 21, 25, 28, 5/2, 5, 9, 16, 23, 30, 6/2, 6, 9, 13, 16, 20, 23, 27, 30, 7/7, 11, 14, 18, 25, 28, 8/1, 4, 8, 11, 15, 18, 29, 9/1, 9/5, 15, 19, 22, 26, 29, 10/3, 6, 10, 13, 17, 20, 24, 27, 31, 11/10, 14, 17, 21, 11/24, 28, 12/1, 5, 8, 12, 15, 22, 29, 1/9, 19, 23, 26, 2/2, 2/6, 9, 13, 16, 20, 23, 27, 3/6, 8, 12, 19, 22, 26
カラオケ (B1食堂にて)	6/26, 7/3, 10, 17, 31, 8/14, 21, 28, 9/18, 25, 10/2, 9, 23, 30, 11/13, 20, 12/1, 18, 25, 1/15, 22, 29, 2/12, 26, 3/5, 11, 18, 25
消防訓練及び火災通報装置の説明他	4/13 10/4
避難訓練 (入居者と職員で)	12/1

【クラブ活動】 新型コロナウイルス感染症の予防のため中止

毎週木曜日	体操
第2、第4火曜日	書道
第1、第3金曜日	手芸
第1、第3火曜日	折紙